

**塩竈市高齢者福祉計画及び
第10期介護保険事業計画策定に係る
調査結果報告書**

令和8年3月

宮城県 塩竈市

<目 次>

第1章 調査の実施概要	3
1 調査の目的	3
2 調査の内容	3
(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
(2) 在宅介護実態調査	4
(3) 若年者調査	4
(4) 介護サービス事業所実態調査	5
3 配布・回収の結果	5
4 調査結果の見方	5
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果	9
1 あなたのご家族や生活状況について	9
2 からだを動かすことについて	13
3 食べることについて	19
4 毎日の生活について	24
5 地域での活動について	33
6 就労について	37
7 たすけあいについて	39
8 健康について	43
9 認知症について	48
10 塩竈市の介護事業について	52
11 介護予防について	56
第3章 在宅介護実態調査結果	61
1 ご本人（要介護者）の状況について	61
2 主な介護者等の状況（属性等）について	62
3 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて	64
4 主な介護者の就労状況について	70
5 介護生活を続ける際の不安や困りごと	72
第4章 若年者調査結果	77
1 あなたご自身について	77
2 健康の状況について	78
3 介護保険制度について	80

4 今後の介護希望について	82
5 介護生活を続ける際の不安や困りごとについて	84
6 介護保険制度や高齢者福祉施策について	88

第5章 介護サービス事業所実態調査 93

1 事業所の概要について	93
2 運営状況について	98
3 介護人材の定着・離職等について	100
4 今後の事業所運営等について	106

資料編 109

1 アンケート調査票	109
(1) 介護予防・日常生活圏域二エズ調査	109
(2) 在宅介護実態調査	112
(3) 若年者調査	115
(4) 介護サービス事業所実態調査	118

第1章

調査の実施概要

第1章 調査の実施概要

1 調査の目的

本調査は、「塩竈市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定にあたり、高齢者及びその家族の生活実態や介護の状況、将来への不安や支援ニーズ等を把握し、本市における地域包括ケア体制の課題を明らかにするとともに、持続可能な介護保険事業の運営及び高齢者福祉施策の充実に向けた基礎資料を得ることを目的とするものです。

2 調査の内容

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査対象者	令和7年11月1日現在、市内に居住する65歳以上の要介護認定を受けていない方2,480人を無作為抽出	2,480人
調査期間・方法	令和7年12月4日(木)～令和7年12月26日(金) ※令和8年1月9日(金)回収分まで集計に含んでいる WEB回答併用による郵送調査	
調査票の設計	1 あなたのご家族や生活状況について	6設問
	2 からだを動かすことについて	10設問
	3 食べることについて	10設問
	4 毎日の生活について	18設問
	5 地域での活動について	3設問
	6 就労について	2設問
	7 たすけあいについて	8設問
	8 健康について	9設問
	9 認知症について	5設問
	10 塩竈市の介護事業について	4設問
	11 介護予防について	3設問
	設問数合計	78設問

※調査票は資料編に掲載しています。

(2) 在宅介護実態調査

調査対象者	令和7年11月1日現在、市内に居住する65歳以上の要介護・要支援認定者及びその介護者の方1,000人を無作為抽出	1,000人
調査期間・調査方法	令和7年12月4日(木)～令和7年12月26日(金) ※令和8年1月9日(金)回収分まで集計に含んでいる WEB回答併用による郵送調査	
調査票の設計	1 ご本人(要介護者)の状況について	2設問
	2 主な介護者等の状況(属性等)について	5設問
	3 支援・サービス・訪問診療の利用状況・ニーズについて	13設問
	4 主な介護者の就労状況について	4設問
	5 介護生活を続ける際の不安や困りごと	3設問
	設問数合計	27設問

※調査票は資料編に掲載しています。

(3) 若年者調査

調査対象者	令和7年11月1日現在、市内に居住する40歳から64歳の方650人を無作為抽出	650人
調査期間・調査方法	令和7年12月4日(木)～令和7年12月26日(金) ※令和8年1月9日(金)回収分まで集計に含んでいる WEB回答併用による郵送調査	
調査票の設計	1 あなたご自身について	2設問
	2 健康の状況について	4設問
	3 介護保険制度について	3設問
	4 今後の介護希望について	4設問
	5 介護生活を続ける際の不安や困りごと	7設問
	6 介護保険制度や高齢者福祉施策について	4設問
	設問数合計	24設問

※調査票は資料編に掲載しています。

(4) 介護サービス事業所実態調査

市内で介護保険サービスを提供している事業者の事業の状況や、働いている方の状況、意見等を把握するためのアンケートを実施し、提供するサービス内容等の実態と課題の把握や、介護保険サービスの質の向上と適正な事業運営の推進に向け、検討するための基礎資料を得ることを目的としています。

調査対象者	令和7年11月1日現在、市内で介護保険サービスを提供している介護サービス事業者92事業者を対象	92事業所
調査期間・調査方法	令和7年12月4日(木)～令和7年12月26日(金) ※令和8年1月9日(金)回収分まで集計に含んでいる 原則WEB回答での調査(希望者には紙調査票を配布)	
調査票の設計	1 事業所の概要について	2設問
	2 運営状況について	3設問
	3 介護人材の定着・離職等について	8設問
	4 今後の事業所の運営等について	2設問
	設問数合計	15設問

※調査票は資料編に掲載しています。

3 配布・回収の結果

本調査の回答状況は以下のとおりです。

種類	配布数	有効回収数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,480件	1,513件	61.0%
在宅介護実態調査	1,000件	499件	49.9%
若年者調査	650件	271件	41.7%
介護サービス事業所実態調査	92件	61件	66.3%

4 調査結果の見方

- n (number of cases) は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- 回答割合は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。したがって、単一回答式の質問においては、回答割合を合計しても100.0%にならない場合があります。
また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 図表中の0.0% (回答が皆無であったことを示す) の選択肢の回答割合は、図表中では「-」と表記しています。
- 図表及びコメントで、選択肢の語句等を一部簡略化等している場合があります。

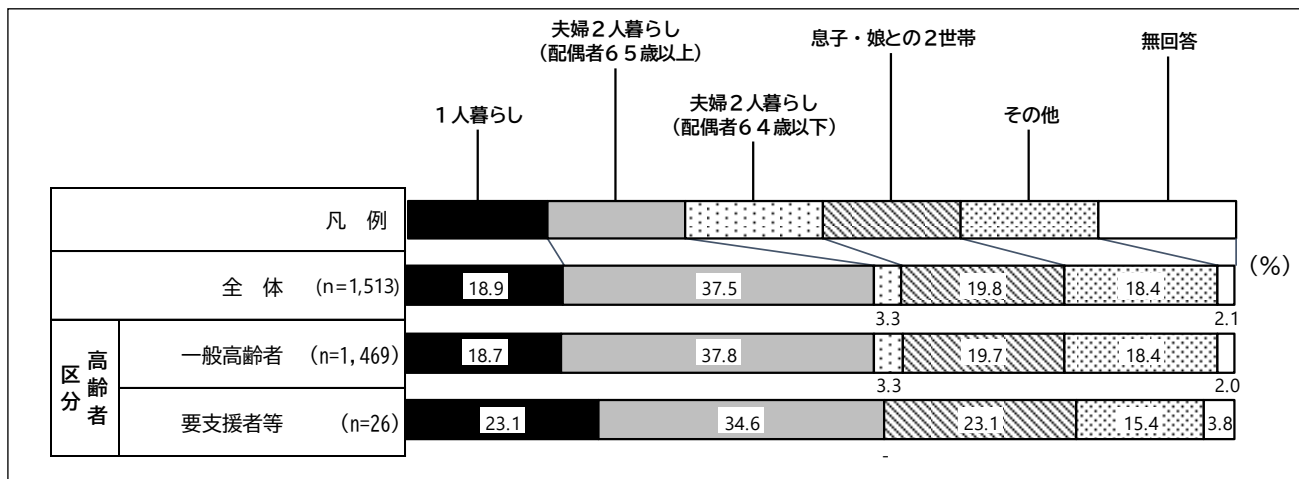
第2章

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

1 あなたのご家族や生活状況について

問1-Q1 家族構成をお教えてください（○は1つ）

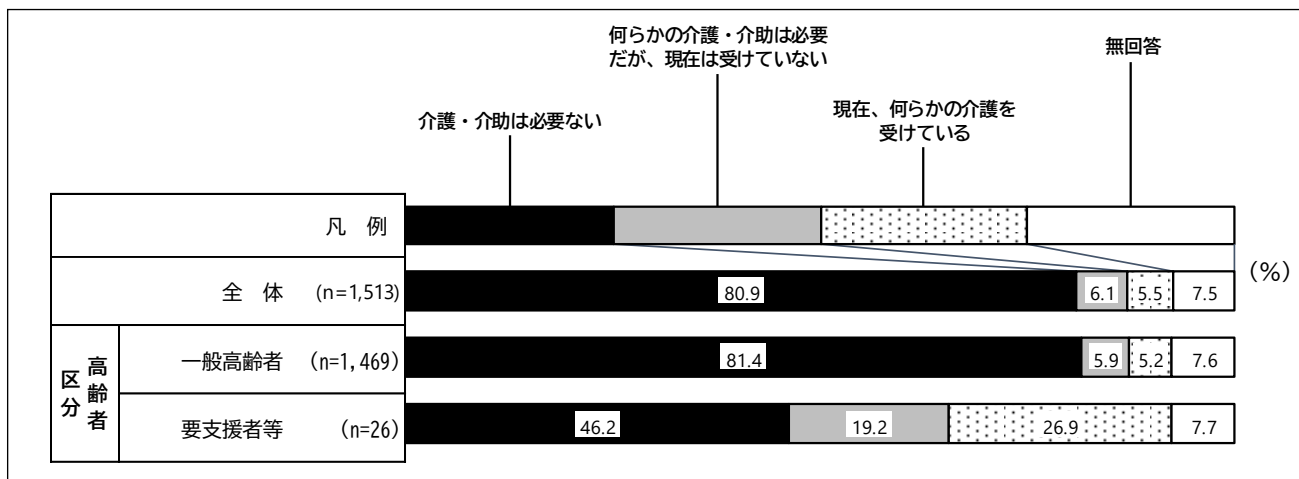


家族構成について、全体では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が37.5%と最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が19.8%、「1人暮らし」が18.9%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が37.8%と最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が19.7%、「1人暮らし」が18.7%となっています。

要支援者等では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が34.6%と最も多く、次いで「1人暮らし」、「息子・娘との2世帯」が23.1%となっています。

問1-Q2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（○は1つ）



普段の生活で介護・介助が必要かについて、全体では「介護・介助は必要ない」が80.9%と最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.1%、「現在、何らかの介護を受けている」が5.5%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「介護・介助は必要ない」が81.4%と最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.9%、「現在、何らかの介護を受けている」が5.2%となっています。

要支援者等では「介護・介助は必要ない」が46.2%と最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている」が26.9%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が19.2%となっています。

問1-Q2-1 問1-Q2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方に伺います
 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（〇はいくつでも）

		n	高齢による衰弱	骨折・転倒	心臓病	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	がん（悪性新生物）	認知症（アルツハイマー病等）	視覚・聴覚障害	糖尿病	関節の病気（リウマチ等）	脊椎損傷	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）
全体		175	27.4	17.1	12.6	11.4	11.4	11.4	10.9	10.3	5.1	4.0	3.4
高齢者区分	一般高齢者	162	27.8	15.4	13.0	11.7	11.7	12.3	11.1	10.5	4.9	3.7	3.1
	要支援者等	12	25.0	33.3	-	8.3	8.3	-	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3

		n	パーキンソン病	腎疾患（透析）	その他	不明	無回答
全体		175	2.9	1.7	11.4	1.1	10.9
高齢者区分	一般高齢者	162	3.1	1.9	11.7	1.2	11.1
	要支援者等	12	-	-	-	-	8.3

介護・介助が必要になった主な原因について、全体では「高齢による衰弱」が27.4%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が17.1%、「心臓病」が12.6%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「高齢による衰弱」が27.8%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が15.4%、「心臓病」が13.0%となっています。

要支援者等では「骨折・転倒」が33.3%と最も多く、次いで「高齢による衰弱」が25.0%となっています。

問1-Q2-2 問1-Q2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方に伺います
主にどなたの介護、介助を受けていますか（〇はいくつでも）

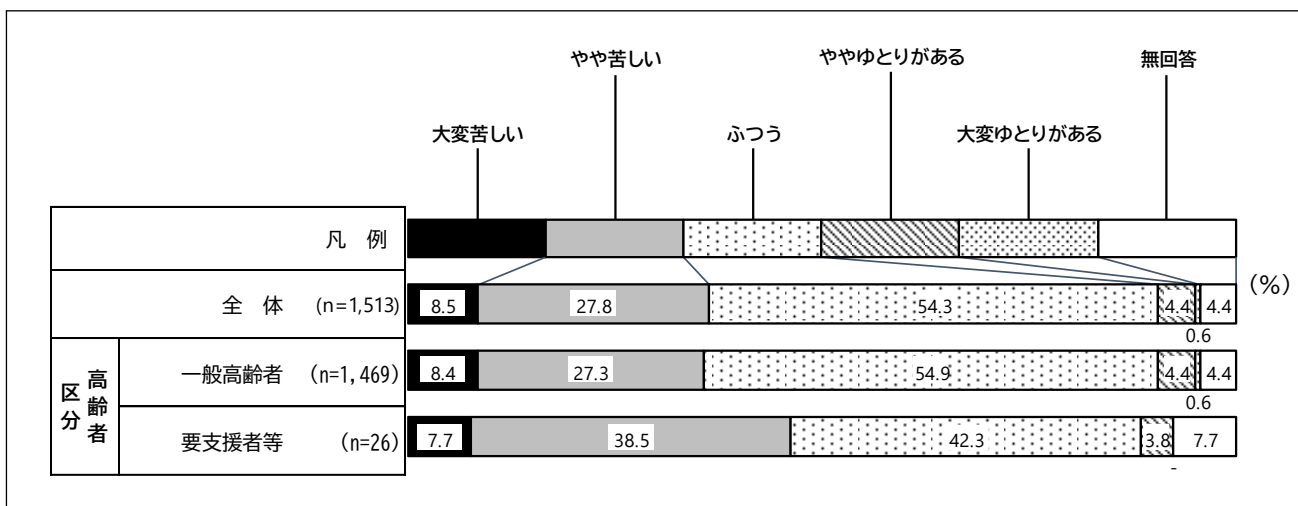
		n	娘	配偶者 (夫・妻)	介護サービスのヘルパー	息子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体		83	31.3	30.1	25.3	12.0	3.6	3.6	3.6	16.9	3.6
高齢者区分	一般高齢者	76	31.6	31.6	22.4	13.2	3.9	2.6	3.9	17.1	3.9
	要支援者等	7	28.6	14.3	57.1	-	-	14.3	-	14.3	-

主に介護・介助をしてきている人について、全体では「娘」が31.3%と最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が30.1%、「介護サービスのヘルパー」が25.3%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「娘」、「配偶者（夫・妻）」が31.6%と最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」が22.4%、「息子」が13.2%となっています。

要支援者等では「介護サービスのヘルパー」が57.1%と最も多く、次いで「娘」が28.6%、「配偶者（夫・妻）」、「孫」が14.3%となっています。

問1-Q3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（〇は1つ）

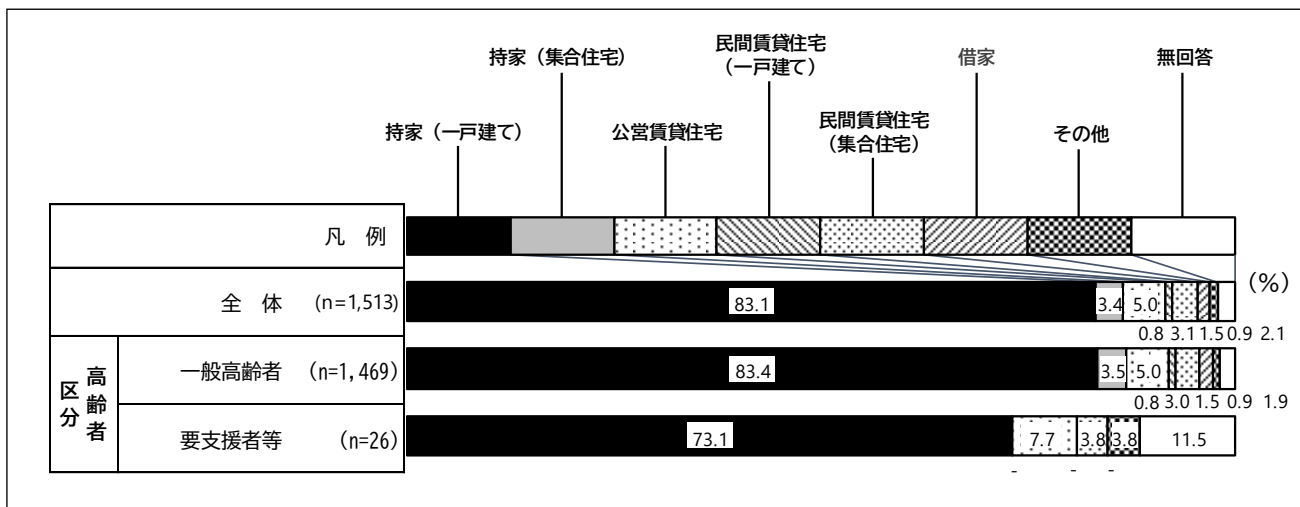


現在の暮らしの経済状況について、全体では「ふつう」が54.3%と最も多く、次いで「やや苦しい」が27.8%、「大変苦しい」が8.5%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「ふつう」が54.9%と最も多く、次いで「やや苦しい」が27.3%、「大変苦しい」が8.4%となっています。

要支援者等では「ふつう」が42.3%と最も多く、次いで「やや苦しい」が38.5%、「大変苦しい」が7.7%となっています。

問1-Q4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (〇は1つ)



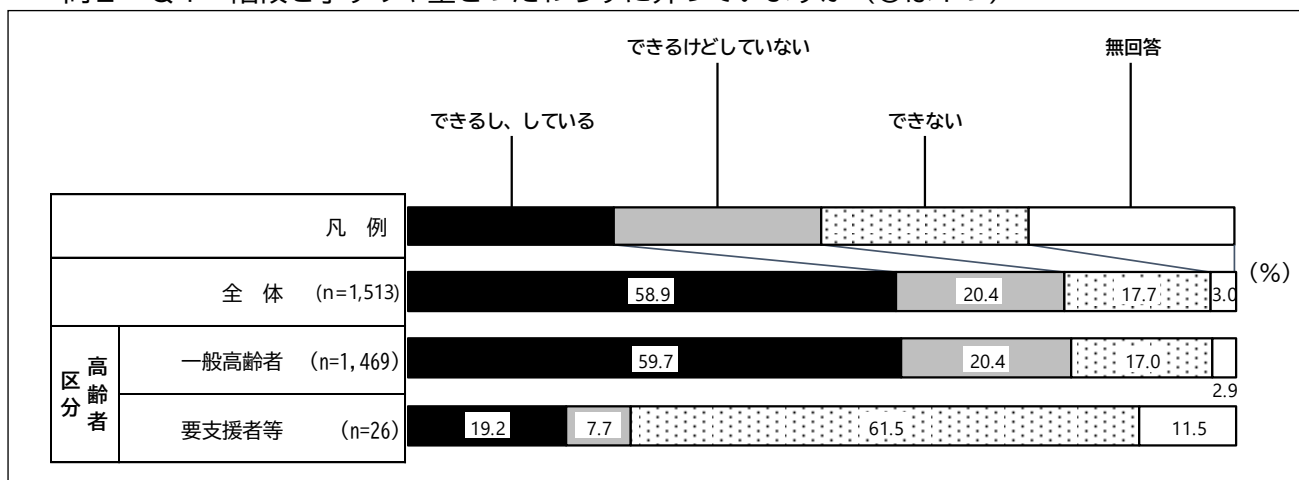
現在の暮らしている家の状況について、全体では「持家（一戸建て）」が83.1%と最も多く、次いで「公営賃貸住宅」が5.0%、「持家（集合住宅）」が3.4%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「持家（一戸建て）」が83.4%と最も多く、次いで「公営賃貸住宅」が5.0%、「持家（集合住宅）」が3.5%となっています。

要支援者等では「持家（一戸建て）」が73.1%と最も多く、次いで「公営賃貸住宅」が7.7%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が3.8%となっています。

2 からだを動かすことについて

問2-Q1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)

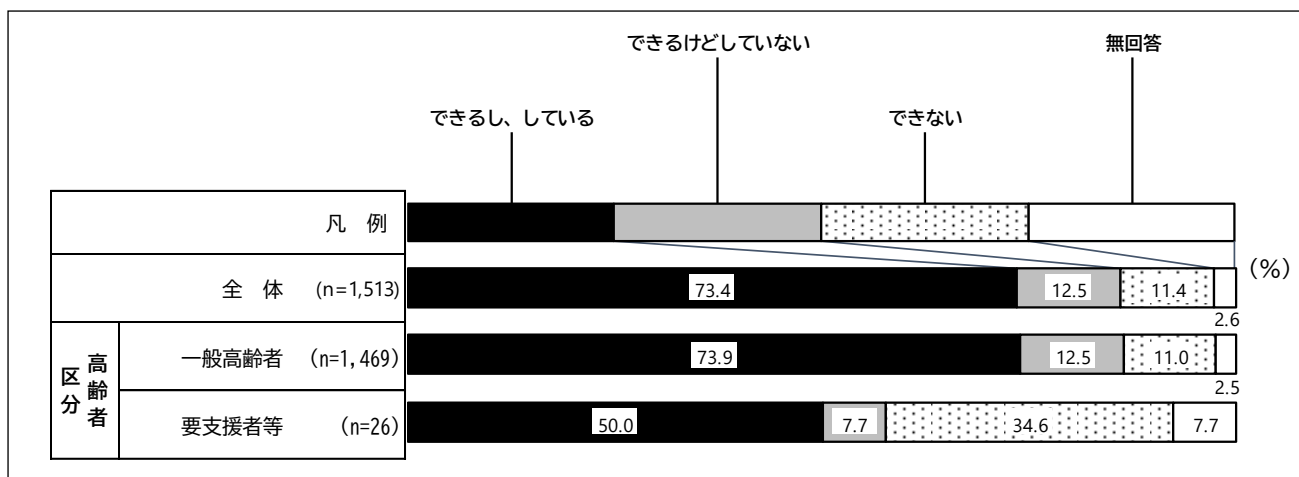


階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるかについて、全体では「できるし、している」が58.9%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が20.4%、「できない」が17.7%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「できるし、している」が59.7%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が20.4%、「できない」が17.0%となっています。

要支援者等では「できない」が61.5%と最も多く、次いで「できるし、している」が19.2%、「できるけどしていない」が7.7%となっています。

問2-Q2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

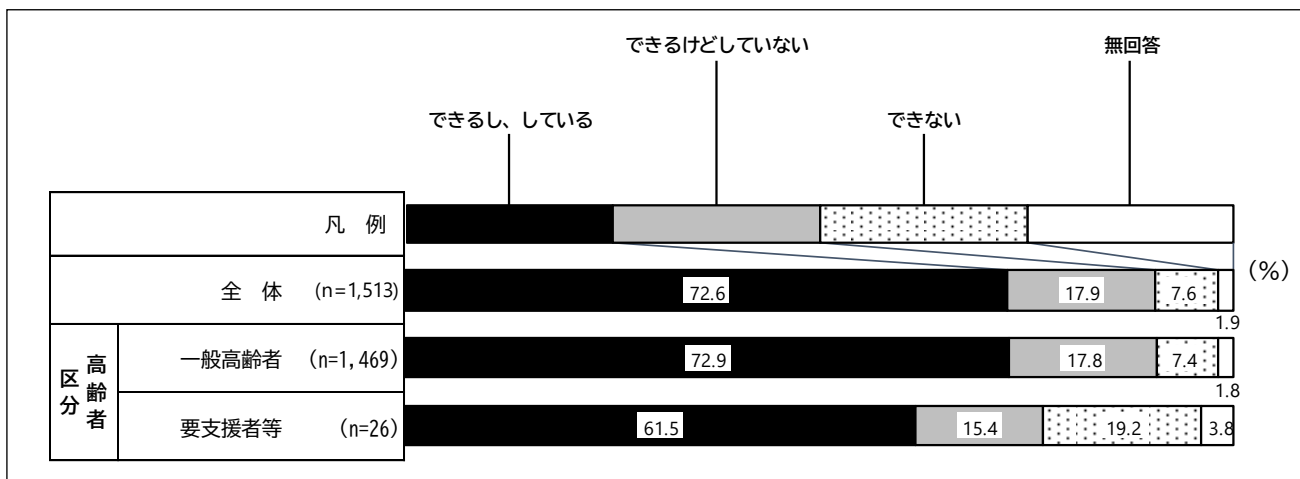


椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるかについて、全体では「できるし、している」が73.4%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が12.5%、「できない」が11.4%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「できるし、している」が73.9%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が12.5%、「できない」が11.0%となっています。

要支援者等では「できるし、している」が50.0%と最も多く、次いで「できない」が34.6%、「できるけどしていない」が7.7%となっています。

問2-Q3 15分位続けて歩いていますか (○は1つ)

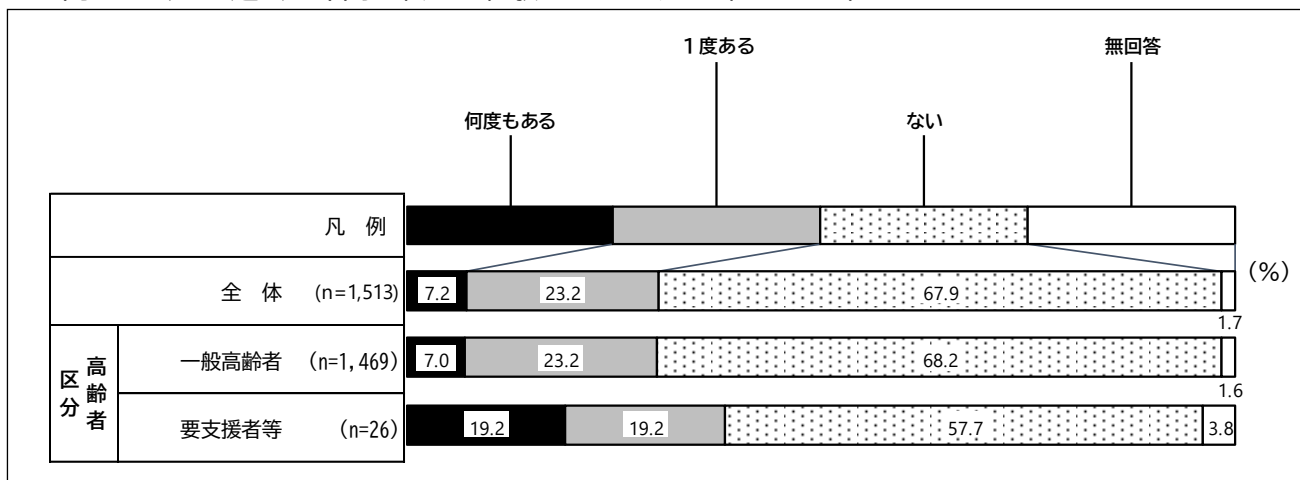


15分位続けて歩くことができるかについて、全体では「できるし、している」が72.6%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が17.9%、「できない」が7.6%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「できるし、している」が72.9%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が17.8%、「できない」が7.4%となっています。

要支援者等では「できるし、している」が61.5%と最も多く、次いで「できない」が19.2%、「できるけどしていない」が15.4%となっています。

問2-Q4 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

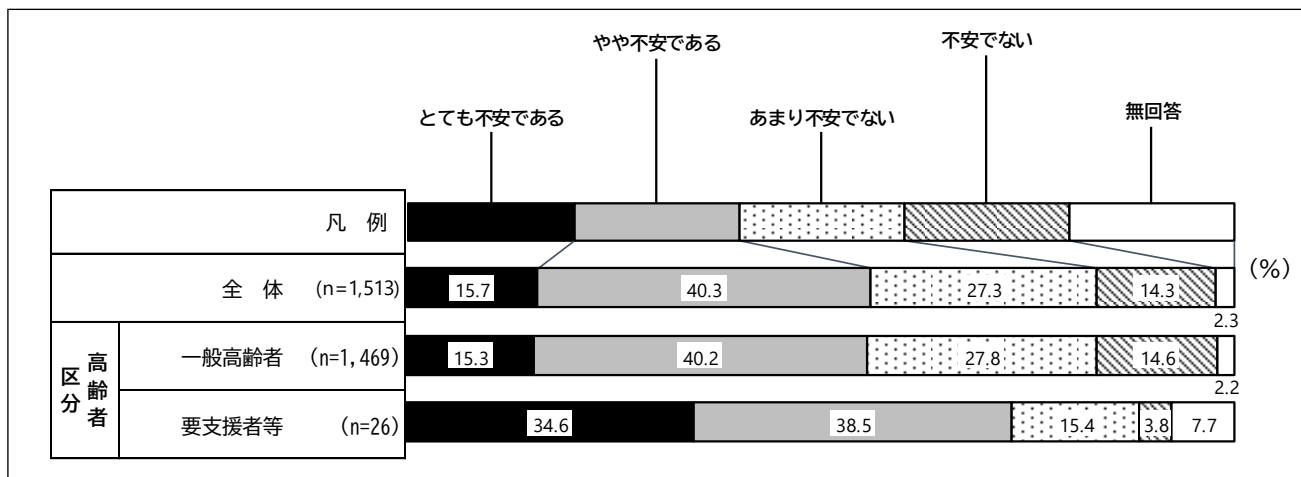


過去1年間に転んだ経験について、全体では「ない」が67.9%と最も多く、次いで「1度ある」が23.2%、「何度もある」が7.2%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「ない」が68.2%と最も多く、次いで「1度ある」が23.2%、「何度もある」が7.0%となっています。

要支援者等では「ない」が57.7%と最も多く、次いで「何度もある」、「1度ある」が19.2%となっています。

問2-Q5 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

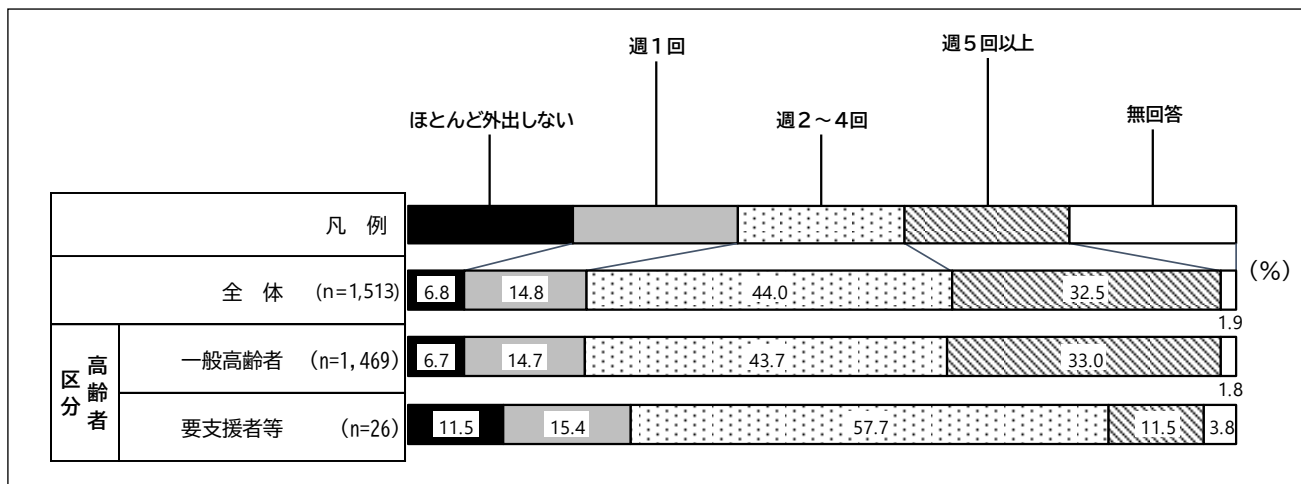


転倒に対する不安の有無について、全体では「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安がある』が56.0%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では『不安がある』が55.5%となっています。

要支援者等では『不安がある』が73.1%となっています。

問2-Q6 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)

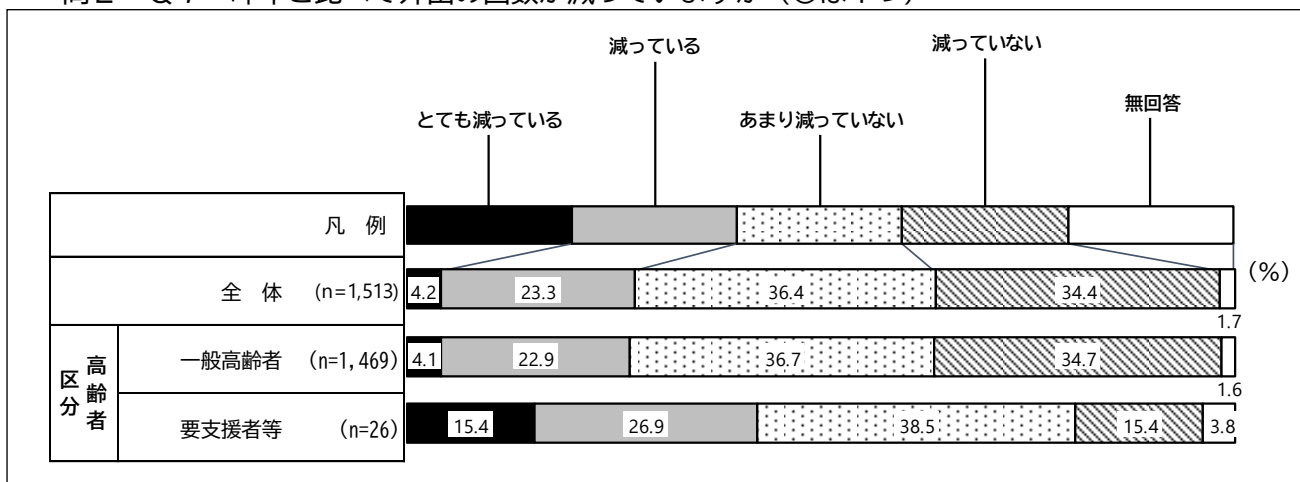


週に1回以上の外出の有無について、全体では「週1回」、「週2~4回」、「週5回以上」を合わせた『週1回以上』が91.3%、「ほとんど外出しない」が6.8%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では『週1回以上』が91.4%、「ほとんど外出しない」が6.7%となっています。

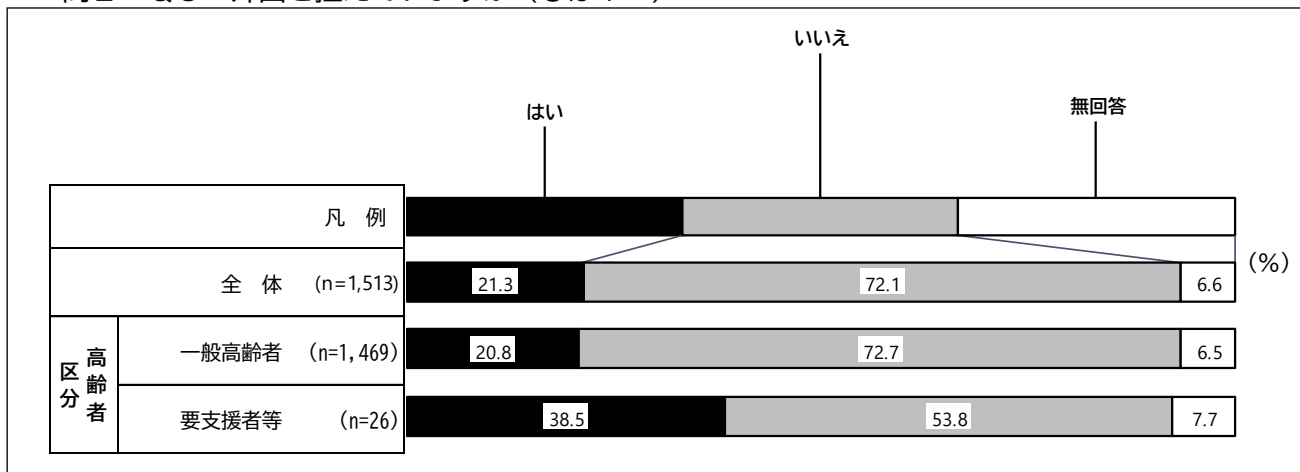
要支援者等では『週1回以上』が84.6%、「ほとんど外出しない」が11.5%となっています。

問2-Q7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)



昨年と比べて外出の頻度について、全体では「とても減っている」と「減っている」を合わせた『昨年より外出回数は減っている』が27.5%となっています。
 認定状況別にみると、一般高齢者では『昨年より外出回数は減っている』が27.0%となっています。
 要支援者等では『昨年より外出回数は減っている』が42.3%となっています。

問2-Q8 外出を控えていますか (○は1つ)



外出は控えているかについて、全体では「いいえ」が72.1%、「はい」が21.3%となっています。
 認定状況別にみると、一般高齢者では「いいえ」が72.7%、「はい」が20.8%となっています。
 要支援者等では「いいえ」が53.8%、「はい」が38.5%となっています。

問2-Q8-1 問2-Q8で「1. はい」(外出を控えている)と回答した方に伺います
 外出を控えている理由は、次のどれですか(〇はいくつでも)

		n	足腰などの痛み	外での楽しみがない	交通手段がない	トイレの心配(失禁など)	病気	経済的に出られない	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	障害(脳卒中の後遺症など)	その他
全体		322	54.0	22.4	20.8	14.6	13.7	13.0	8.4	8.4	2.5	15.8
区分 高齢者	一般高齢者	305	53.1	22.0	21.3	14.4	13.8	13.4	7.9	7.9	2.6	15.7
	要支援者等	10	90.0	30.0	20.0	20.0	10.0	-	30.0	30.0	-	10.0

外出を控えている理由について、全体では「足腰などの痛み」が54.0%と最も多く、次いで「外での楽しみがない」が22.4%、「交通手段がない」が20.8%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「足腰などの痛み」が53.1%と最も多く、次いで「外での楽しみがない」が22.0%、「交通手段がない」が21.3%となっています。

要支援者等では「足腰などの痛み」が90.0%と最も多く、次いで「外での楽しみがない」、「耳の障害(聞こえの問題など)」、「目の障害」が30.0%となっています。

問2-Q9 外出する際の移動手段は何ですか（〇はいくつでも）

		n	自動車 (自分で運転)	徒歩	自動車 (人に乗せてもら う)	電車	路線バス	タクシー	自転車	バイク	病院や施設のバス	歩行器・シルバーカー	車いす	(%)
全体		1,513	53.3	53.2	28.0	20.7	19.6	16.5	6.1	2.0	1.7	0.8	0.6	
区分 高齢者	一般高齢者	1,469	53.8	53.4	28.1	20.8	19.3	16.2	6.1	2.0	1.6	0.7	0.6	
	要支援者等	26	15.4	50.0	34.6	19.2	42.3	38.5	3.8	3.8	7.7	3.8	-	
		n	電動車いす (カート)	その他	無回答									
全体		1,513	0.3	1.7	1.8									
区分 高齢者	一般高齢者	1,469	0.2	1.8	1.8									
	要支援者等	26	-	-	-									

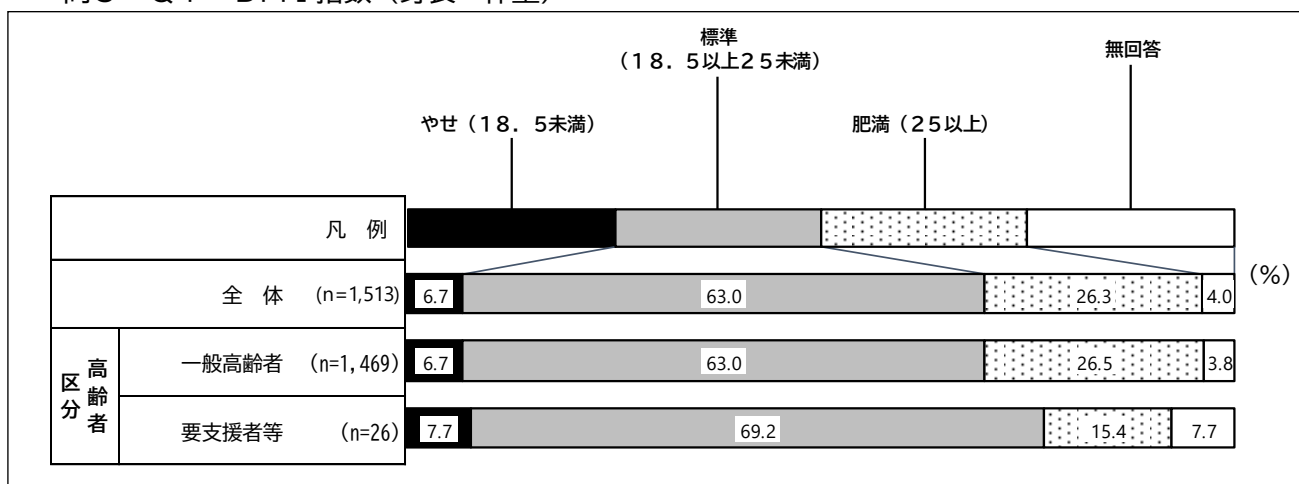
外出する際の移動手段について、全体では「自動車（自分で運転）」が53.3%と最も多く、次いで「徒歩」が53.2%、「自動車（人に乗せてもらう）」が28.0%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「自動車（自分で運転）」が53.8%と最も多く、次いで「徒歩」が53.4%、「自動車（人に乗せてもらう）」が28.1%となっています。

要支援者等では「徒歩」が50.0%と最も多く、次いで「路線バス」が42.3%、「タクシー」が38.5%となっています。

3 食べることについて

問3-Q1 BMI指数（身長・体重）

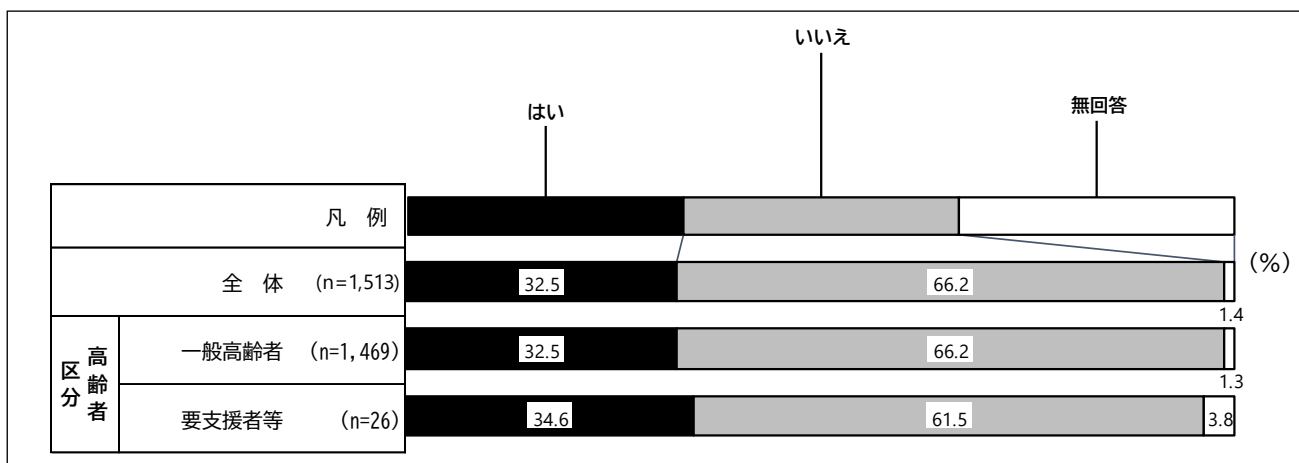


BMI指数について、全体では「標準（18.5以上25未満）」が63.0%と最も多く、次いで「肥満（25以上）」が26.3%、「やせ（18.5未満）」が6.7%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「標準（18.5以上25未満）」が63.0%と最も多く、次いで「肥満（25以上）」が26.5%、「やせ（18.5未満）」が6.7%となっています。

要支援者等では「標準（18.5以上25未満）」が69.2%と最も多く、次いで「肥満（25以上）」が15.4%、「やせ（18.5未満）」が7.7%となっています。

問3-Q2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（○は1つ）

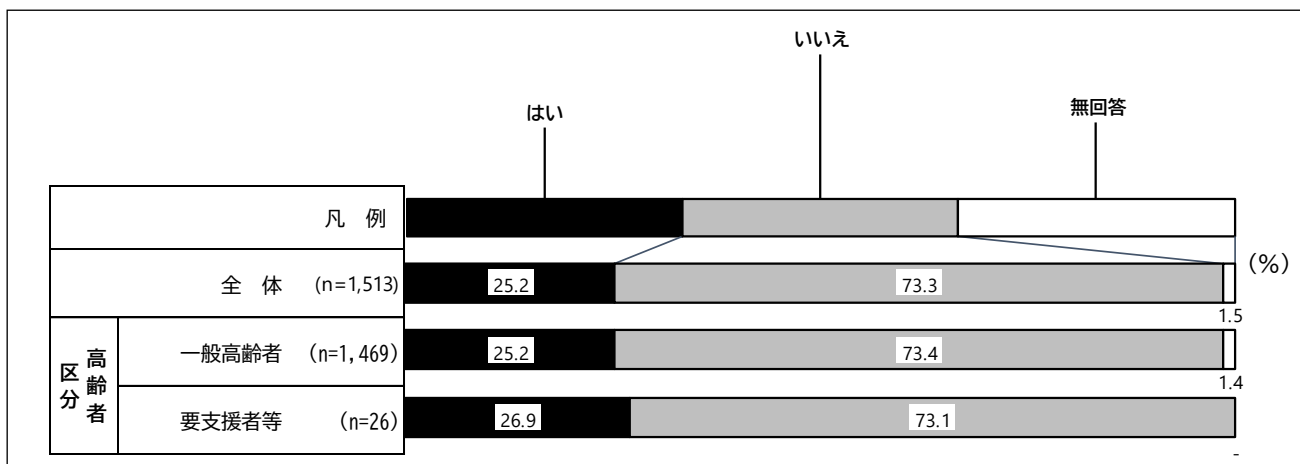


半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、全体では「いいえ」が66.2%、「はい」が32.5%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「いいえ」が66.2%、「はい」が32.5%となっています。

要支援者等では「いいえ」が61.5%、「はい」が34.6%となっています。

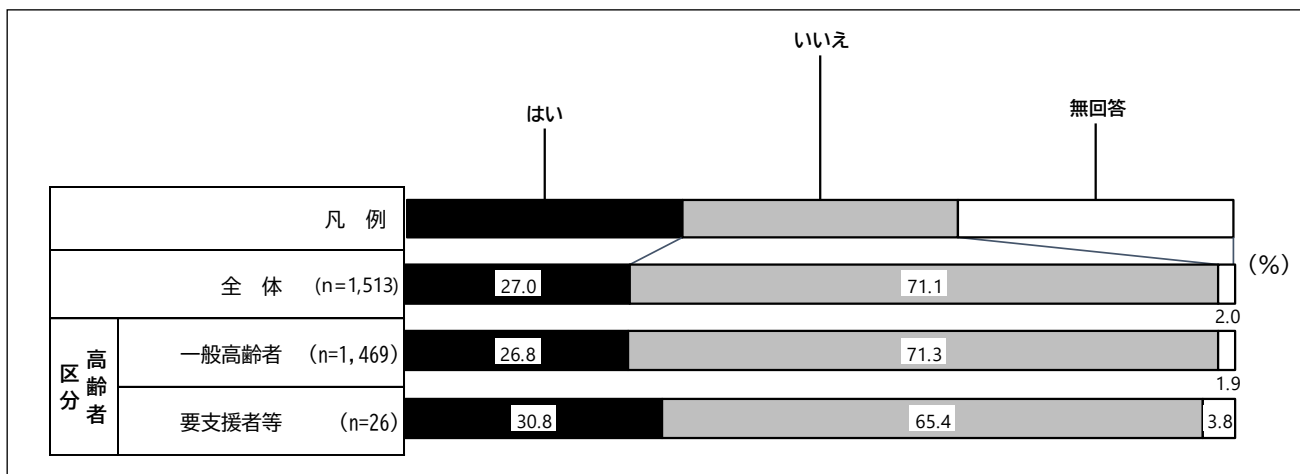
問3-Q3 お茶や汁物等でむせることがありますか (○は1つ)



お茶や汁物等でむせることがあるかについて、全体では「いいえ」が73.3%、「はい」が25.2%となっています。

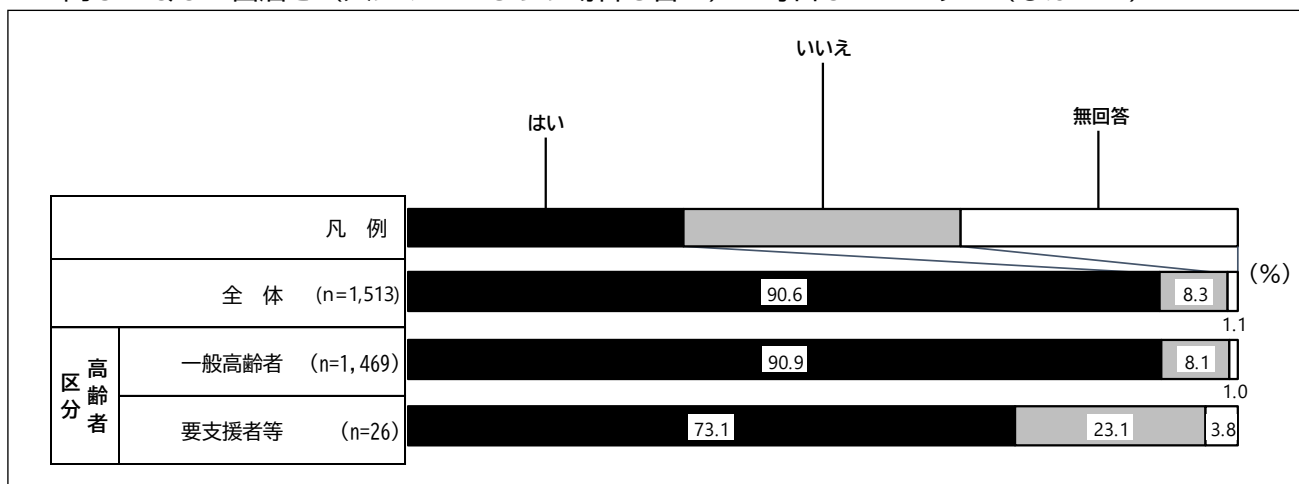
認定状況別にみると、一般高齢者では「いいえ」が73.4%、「はい」が25.2%となっています。要支援者等では「いいえ」が73.1%、「はい」が26.9%となっています。

問3-Q4 口の渇きが気になりますか (○は1つ)



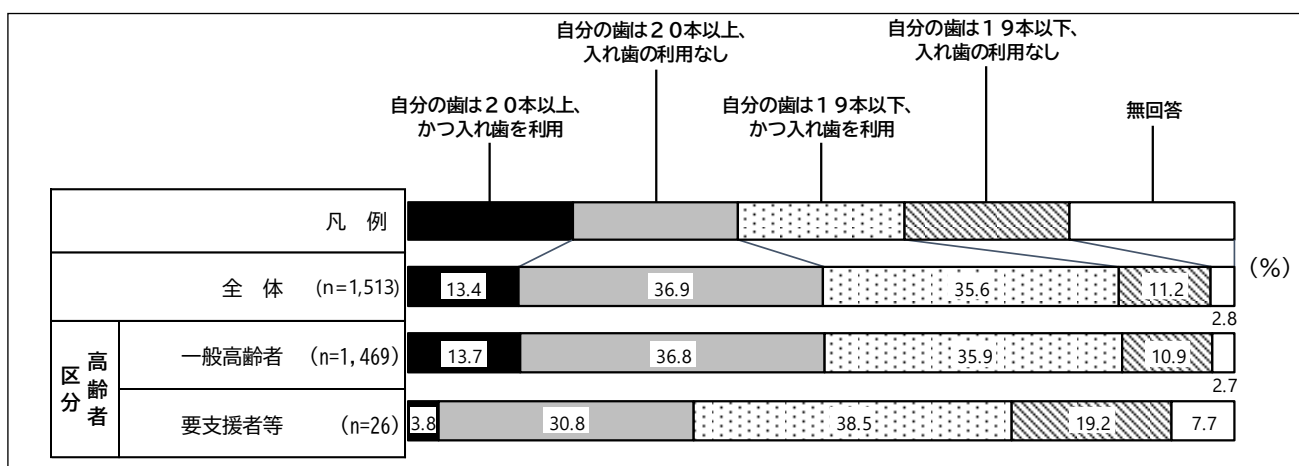
口の渇きが気になるかについて、全体では「いいえ」が71.1%、「はい」が27.0%となっています。認定状況別にみると、一般高齢者では「いいえ」が71.3%、「はい」が26.8%となっています。要支援者等では「いいえ」が65.4%、「はい」が30.8%となっています。

問3-Q5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（○は1つ）



歯磨きを毎日しているかについて、全体では「はい」が90.6%、「いいえ」が8.3%となっています。認定状況別にみると、一般高齢者では「はい」が90.9%、「いいえ」が8.1%となっています。要支援者等では「はい」が73.1%、「いいえ」が23.1%となっています。

問3-Q6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（○は1つ）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

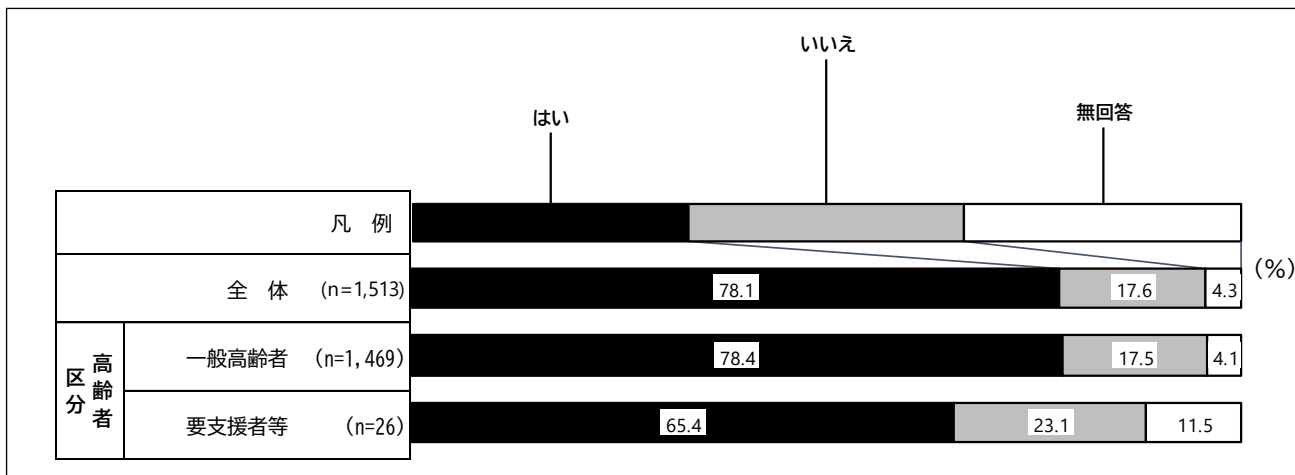


歯の数と入れ歯の利用状況について、全体では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が36.9%と最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が35.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が13.4%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が36.8%と最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が35.9%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が13.7%となっています。

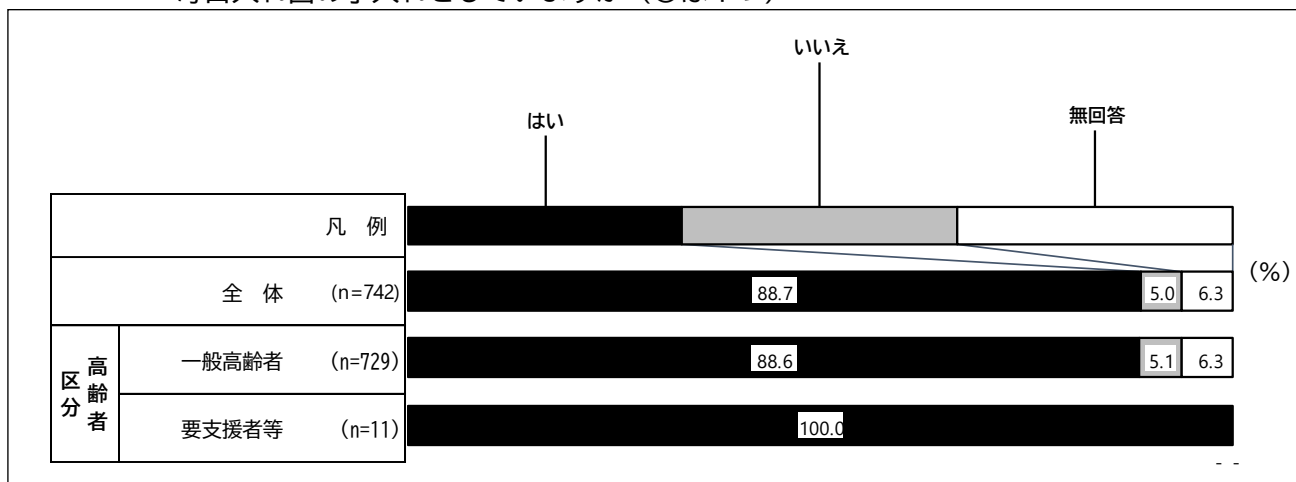
要支援者等では「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が38.5%と最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が30.8%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が19.2%となっています。

問3-Q6-1 噛み合わせは良いですか(○は1つ)



噛み合わせは良いかについて、全体では「はい」が78.1%、「いいえ」が17.6%となっています。認定状況別にみると、一般高齢者では「はい」が78.4%、「いいえ」が17.5%となっています。要支援者等では「はい」が65.4%、「いいえ」が23.1%となっています。

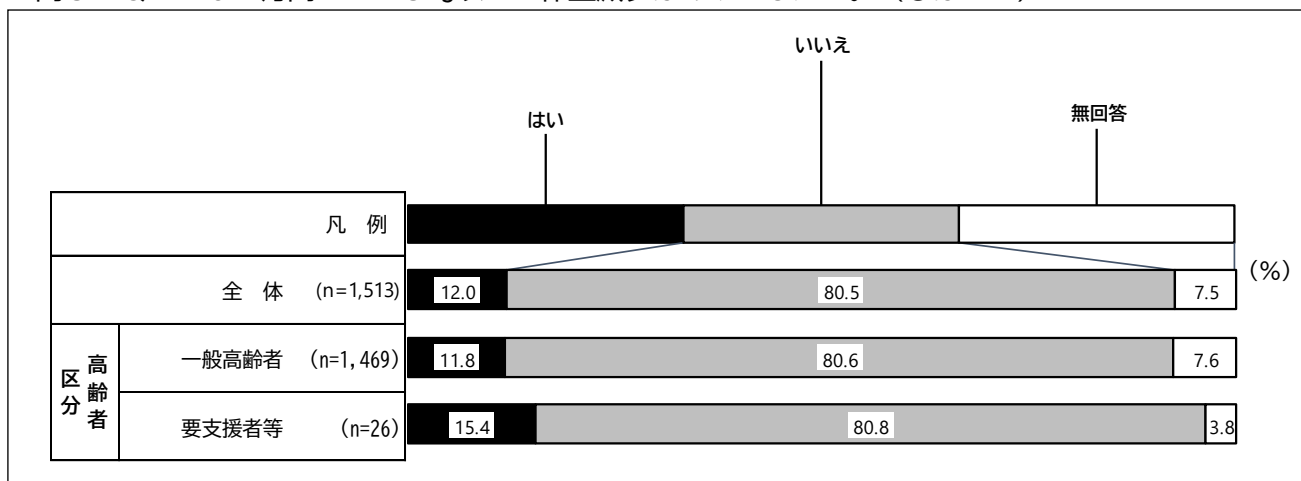
問3-Q6-2 問3-Q6で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方に伺います
毎日入れ歯の手入れをしていますか (○は1つ)



毎日入れ歯の手入れをしているかについて、全体では「はい」が88.7%、「いいえ」が5.0%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「はい」が88.6%、「いいえ」が5.1%となっています。要支援者等では「はい」のみとなっています。

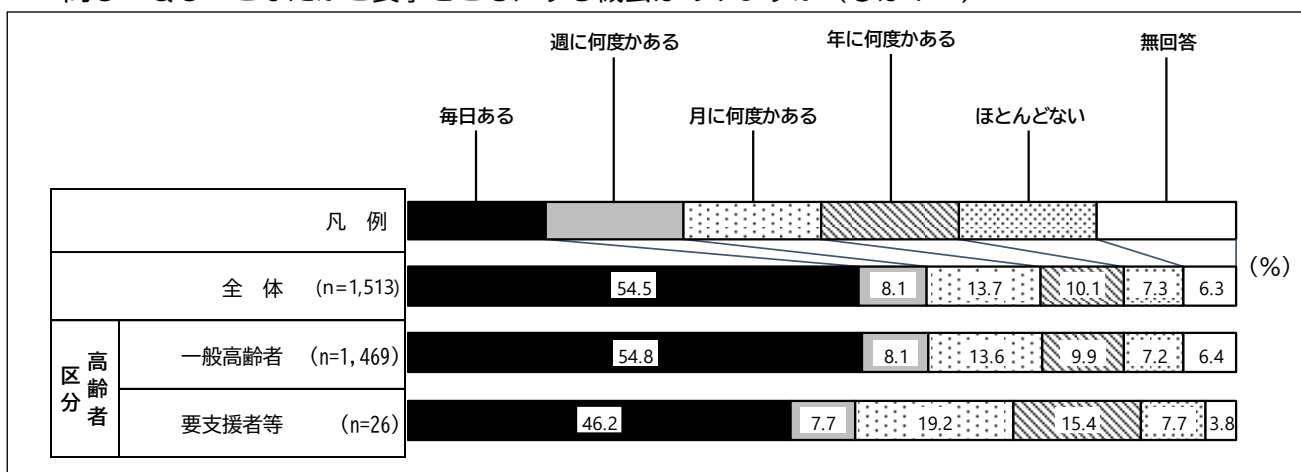
問3-Q7 6か月間で2～3kg以上の体重減少はありましたか。(○は1つ)



6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについて、全体では「いいえ」が80.5%、「はい」が12.0%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「いいえ」が80.6%、「はい」が11.8%となっています。要支援者等では「いいえ」が80.8%、「はい」が15.4%となっています。

問3-Q8 どなたかと食事をとにもする機会がありますか(○は1つ)



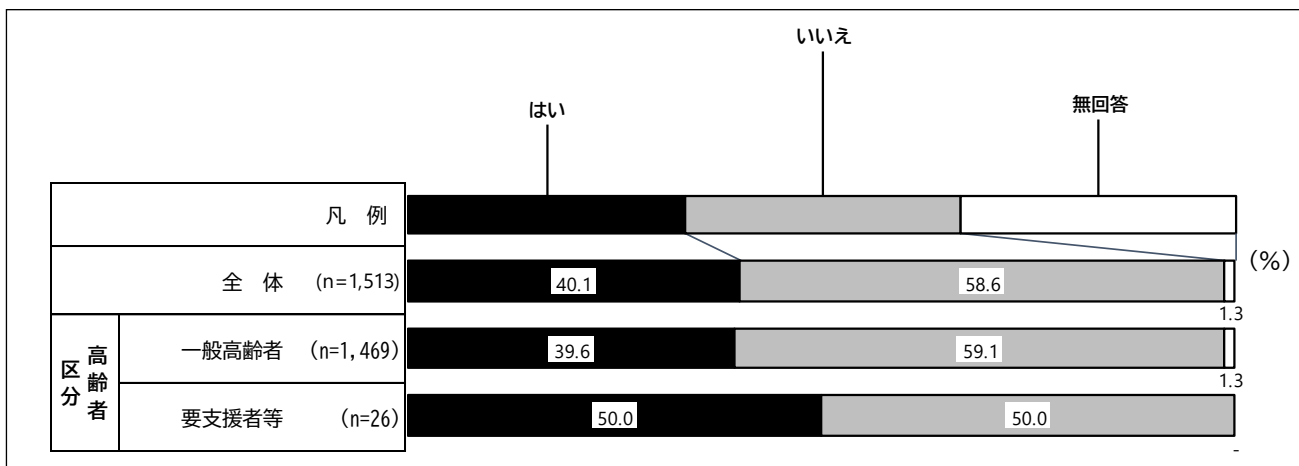
どなたかと食事をとにもする機会について、全体では「毎日ある」が54.5%と最も多く、次いで「月に何度かある」が13.7%、「年に何度かある」が10.1%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「毎日ある」が54.8%と最も多く、次いで「月に何度かある」が13.6%、「年に何度かある」が9.9%となっています。

要支援者等では「毎日ある」が46.2%と最も多く、次いで「月に何度かある」が19.2%、「年に何度かある」が15.4%となっています。

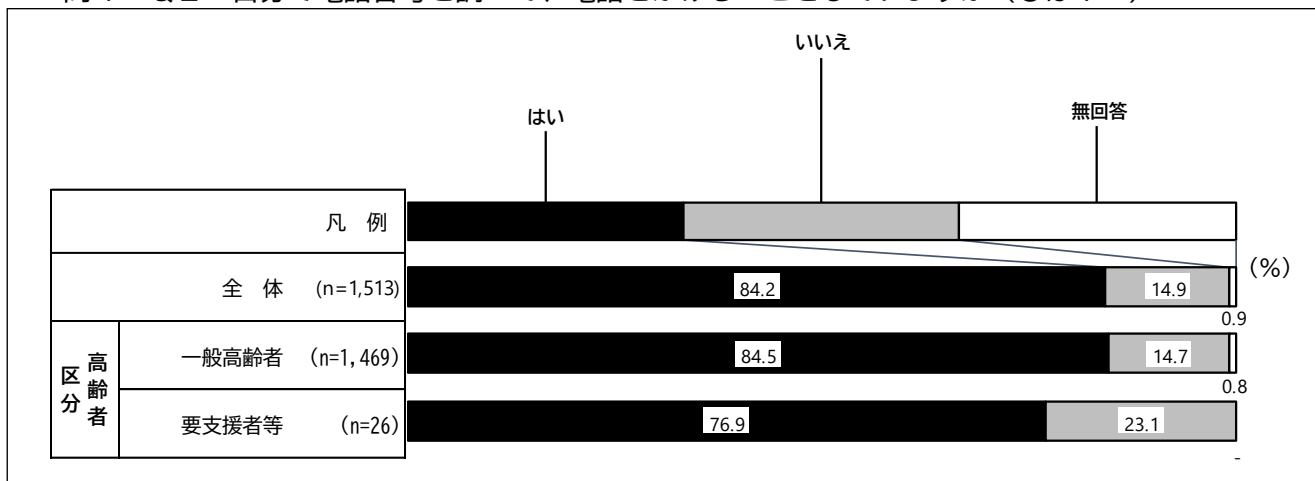
4 毎日の生活について

問4-Q1 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)



物忘れが多いと感じるかについて、全体では「いいえ」が58.6%、「はい」が40.1%となっています。認定状況別にみると、一般高齢者では「いいえ」が59.1%、「はい」が39.6%となっています。要支援者等では「はい」と「いいえ」が50.0%ずつとなっています。

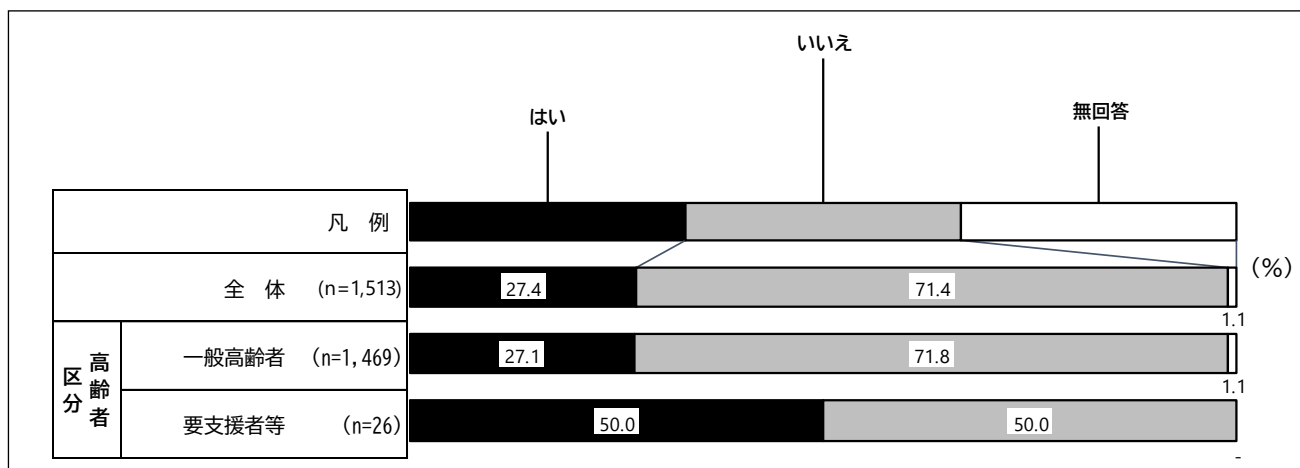
問4-Q2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○は1つ)



自分で電話番号を調べて、電話をかけるかについて、全体では「はい」が84.2%、「いいえ」が14.9%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「はい」が84.5%、「いいえ」が14.7%となっています。要支援者等では「はい」が76.9%、「いいえ」が23.1%となっています。

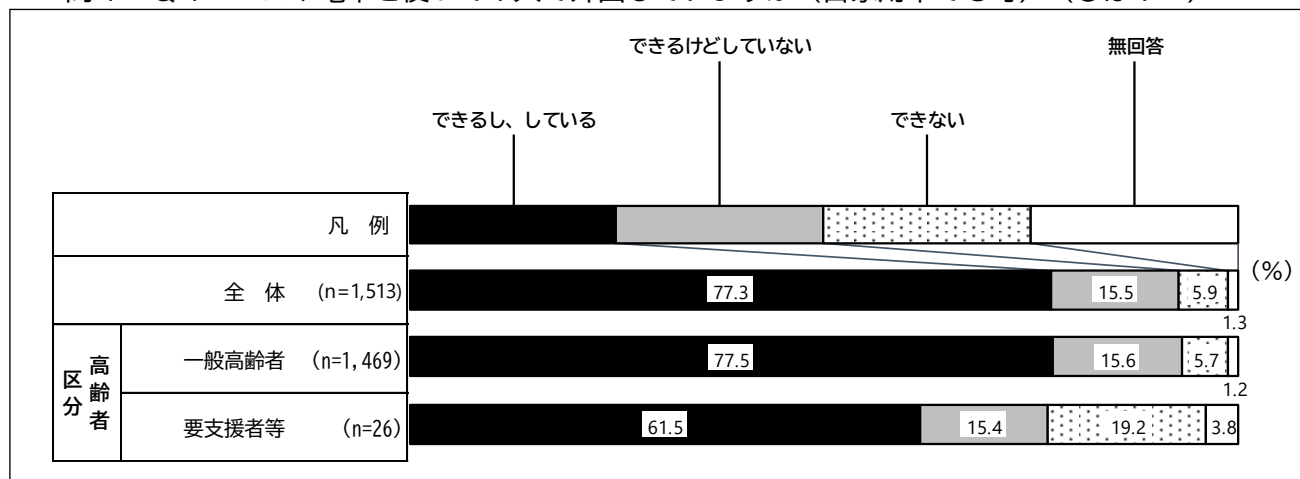
問4-Q3 今日が何月何日かわからない時がありますか（○は1つ）



今日が何月何日かわからない時があるかについて、全体では「いいえ」が71.4%、「はい」が27.4%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「いいえ」が71.8%、「はい」が27.1%となっています。要支援者等では「はい」と「いいえ」が50.0%ずつとなっています。

問4-Q4 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（○は1つ）

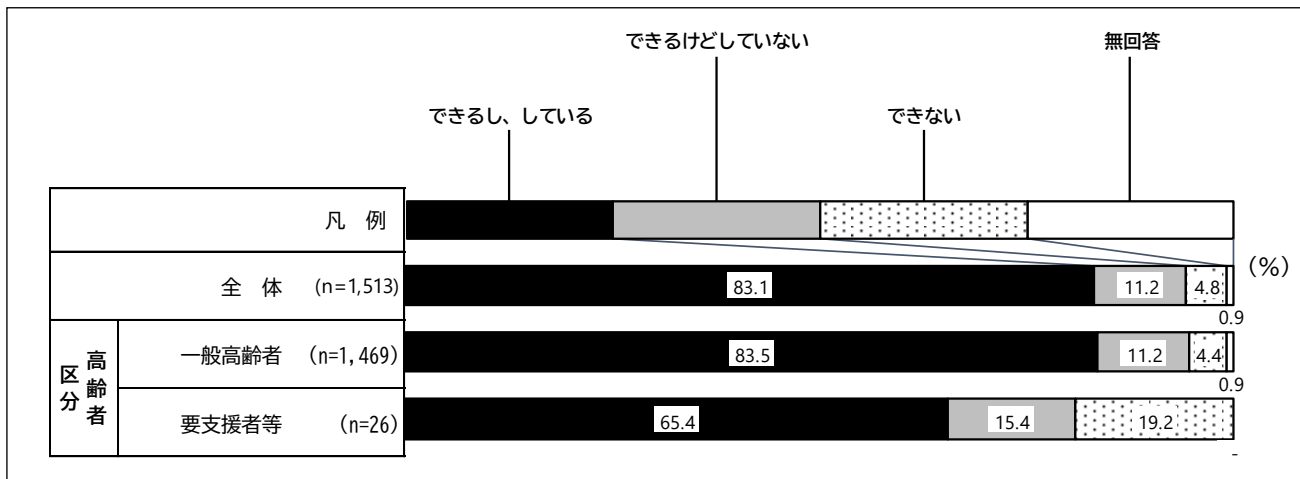


バスや電車を使って1人で外出しているかについて、全体では「できるし、している」が77.3%と最も多く、次いで「できるけどしてない」が15.5%、「できない」が5.9%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「できるし、している」が77.5%と最も多く、次いで「できるけどしてない」が15.6%、「できない」が5.7%となっています。

要支援者等では「できるし、している」が61.5%と最も多く、次いで「できない」が19.2%、「できるけどしてない」が15.4%となっています。

問4-Q5 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つ)

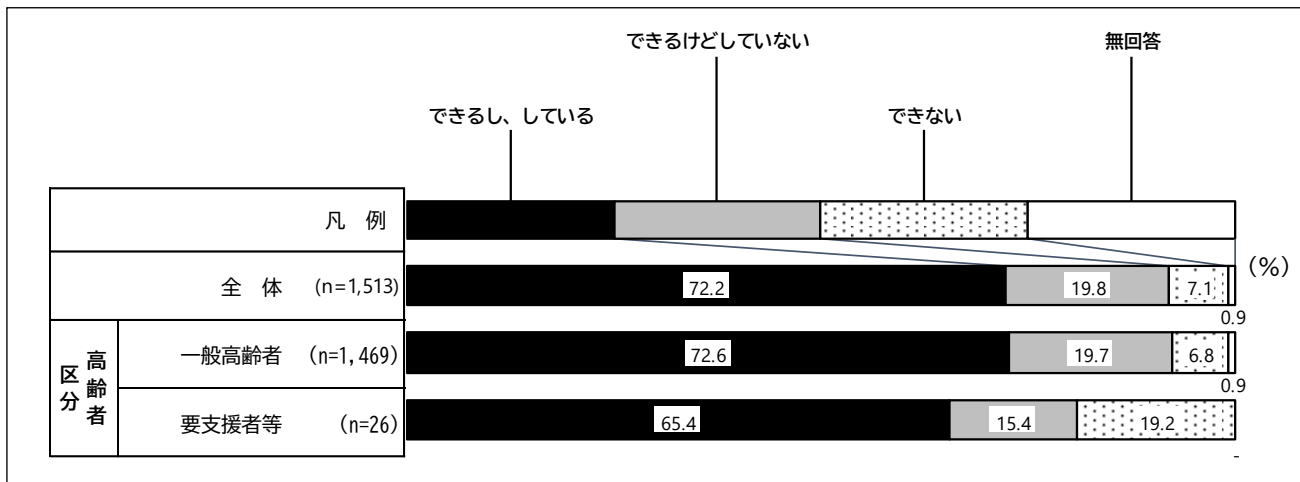


自分で食品・日用品の買物をしているかについて、全体では「できるし、している」が83.1%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.2%、「できない」が4.8%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「できるし、している」が83.5%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.2%、「できない」が4.4%となっています。

要支援者等では「できるし、している」が65.4%と最も多く、次いで「できない」が19.2%、「できるけどしていない」が15.4%となっています。

問4-Q6 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)

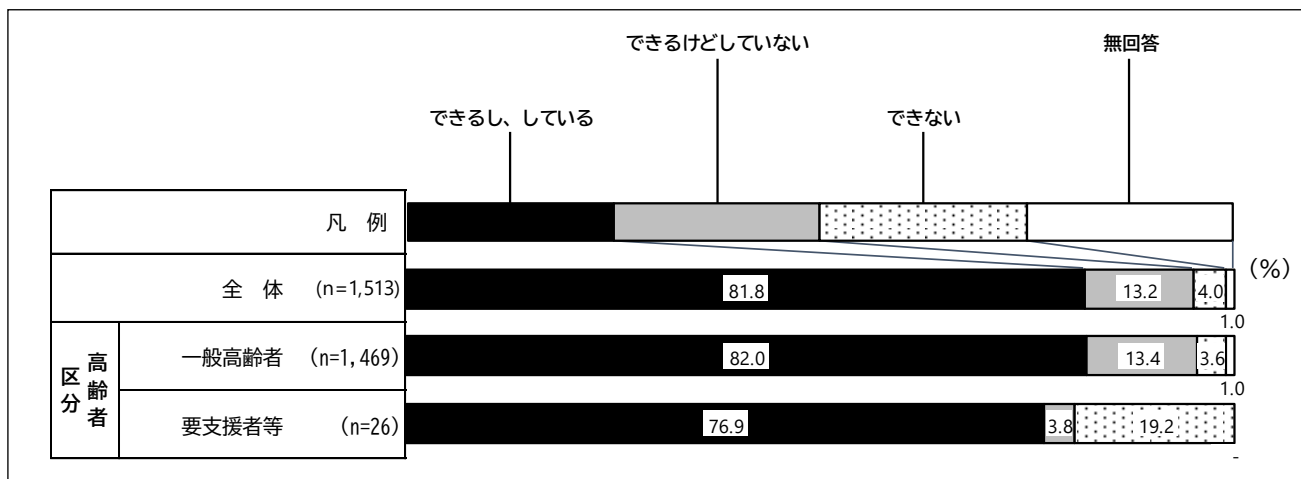


自分で食事の用意をしているかについて、全体では「できるし、している」が72.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が19.8%、「できない」が7.1%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「できるし、している」が72.6%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が19.7%、「できない」が6.8%となっています。

要支援者等では「できるし、している」が65.4%と最も多く、次いで「できない」が19.2%、「できるけどしていない」が15.4%となっています。

問4-Q7 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つ)

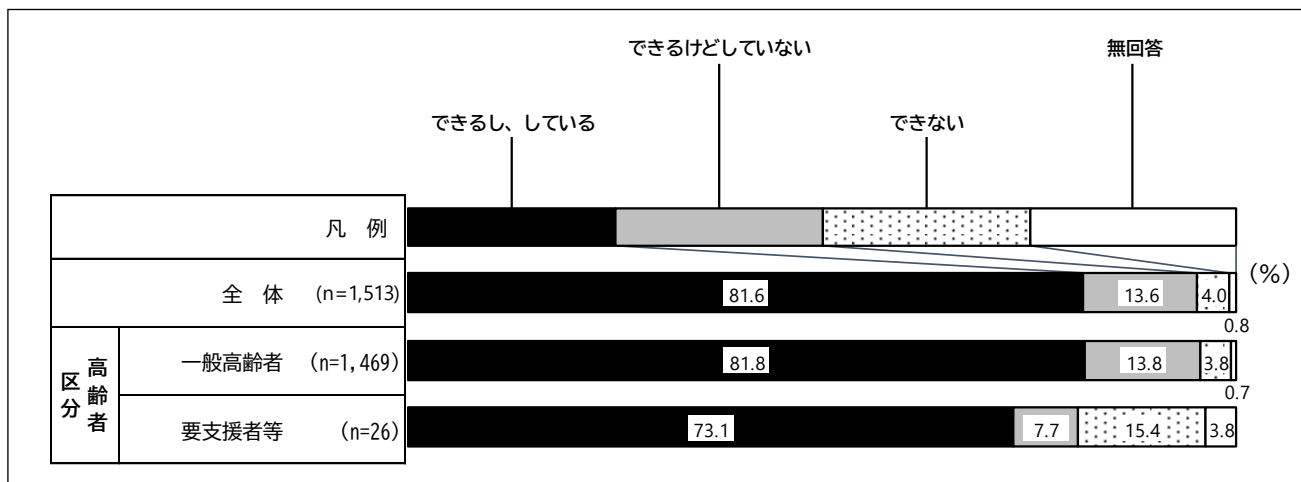


自分で請求書の支払いをしているかについて、全体では「できるし、している」が81.8%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.2%、「できない」が4.0%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「できるし、している」が82.0%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.4%、「できない」が3.6%となっています。

要支援者等では「できるし、している」が76.9%と最も多く、次いで「できない」が19.2%、「できるけどしていない」が3.8%となっています。

問4-Q8 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は1つ)

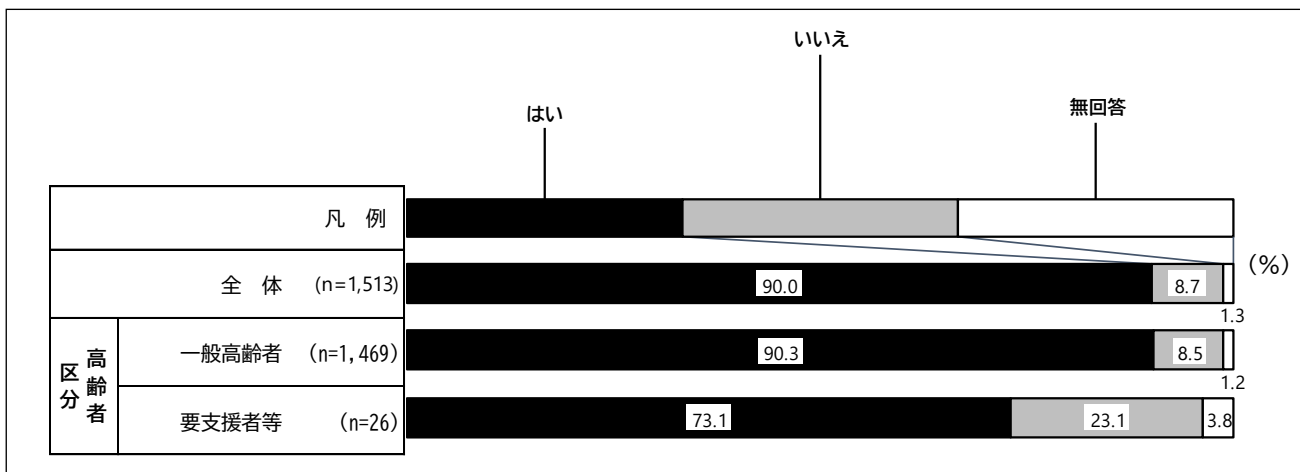


自分で預貯金の出し入れをしているかについて、全体では「できるし、している」が81.6%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.6%、「できない」が4.0%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「できるし、している」が81.8%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.8%、「できない」が3.8%となっています。

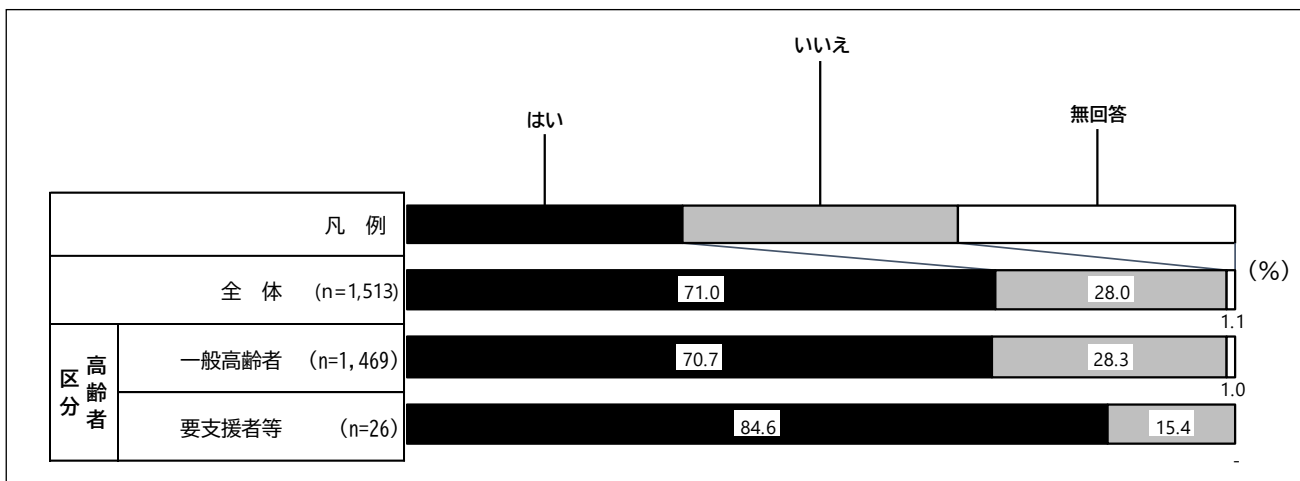
要支援者等では「できるし、している」が73.1%と最も多く、次いで「できない」が15.4%、「できるけどしていない」が7.7%となっています。

問4-Q9 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（○は1つ）



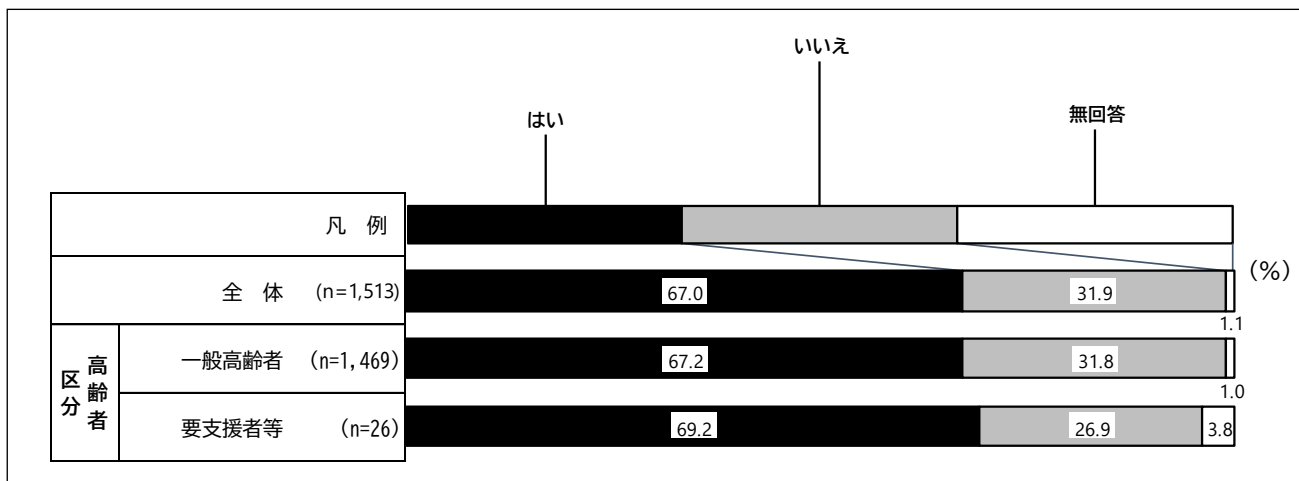
年金などの書類が書けるかについて、全体では「はい」が90.0%、「いいえ」が8.7%となっています。認定状況別にみると、一般高齢者では「はい」が90.3%、「いいえ」が8.5%となっています。要支援者等では「はい」が73.1%、「いいえ」が23.1%となっています。

問4-Q10 新聞を読んでいますか（○は1つ）



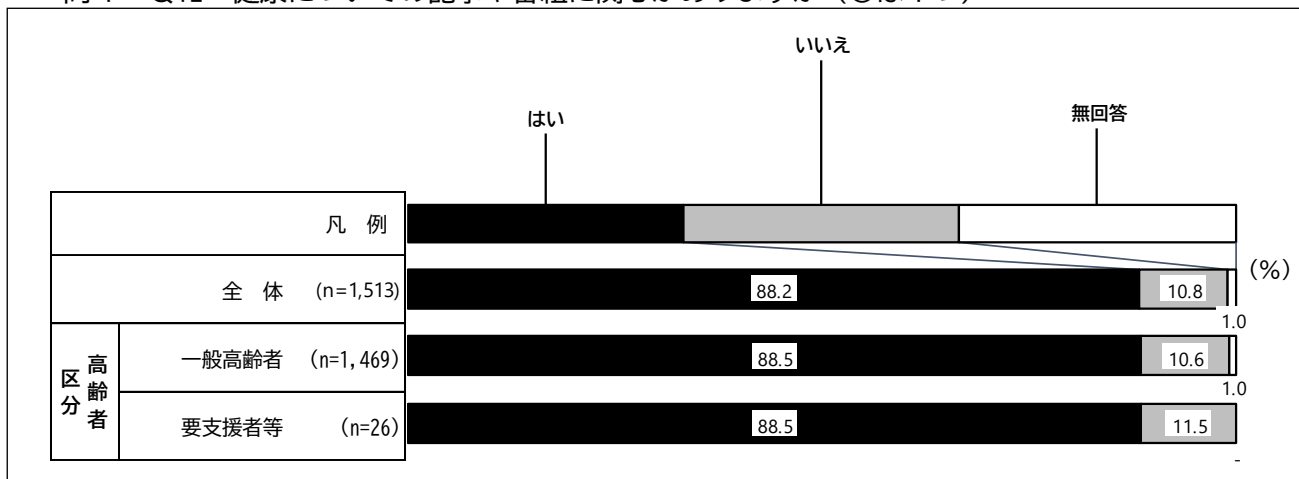
新聞を読んでいるかについて、全体では「はい」が71.0%、「いいえ」が28.0%となっています。認定状況別にみると、一般高齢者では「はい」が70.7%、「いいえ」が28.3%となっています。要支援者等では「はい」が84.6%、「いいえ」が15.4%となっています。

問4-Q11 本や雑誌を読んでいますか (○は1つ)



本や雑誌を読んでいるかについて、全体では「はい」が67.0%、「いいえ」が31.9%となっています。認定状況別にみると、一般高齢者では「はい」が67.2%、「いいえ」が31.8%となっています。要支援者等では「はい」が69.2%、「いいえ」が26.9%となっています。

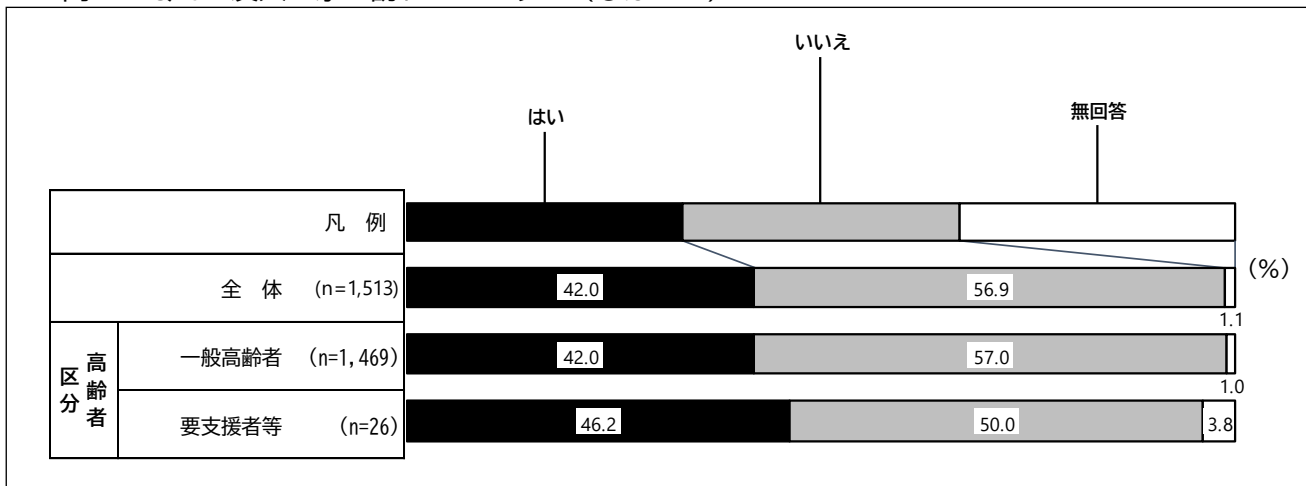
問4-Q12 健康についての記事や番組に関心がありますか (○は1つ)



健康についての記事や番組に関心があるかについて、全体では「はい」が88.2%、「いいえ」が10.8%となっています。

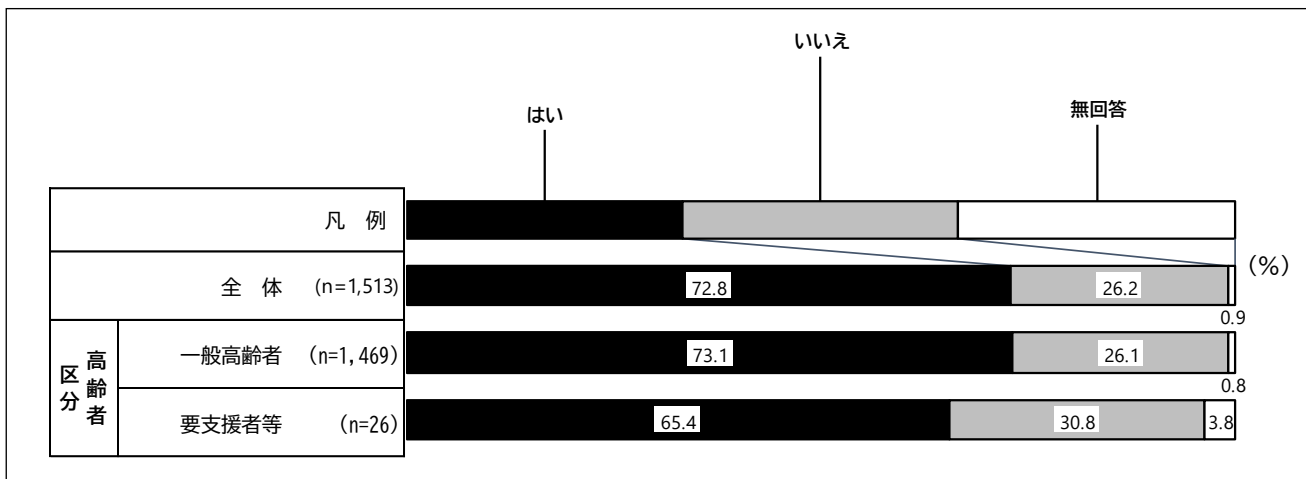
認定状況別にみると、一般高齢者では「はい」が88.5%、「いいえ」が10.6%となっています。要支援者等では「はい」が88.5%、「いいえ」が11.5%となっています。

問4-Q13 友人の家を訪ねていますか (○は1つ)



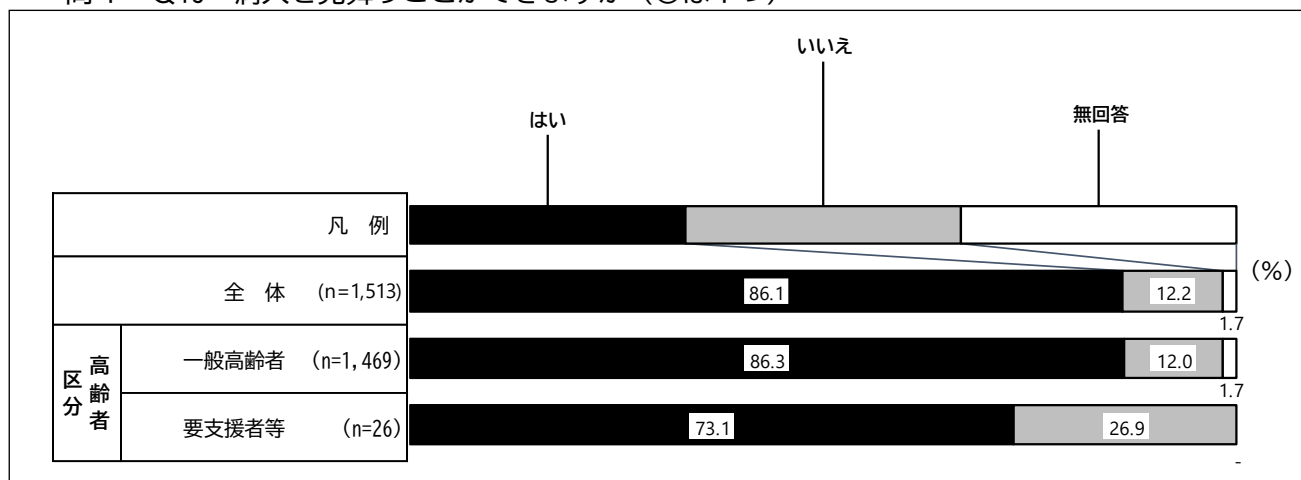
友人の家を訪ねているかについて、全体では「いいえ」が56.9%、「はい」が42.0%となっています。認定状況別にみると、一般高齢者では「いいえ」が57.0%、「はい」が42.0%となっています。要支援者等では「いいえ」が50.0%、「はい」が46.2%となっています。

問4-Q14 家族や友人の相談にのっていますか (○は1つ)



家族や友人の相談にのっているかについて、全体では「はい」が72.8%、「いいえ」が26.2%となっています。認定状況別にみると、一般高齢者では「はい」が73.1%、「いいえ」が26.1%となっています。要支援者等では「はい」が65.4%、「いいえ」が30.8%となっています。

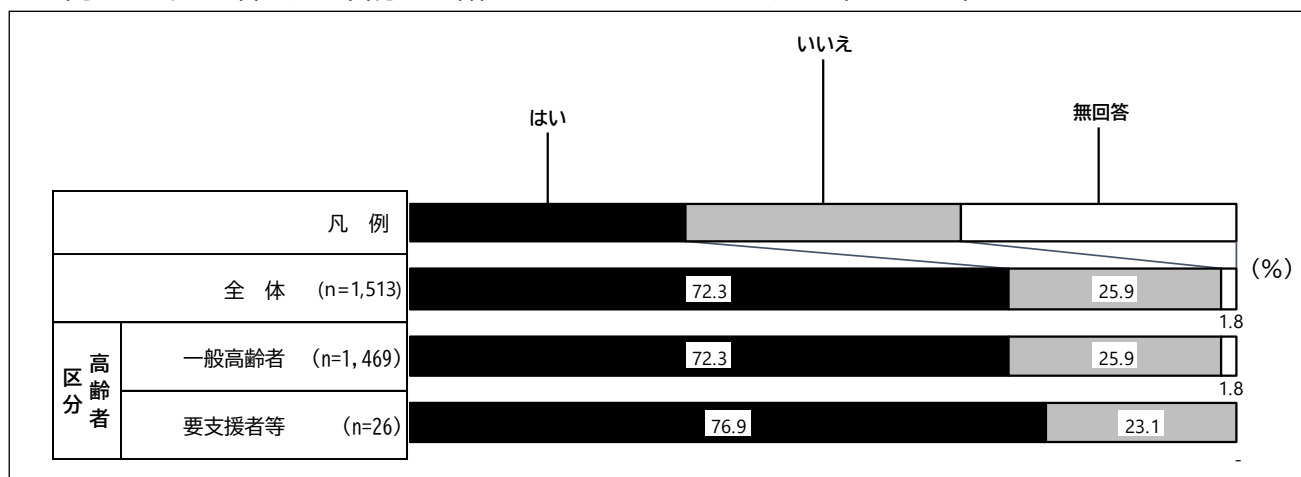
問4-Q15 病人を見舞うことができますか (○は1つ)



病人を見舞うことができるかについて、全体では「はい」が86.1%、「いいえ」が12.2%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「はい」が86.3%、「いいえ」が12.0%となっています。要支援者等では「はい」が73.1%、「いいえ」が26.9%となっています。

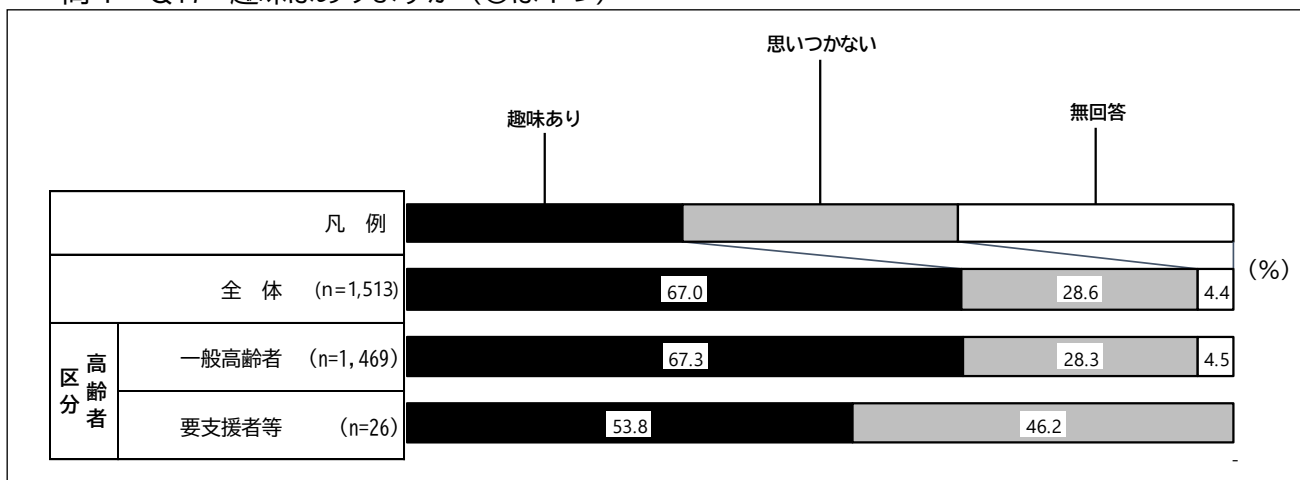
問4-Q16 若い人に自分から話しかけることがありますか (○は1つ)



若い人に自分から話しかけることがあるかについて、全体では「はい」が72.3%と最も多く、次いで「いいえ」が25.9%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「はい」が72.3%、「いいえ」が25.9%となっています。要支援者等では「はい」が76.9%、「いいえ」が23.1%となっています。

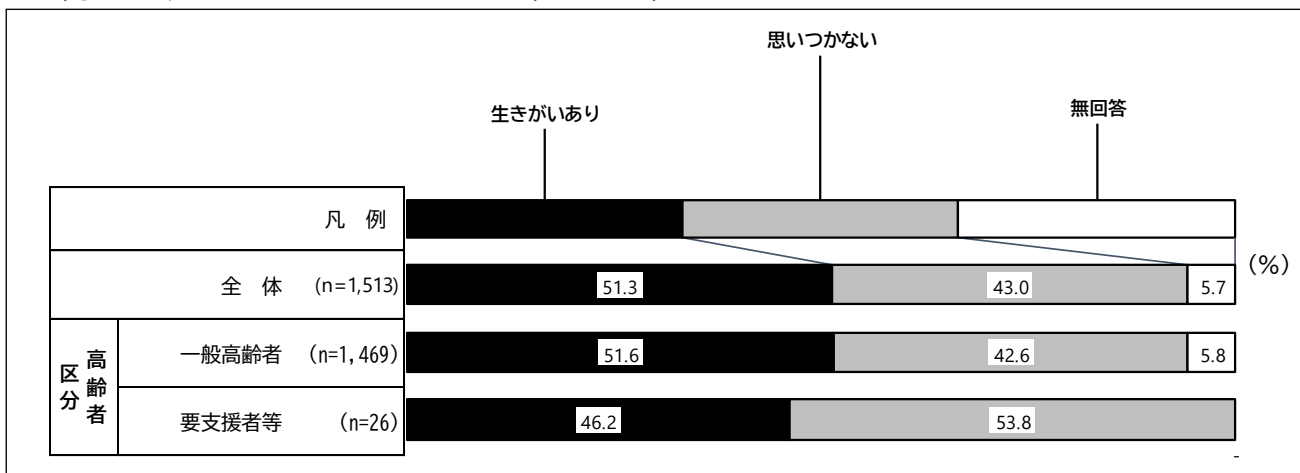
問4-Q17 趣味はありますか (○は1つ)



趣味はあるかについて、全体では「趣味あり」が67.0%、「思いつかない」が28.6%となっています。認定状況別にみると、一般高齢者では「趣味あり」が67.3%、「思いつかない」が28.3%となっています。

要支援者等では「趣味あり」が53.8%、「思いつかない」が46.2%となっています。

問4-Q18 生きがいがありますか (○は1つ)



生きがいがあるかについて、全体では「生きがいあり」が51.3%、「思いつかない」が43.0%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「生きがいあり」が51.6%、「思いつかない」が42.6%となっています。

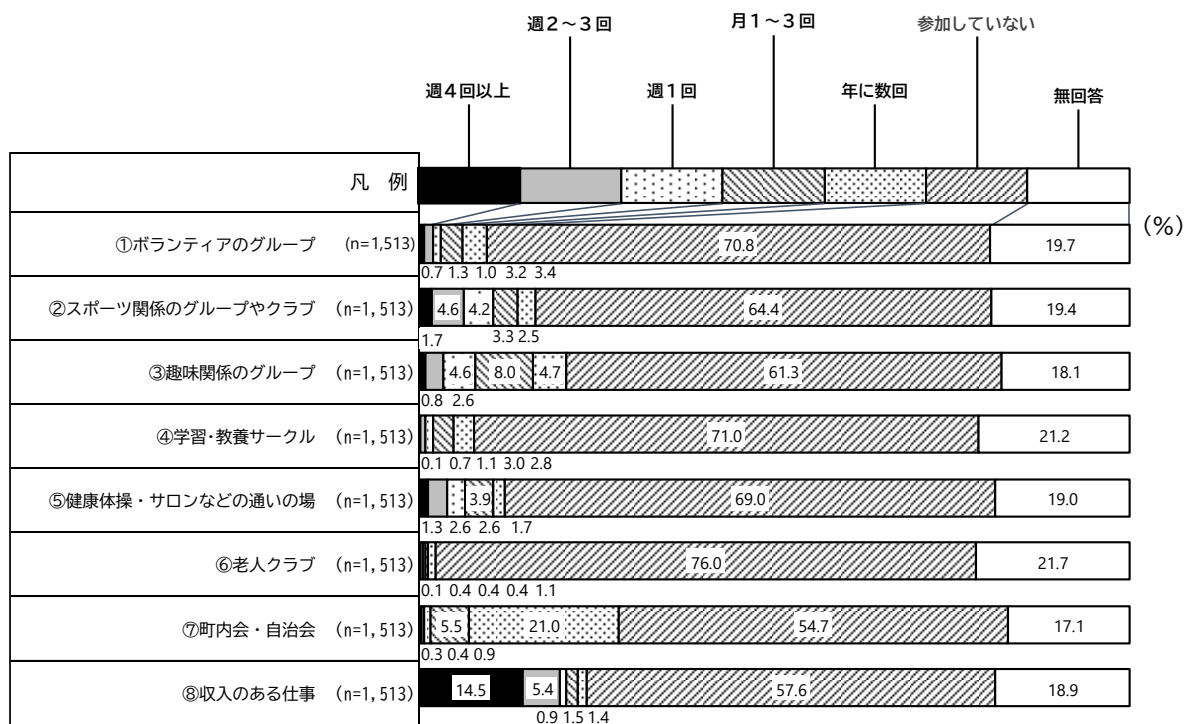
要支援者等では「生きがいあり」が46.2%、「思いつかない」が53.8%となっています。

5 地域での活動について

問5-Q1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

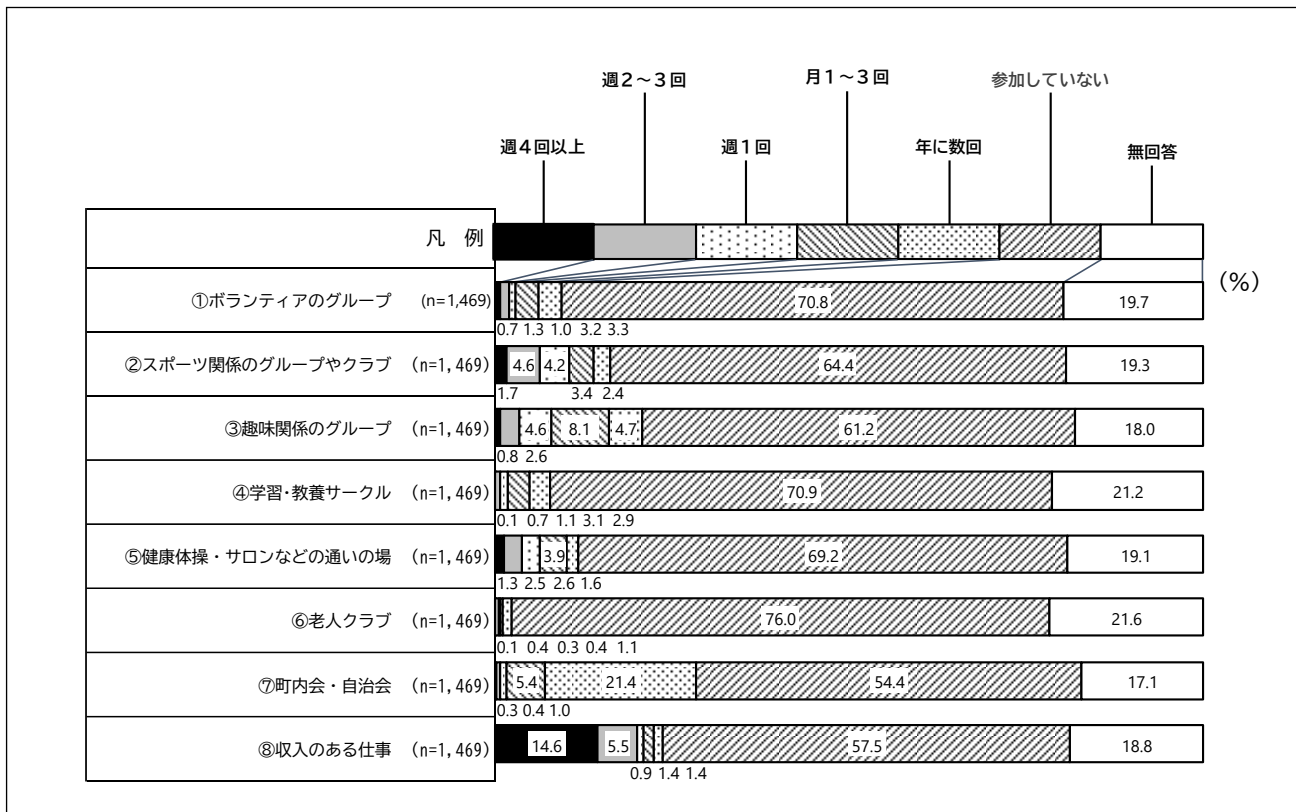
※①-⑧それぞれに回答してください（それぞれ○は1つ）

【全体】



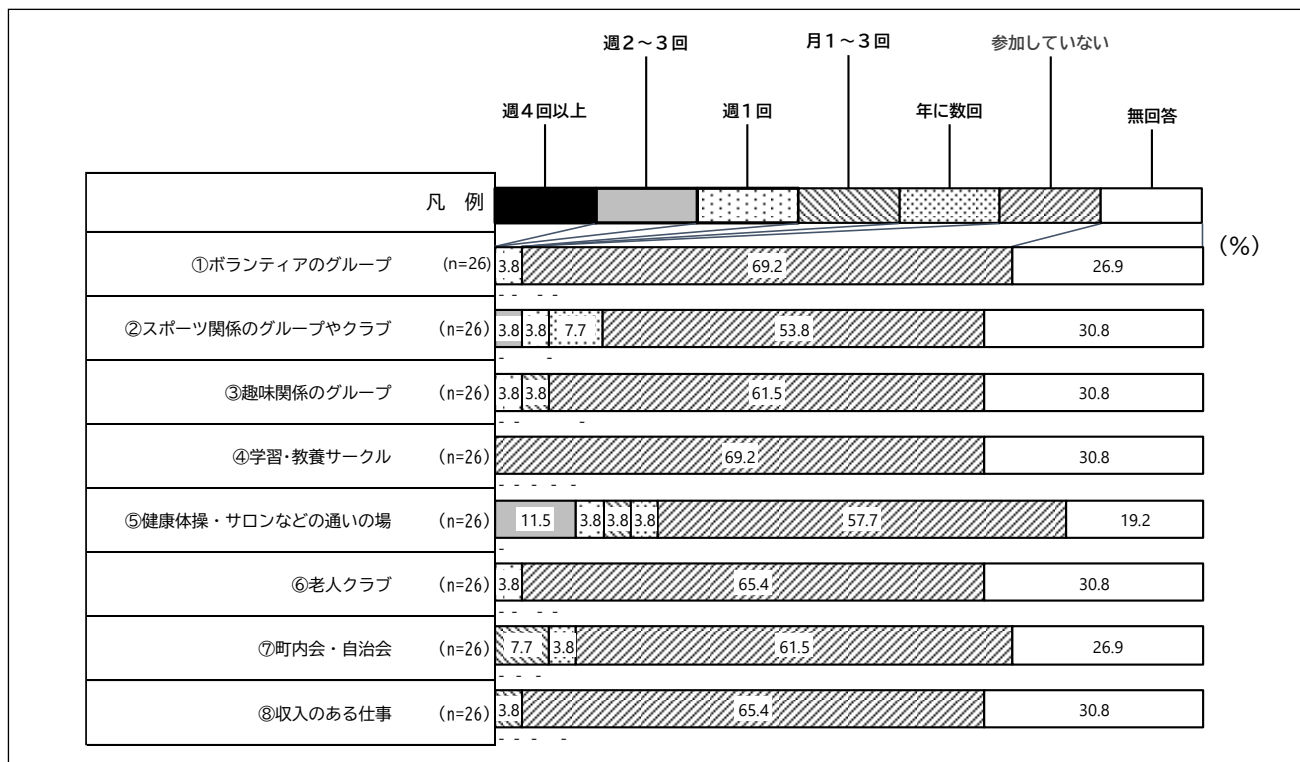
グループ等への参加頻度について、全体では「週4回以上」、「週2~3回」、「週1回」を合わせた『週1回以上』は「⑧収入のある仕事」が20.8%と最も多く、次いで「②スポーツ関係のグループやクラブ」が10.5%、「③趣味関係のグループ」が8.0%となっています。

【一般高齢者】



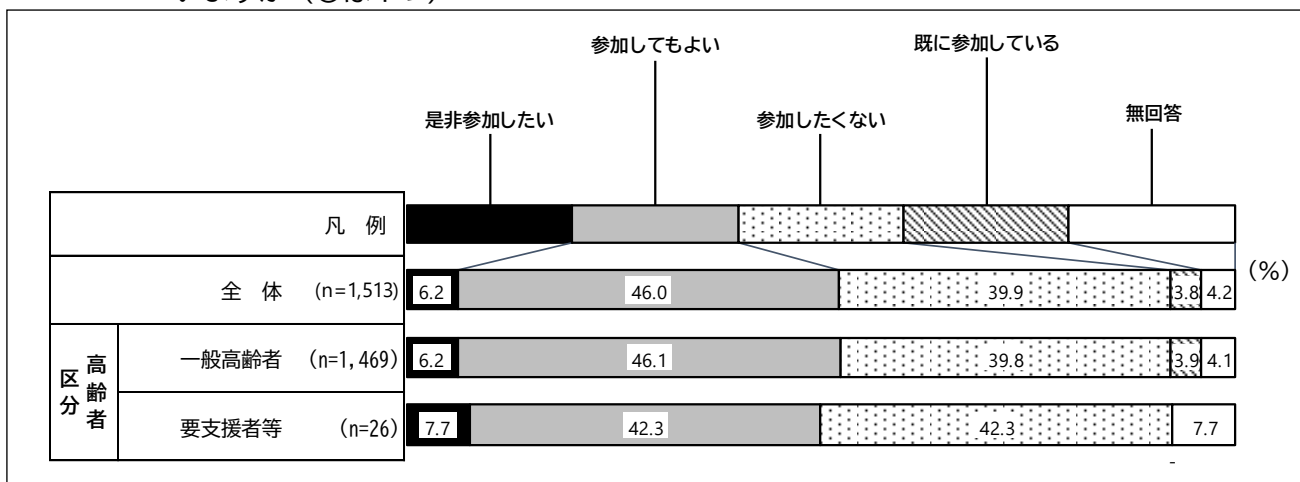
一般高齢者では、『週1回以上』は「⑧収入のある仕事」が21.0%と最も多く、次いで「②スポーツ関係のグループやクラブ」が10.5%、「③趣味関係のグループ」が8.0%となっています。

【要支援者等】



要支援者等では、『週1回以上』は「⑤健康体操・サロンなどの通いの場」が15.3%と最も多く、次いで「②スポーツ関係のグループやクラブ」が7.6%となっています。

問5-Q2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

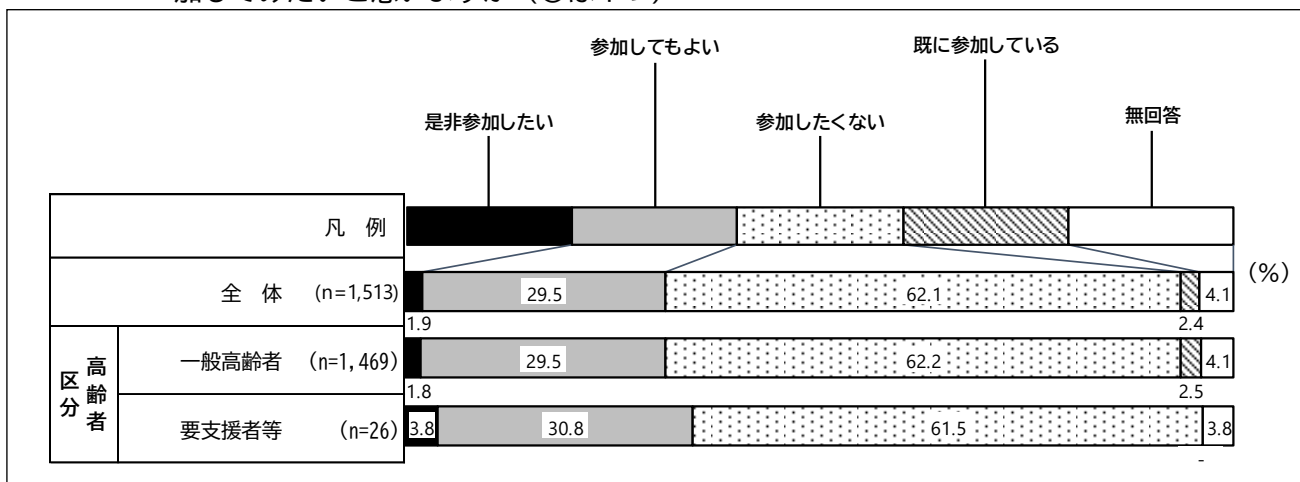


参加者としてグループ活動等に参加してみたいかについて、全体では「参加してもよい」が46.0%と最も多く、次いで「参加したくない」が39.9%、「是非参加したい」が6.2%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「参加してもよい」が46.1%と最も多く、次いで「参加したくない」が39.8%、「是非参加したい」が6.2%となっています。

要支援者等では「参加してもよい」、「参加したくない」が42.3%と最も多く、次いで「是非参加したい」が7.7%となっています。

問5-Q3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）



企画・運営（お世話役）としてグループ活動等に参加してみたいかについて、全体では「参加したくない」が62.1%と最も多く、次いで「参加してもよい」が29.5%、「既に参加している」が2.4%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「参加したくない」が62.2%と最も多く、次いで「参加してもよい」が29.5%、「既に参加している」が2.5%となっています。

要支援者等では「参加したくない」が61.5%と最も多く、次いで「参加してもよい」が30.8%、「是非参加したい」が3.8%となっています。

6 就労について

問6-Q1 現在のあなたの就労状態はどれですか（○はいくつでも）

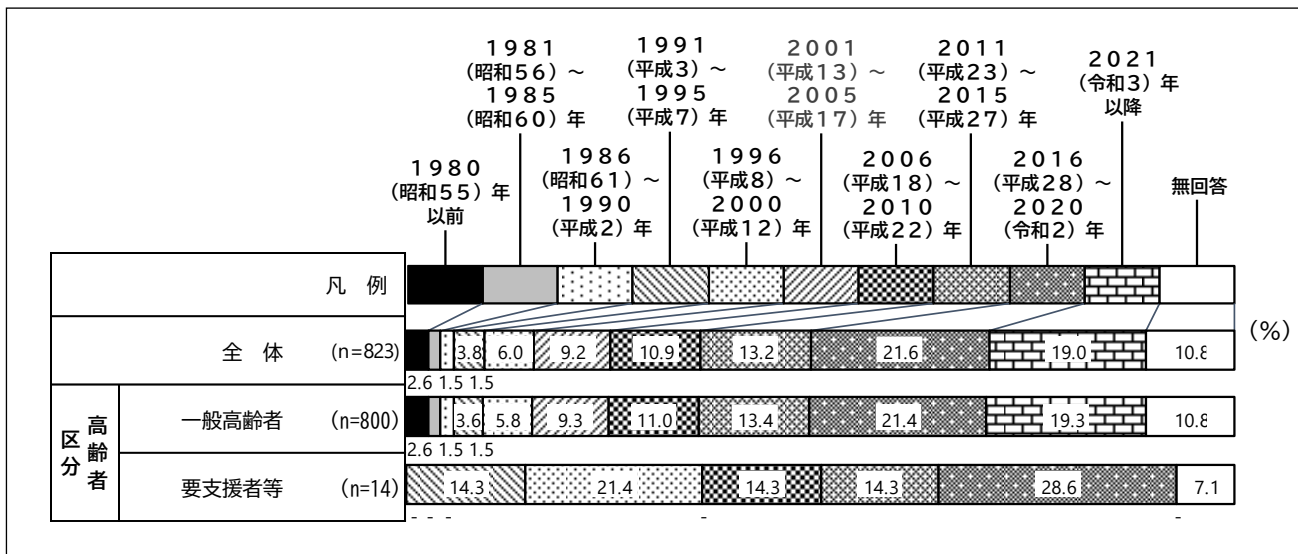
		n	(%)							
			引退した	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	常勤（フルタイム）	職に就いたことがない	求職中	その他	無回答
全体		1,513	54.4	13.6	8.0	7.3	4.6	1.0	7.9	4.2
高齢者区分	一般高齢者	1,469	54.5	13.5	8.2	7.4	4.5	1.0	7.8	4.0
	要支援者等	26	53.8	7.7	-	-	11.5	-	15.4	11.5

現在の就労状況について、全体では「引退した」が54.4%と最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が13.6%、「自営業」が8.0%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「引退した」が54.5%と最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が13.5%、「自営業」が8.2%となっています。

要支援者等では「引退した」が53.8%と最も多く、次いで「職に就いたことがない」が11.5%、「非常勤（パート・アルバイト等）」が7.7%となっています。

問6-Q1-1 問6-Q1で「2. 引退した」と回答した方に伺います。あなたはいつ引退しましたか（○は1つ）



引退した時期について、全体では「2016（平成28）～2020（令和2）年」が21.6%と最も多く、次いで「2021（令和3）年以降」が19.0%、「2011（平成23）～2015（平成27）年」が13.2%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「2016（平成28）～2020（令和2）年」が21.4%と最も多く、次いで「2021（令和3）年以降」が19.3%、「2011（平成23）～2015（平成27）年」が13.4%となっています。

要支援者等では「2016（平成28）～2020（令和2）年」が28.6%と最も多く、次いで「1996（平成8）年～2000（平成12）年」が21.4%、「1991（平成3）年～1995（平成7）年」、「2006（平成18）～2010（平成22）年」、「2011（平成23）～2015（平成27）年」が14.3%となっています。

7 たすけあいについて

問7-Q1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○はいくつでも）

		n	配偶者	友人	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,513	51.5	42.2	33.2	33.0	19.8	8.6	2.4	4.6	1.7
区分 高齢者	一般高齢者	1,469	51.9	42.5	33.4	33.0	19.7	8.8	2.5	4.6	1.6
	要支援者等	26	30.8	38.5	30.8	46.2	23.1	3.8	-	-	3.8

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人について、全体では「配偶者」が51.5%と最も多く、次いで「友人」が42.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が33.2%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「配偶者」が51.9%と最も多く、次いで「友人」が42.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が33.4%となっています。

要支援者等では「別居の子ども」が46.2%と最も多く、次いで「友人」が38.5%、「配偶者」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が30.8%となっています。

問7-Q2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（○はいくつでも）

		n	配偶者	友人	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,513	47.9	43.0	34.8	31.9	17.5	10.7	1.5	7.2	2.5
区分 高齢者	一般高齢者	1,469	48.3	43.2	35.0	32.1	17.4	10.9	1.6	7.1	2.4
	要支援者等	26	30.8	46.2	30.8	34.6	23.1	3.8	-	11.5	3.8

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人について、全体では「配偶者」が47.9%と最も多く、次いで「友人」が43.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が34.8%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「配偶者」が48.3%と最も多く、次いで「友人」が43.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が35.0%となっています。

要支援者等では「友人」が46.2%と最も多く、次いで「別居の子ども」が34.6%、「配偶者」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が30.8%となっています。

問7-Q3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

(○はいくつでも)

		n	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,513	58.2	31.3	27.6	17.4	4.3	1.8	1.5	7.3	1.7
区分 高齢者	一般高齢者	1,469	58.5	31.3	27.5	17.5	4.3	1.8	1.5	7.1	1.6
	要支援者等	26	30.8	42.3	26.9	23.1	3.8	3.8	3.8	11.5	3.8

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、全体では「配偶者」が58.2%と最も多く、次いで「別居の子ども」が31.3%、「同居の子ども」が27.6%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「配偶者」が58.5%と最も多く、次いで「別居の子ども」が31.3%、「同居の子ども」が27.5%となっています。

要支援者等では「別居の子ども」が42.3%と最も多く、次いで「配偶者」が30.8%、「同居の子ども」が26.9%となっています。

問7-Q4 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人 (○はいくつでも)

		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,513	60.5	25.1	24.5	24.4	6.7	2.7	1.4	11.4	3.0
区分 高齢者	一般高齢者	1,469	61.0	25.2	24.6	24.4	6.8	2.8	1.4	11.2	3.0
	要支援者等	26	38.5	26.9	26.9	23.1	-	-	-	19.2	3.8

看病や世話をしてあげる人について、全体では「配偶者」が60.5%と最も多く、次いで「同居の子ども」が25.1%、「別居の子ども」が24.5%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「配偶者」が61.0%と最も多く、次いで「同居の子ども」が25.2%、「別居の子ども」が24.6%となっています。

要支援者等では「配偶者」が38.5%と最も多く、次いで「同居の子ども」、「別居の子ども」が26.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が23.1%となっています。

問7-Q5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(○はいくつでも)

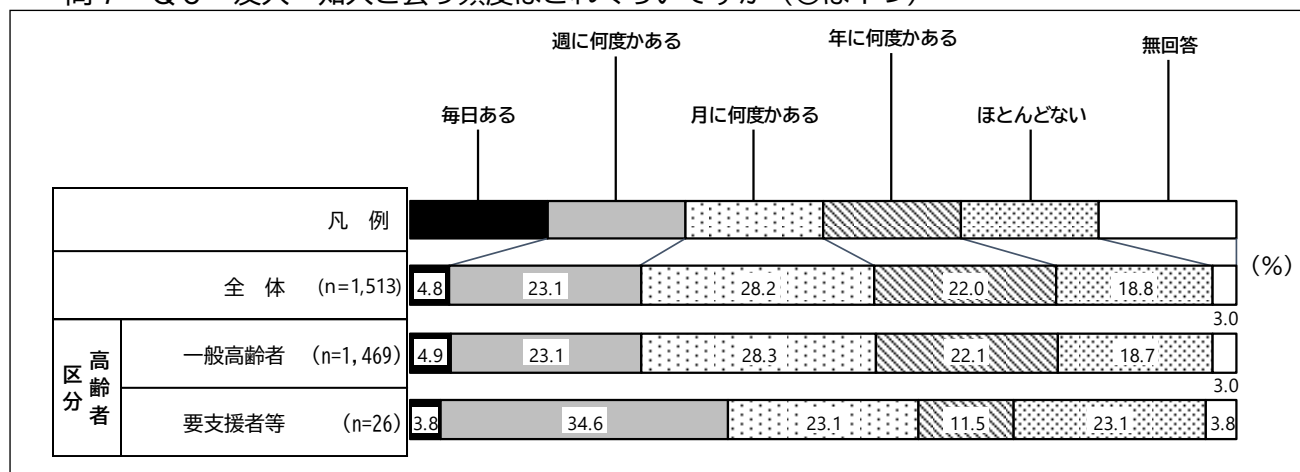
		n	医師・ 歯科医師・ 看護師	地域包括 支援センター・ 役所・役場	社会福祉 協議会・民生 委員	自治体・ 町内会・老人 クラブ	ケアマネ ジャー	その他	そのような 人はいない	無回答
全体		1,513	25.6	21.9	9.5	6.3	6.3	4.2	43.1	7.1
高齢者 区分	一般高齢者	1,469	26.1	21.9	9.5	6.4	6.0	4.3	43.2	7.0
	要支援者等	26	7.7	38.5	7.7	3.8	30.8	-	23.1	15.4

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手について、全体では「医師・歯科医師・看護師」が25.6%と最も多く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」が21.9%、「社会福祉協議会・民生委員」が9.5%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「医師・歯科医師・看護師」が26.1%と最も多く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」が21.9%、「社会福祉協議会・民生委員」が9.5%となっています。

要支援者等では「地域包括支援センター・役所・役場」が38.5%と最も多く、次いで「ケアマネジャー」が30.8%、「医師・歯科医師・看護師」、「社会福祉協議会・民生委員」が7.7%となっています。

問7-Q6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○は1つ)

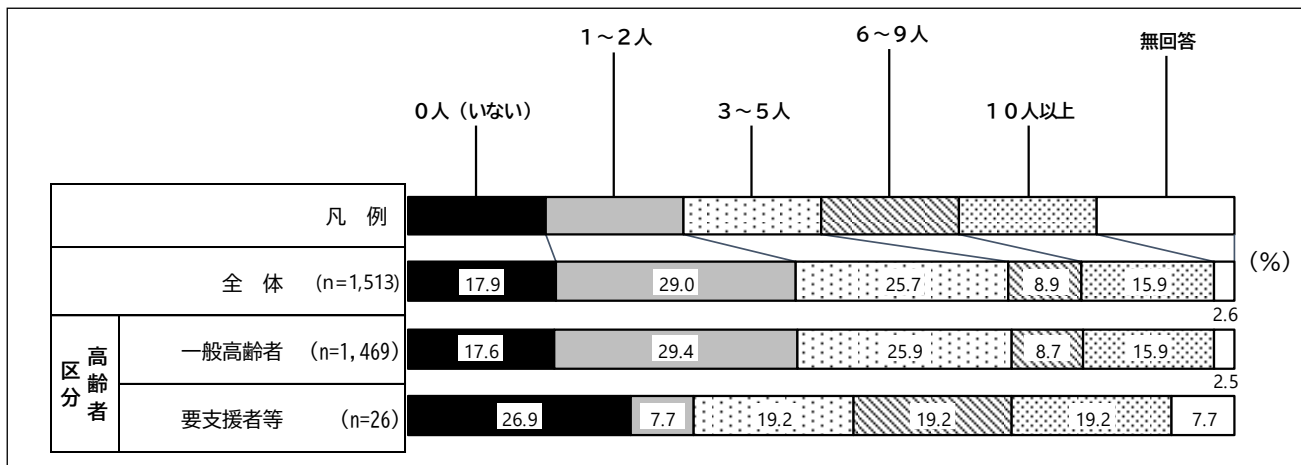


友人・知人と会う頻度について、全体では「月に何度かある」が28.2%と最も多く、次いで「週に何度かある」が23.1%、「年に何度かある」が22.0%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「月に何度かある」が28.3%と最も多く、次いで「週に何度かある」が23.1%、「年に何度かある」が22.1%となっています。

要支援者等では「週に何度かある」が34.6%と最も多く、次いで「月に何度かある」、「ほとんどない」が23.1%、「年に何度かある」が11.5%となっています。

問7-Q7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか（○は1つ）
 同じ人には何度会っても1人と数えることとします



最近1か月間に何人の友人・知人と会ったかについて、全体では「1～2人」が29.0%と最も多く、次いで「3～5人」が25.7%、「0人(いない)」が17.9%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「1～2人」が29.4%と最も多く、次いで「3～5人」が25.9%、「0人(いない)」が17.6%となっています。

要支援者等では「0人(いない)」が26.9%と最も多く、次いで「3～5人」、「6～9人」、「10人以上」が19.2%、「1～2人」が7.7%となっています。

問7-Q8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（○はいくつでも）

区分	グループ	n	関係の種類 (%)								
			近所・同じ地域の人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	学生時代の友人	幼なじみ	友人ボランティア等の活動での	その他	いない	無回答
	全体	1,513	38.8	32.0	28.5	16.7	6.8	4.4	5.2	13.6	3.4
高齢者区分	一般高齢者	1,469	38.9	32.3	28.7	16.7	6.8	4.5	5.1	13.5	3.2
	要支援者等	26	42.3	15.4	23.1	15.4	7.7	-	3.8	19.2	11.5

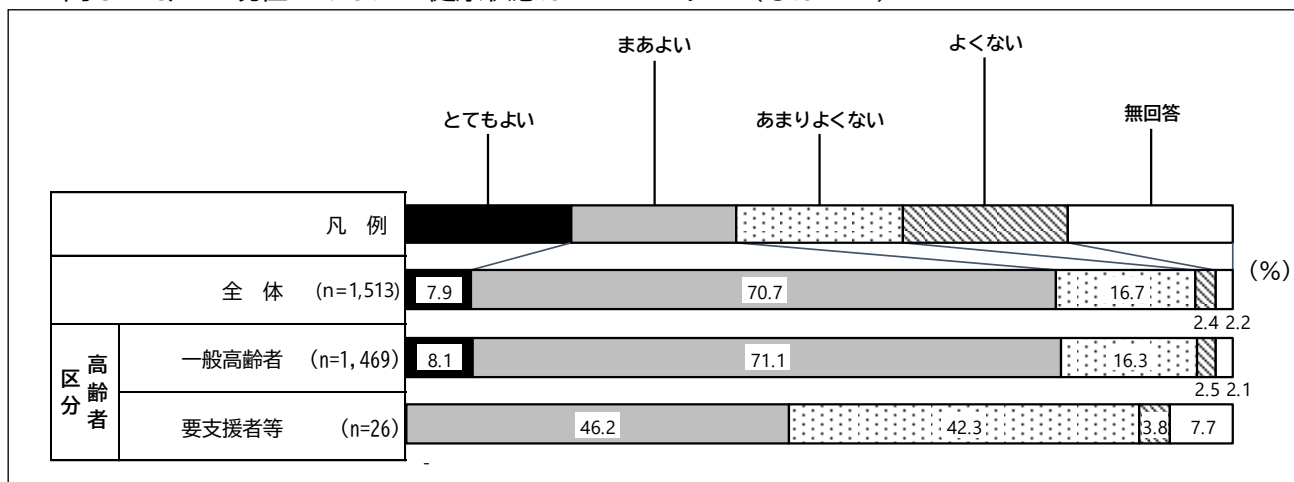
よく会う友人・知人との関係について、全体では「近所・同じ地域の人」が38.8%と最も多く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が32.0%、「趣味や関心が同じ友人」が28.5%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「近所・同じ地域の人」が38.9%と最も多く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が32.3%、「趣味や関心が同じ友人」が28.7%となっています。

要支援者等では「近所・同じ地域の人」が42.3%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が23.1%、「仕事での同僚・元同僚」、「学生時代の友人」が15.4%となっています。

8 健康について

問8-Q1 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)



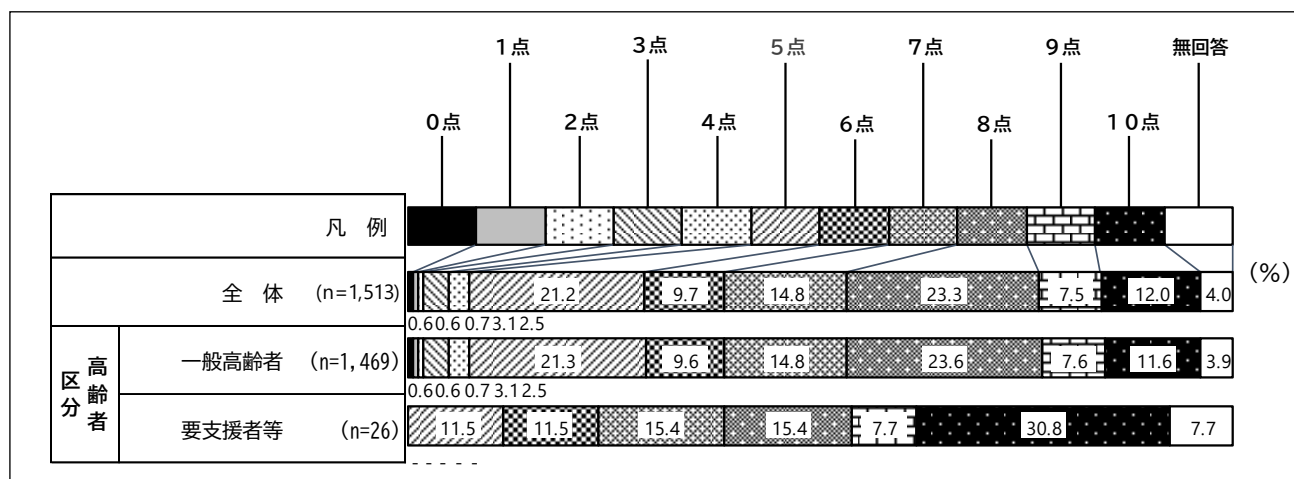
調査対象者の現在の健康状態について、全体では「まあよい」が70.7%と最も多く、次いで「あまりよくない」が16.7%、「とてもよい」が7.9%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「まあよい」が71.1%と最も多く、次いで「あまりよくない」が16.3%、「とてもよい」が8.1%となっています。

要支援者等では「まあよい」が46.2%と最も多く、次いで「あまりよくない」が42.3%、「よくない」が3.8%となっています。

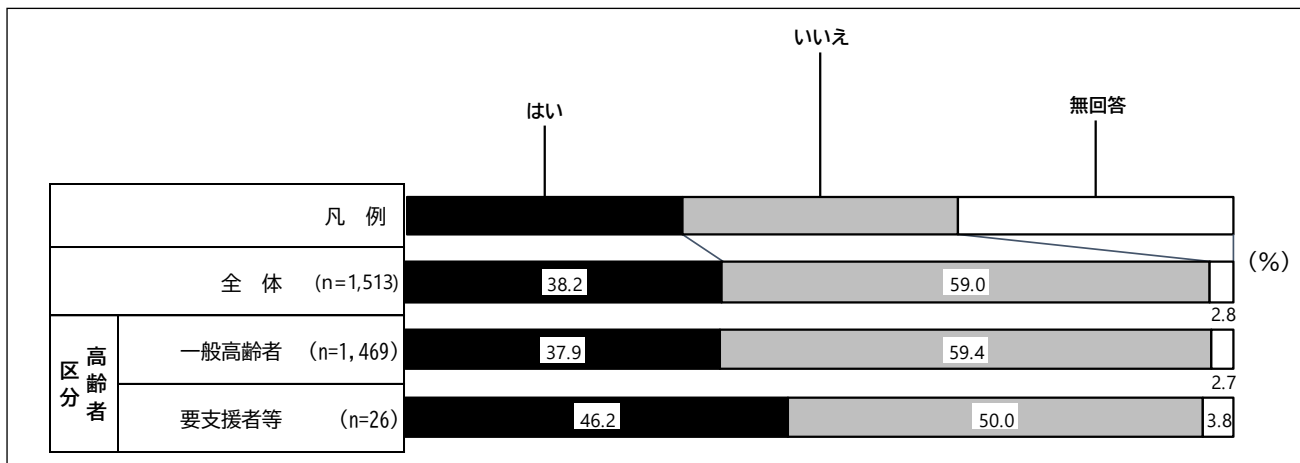
問8-Q2 あなたは、現在どの程度幸せですか (○は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)



現在の主観的幸福感について、全体では『6点以上』が67.3%、『5点以下』が28.7%となっています。認定状況別にみると、一般高齢者では『6点以上』が67.2%、『5点以下』が28.8%となっています。要支援者等では『6点以上』が80.8%、『5点以下』が11.5%となっています。

問8-Q3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)

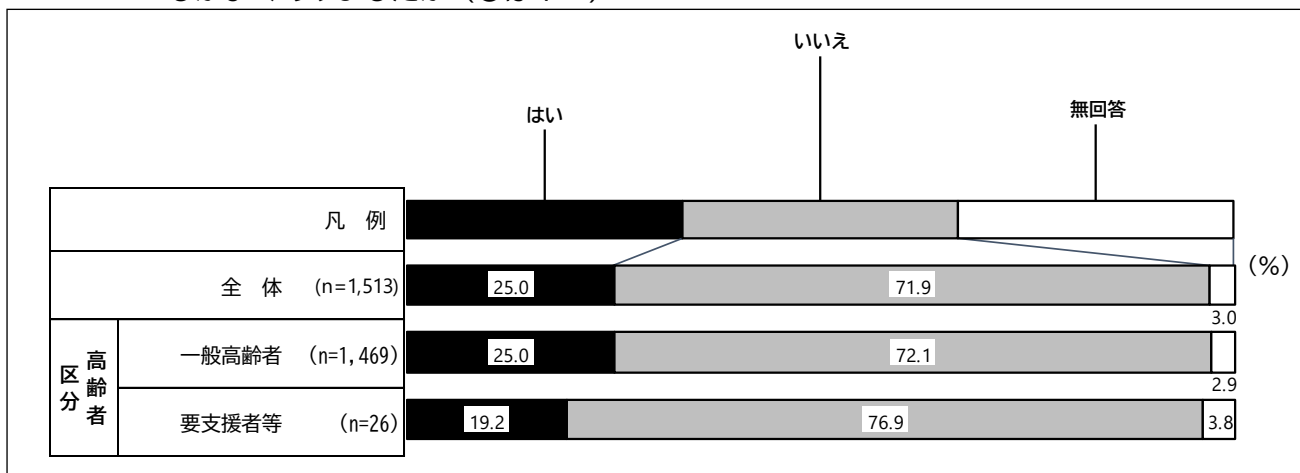


この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることの有無について、全体では「いいえ」が59.0%、「はい」が38.2%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「いいえ」が59.4%、「はい」が37.9%となっています。

要支援者等では「いいえ」が50.0%、「はい」が46.2%となっています。

問8-Q4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)

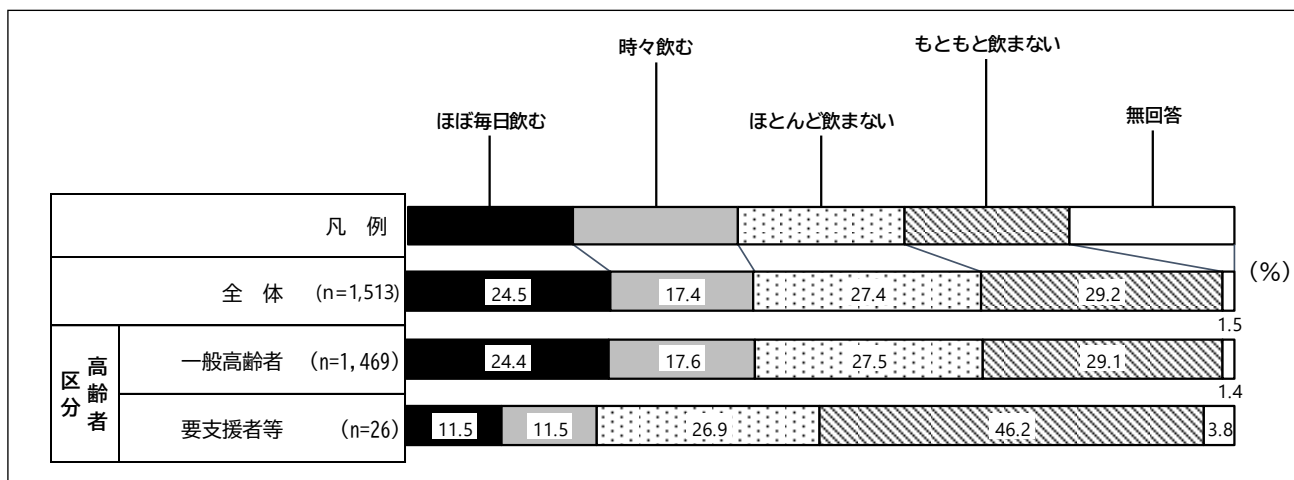


この1か月間、物事に対して心から楽しめない感じの有無について、全体では「いいえ」が71.9%、「はい」が25.0%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「いいえ」が72.1%、「はい」が25.0%となっています。

要支援者等では「いいえ」が76.9%、「はい」が19.2%となっています。

問8-Q5 お酒は飲みますか (○は1つ)

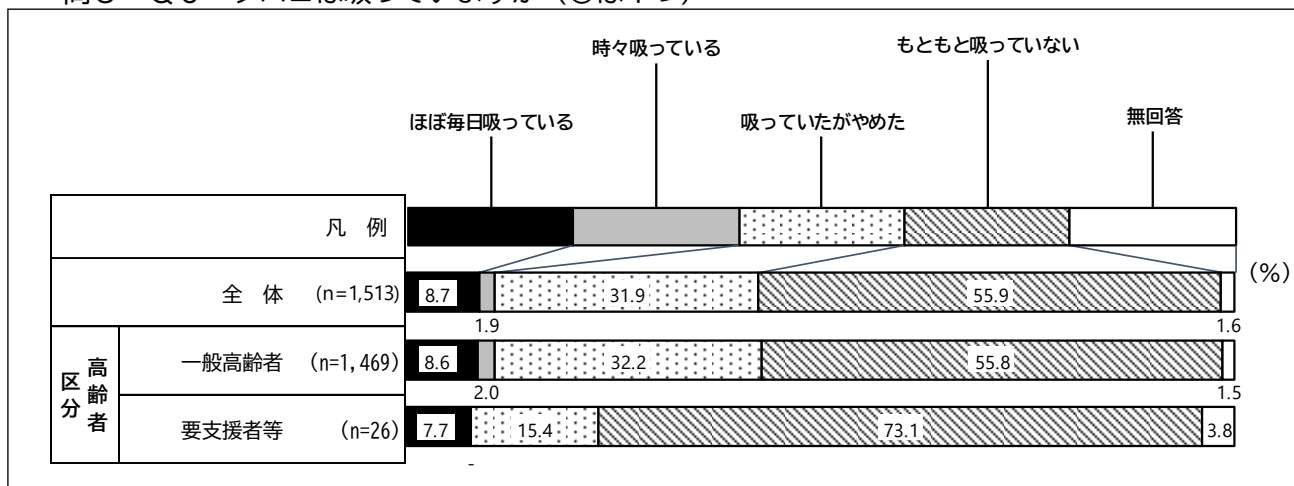


飲酒の状況について、全体では「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた『飲酒者』は41.9%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では『飲酒者』は42.0%となっています。

要支援者等では『飲酒者』は23.0%となっています。

問8-Q6 タバコは吸っていますか (○は1つ)



喫煙の状況について、全体では「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『喫煙者』は10.6%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では『喫煙者』は10.6%となっています。

要支援者等では『喫煙者』は7.7%となっています。

問8-Q7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（○はいくつでも）

		n	高血圧	目の病気	高脂血症（脂質異常）	糖尿病	心臓病	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	腎臓・前立腺の病気	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	がん（悪性新生物）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	耳の病気
全体		1,513	49.2	26.7	19.1	17.1	11.7	10.4	9.8	7.2	5.9	5.6	5.0
高齢者区分	一般高齢者	1,469	49.3	26.5	19.4	17.4	11.4	10.3	10.0	7.2	5.9	5.5	5.0
	要支援者等	26	50.0	42.3	7.7	7.7	26.9	23.1	7.7	3.8	7.7	11.5	11.5

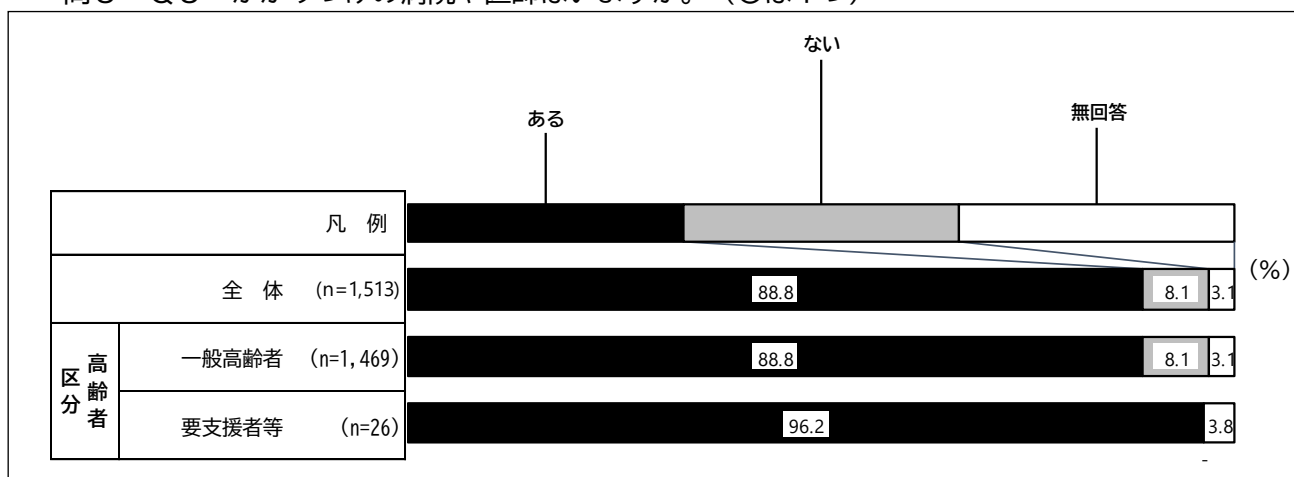
		n	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	外傷（転倒・骨折等）	うつ病	血液・免疫の病気	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	その他	ない	無回答
全体		1,513	3.6	3.4	1.4	1.0	0.7	0.3	9.5	10.7	4.2
高齢者区分	一般高齢者	1,469	3.7	3.1	1.4	1.0	0.7	0.3	9.5	10.7	4.2
	要支援者等	26	3.8	19.2	-	-	3.8	-	3.8	3.8	3.8

現在治療中、または後遺症のある病気について、全体では「高血圧」が49.2%と最も多く、次いで「目の病気」が26.7%、「高脂血症（脂質異常）」が19.1%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「高血圧」が49.3%と最も多く、次いで「目の病気」が26.5%、「高脂血症（脂質異常）」が19.4%となっています。

要支援者等では「高血圧」が50.0%と最も多く、次いで「目の病気」が42.3%、「心臓病」が26.9%となっています。

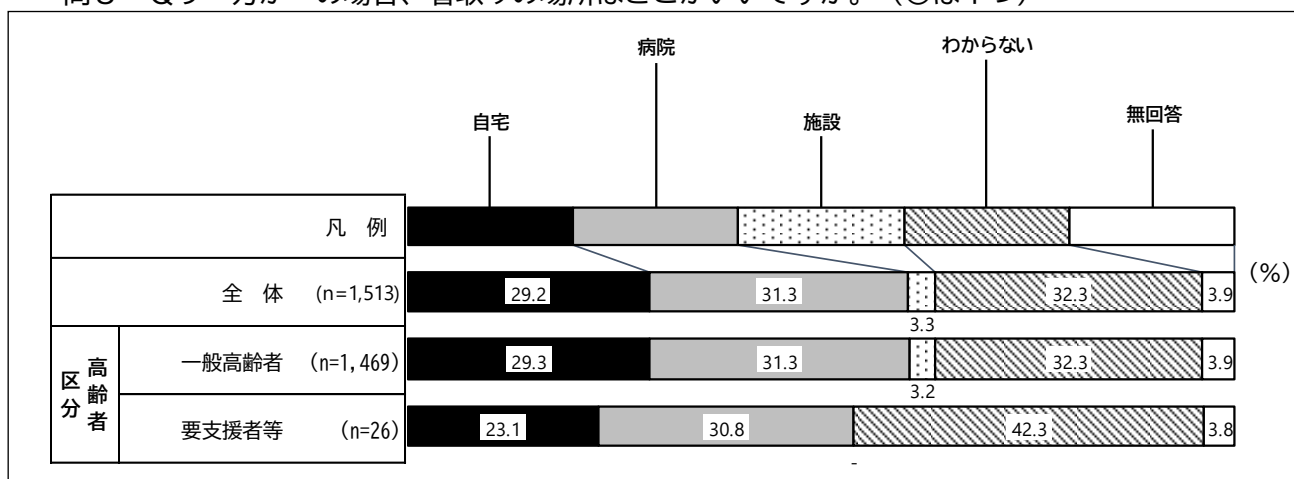
問8-Q8 かかりつけの病院や医師はいますか。(〇は1つ)



かかりつけの病院や医師の有無について、全体では「ある」が88.8%、「ない」が8.1%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「ある」が88.8%、「ない」が8.1%となっています。要支援者等では「ある」が96.2%となっています。

問8-Q9 万が一の場合、看取りの場所はどこがいいですか。(〇は1つ)



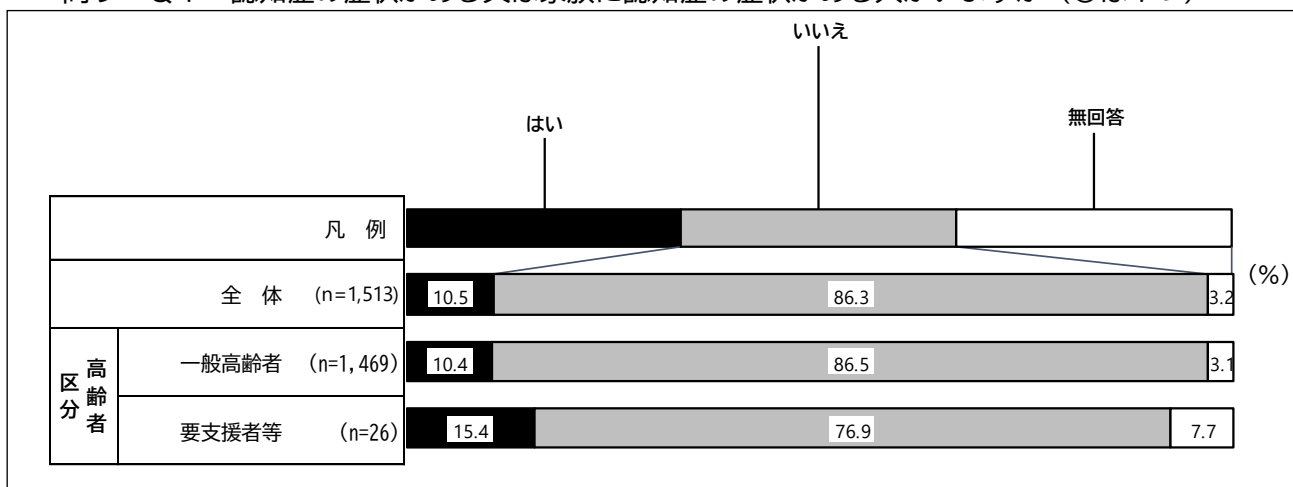
万が一の場合の看取りの場所について、全体では「わからない」が32.3%と最も多く、次いで「病院」が31.3%、「自宅」が29.2%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「わからない」が32.3%と最も多く、次いで「病院」が31.3%、「自宅」が29.3%となっています。

要支援者等では「わからない」が42.3%と最も多く、次いで「病院」が30.8%、「自宅」が23.1%となっています。

9 認知症について

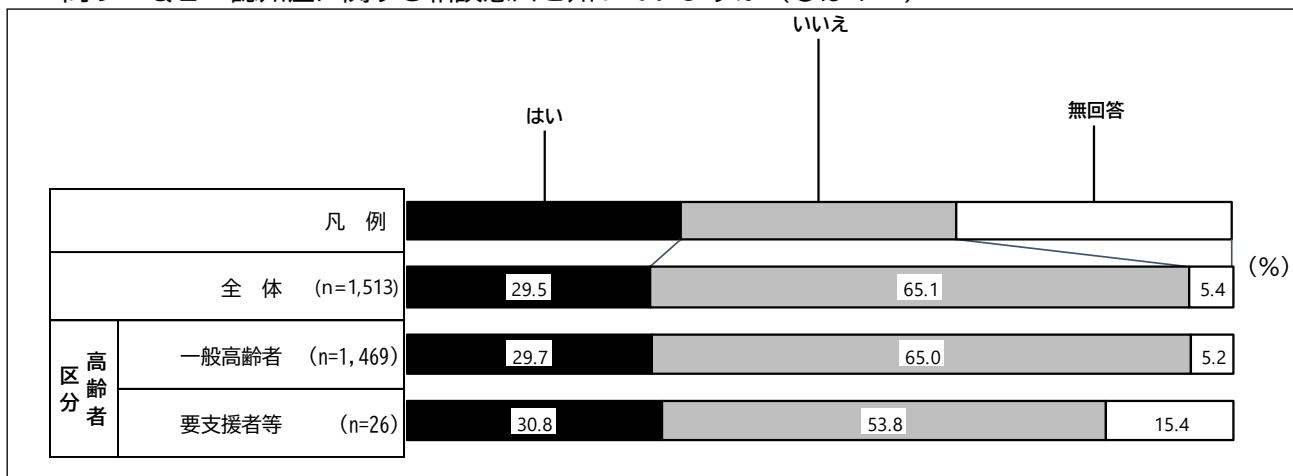
問9-Q1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○は1つ)



認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについて、全体では「いいえ」が86.3%、「はい」が10.5%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「いいえ」が86.5%、「はい」が10.4%となっています。要支援者等では「いいえ」が76.9%、「はい」が15.4%となっています。

問9-Q2 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)



認知症に関する相談窓口を知っているかについて、全体では「いいえ」が65.1%、「はい」が29.5%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「いいえ」が65.0%、「はい」が29.7%となっています。要支援者等では「いいえ」が53.8%、「はい」が30.8%となっています。

問9-Q3 あなたが認知症について知りたい項目は何ですか（〇はいくつでも）

		n	認知症の兆候を早期に発見する方法	認知症の予防に効果的な方法	認知症の診断や治療の受診先	認知症に関する相談先	認知症の治療に関する情報	認知症の症状に関する情報	認知症の人の介護の仕方	地域の活動	認知症の人や家族を支える	その他	特にない	無回答
全体		1,513	37.9	35.4	34.2	33.4	21.7	18.4	15.9	11.7	0.6	21.9	5.2	
区分 高齢者	一般高齢者	1,469	38.0	35.0	34.4	33.6	21.6	18.5	15.9	11.8	0.6	21.6	5.2	
	要支援者等	26	46.2	46.2	30.8	19.2	23.1	7.7	15.4	7.7	-	30.8	3.8	

認知症について知りたい項目について、全体では「認知症の兆候を早期に発見する方法」が37.9%と最も多く、次いで「認知症の予防に効果的な方法」が35.4%、「認知症の診断や治療の受診先」が34.2%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「認知症の兆候を早期に発見する方法」が38.0%と最も多く、次いで「認知症の予防に効果的な方法」が35.0%、「認知症の診断や治療の受診先」が34.4%となっています。

要支援者等では「認知症の兆候を早期に発見する方法」、「認知症の予防に効果的な方法」が46.2%と最も多く、次いで「認知症の診断や治療の受診先」が30.8%、「認知症の治療に関する情報」が23.1%となっています。

問9-Q4 あなたは、認知症に関する情報を何から入手していますか。(〇はいくつでも)

		n	テレビ、ラジオ、新聞等	友人・知人	市の啓発パンフレットや広報	インターネットやLINEなどのSNS	医療機関(医師、看護師)	認知症に関する書籍	地域包括支援センター	ケアマネジャー	市役所(高齢福祉課)	民生委員・児童委員	その他
全体		1,513	72.9	21.2	18.5	12.6	11.4	10.7	7.5	3.7	2.8	1.5	2.2
高齢者区分	一般高齢者	1,469	73.1	21.3	18.5	12.6	11.4	10.9	7.5	3.5	2.7	1.5	2.3
	要支援者等	26	69.2	15.4	23.1	3.8	15.4	7.7	11.5	15.4	7.7	-	-
		n	特にない	無回答									
全体		1,513	12.2	3.4									
高齢者区分	一般高齢者	1,469	12.1	3.4									
	要支援者等	26	11.5	3.8									

認知症に関する情報を何から入手しているかについて、全体では「テレビ、ラジオ、新聞等」が72.9%と最も多く、次いで「友人・知人」が21.2%、「市の啓発パンフレットや広報」が18.5%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「テレビ、ラジオ、新聞等」が73.1%と最も多く、次いで「友人・知人」が21.3%、「市の啓発パンフレットや広報」が18.5%となっています。

要支援者等では「テレビ、ラジオ、新聞等」が69.2%と最も多く、次いで「市の啓発パンフレットや広報」が23.1%、「友人・知人」、「医療機関(医師、看護師)」、「ケアマネジャー」が15.4%となっています。

問9-Q5 あなたは、あなた自身やご家族が認知症について心配になった時、どこに相談しますか
(〇はいくつでも)

		(%)											
		n	かかりつけ医	市役所(高齢福祉課)	地域包括支援センター	知人・友人	認知症疾患医療センター	ケアマネジャー	民生委員・児童委員	家族の集い(オレンジリングメイト)	認知症カフェ	その他	無回答
全体		1,513	50.6	39.2	37.1	16.3	11.0	10.8	4.8	0.9	0.5	3.7	5.2
区分 高齢者	一般高齢者	1,469	50.9	39.4	36.9	16.3	10.8	10.6	4.9	0.9	0.5	3.5	5.3
	要支援者等	26	38.5	19.2	57.7	15.4	19.2	30.8	3.8	-	-	11.5	-

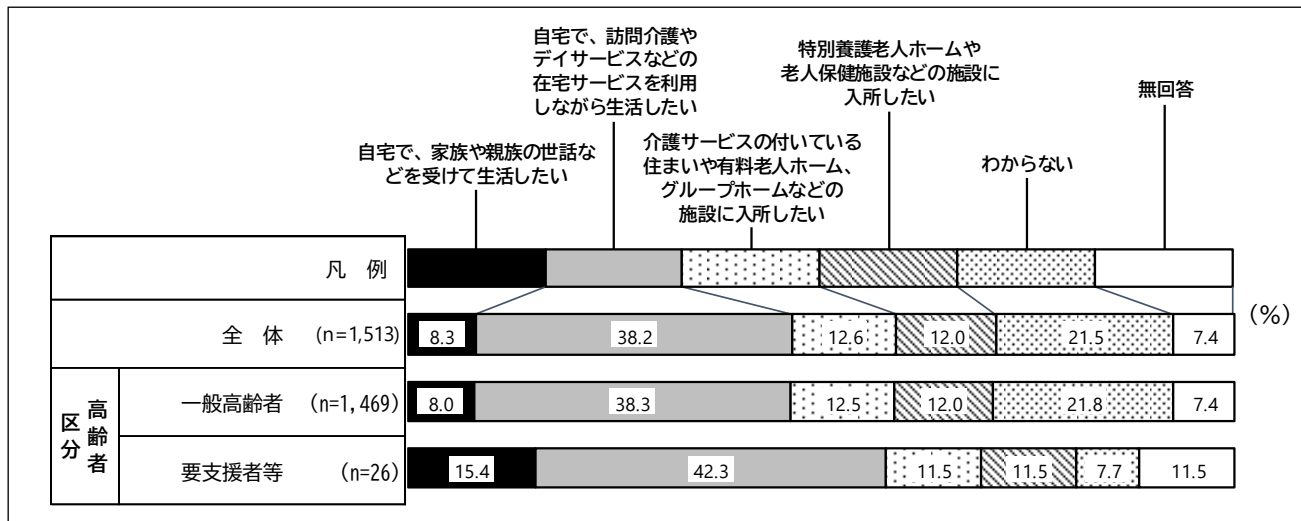
自身や家族が認知症について心配になった時、どこに相談にするかについて、全体では「かかりつけ医」が50.6%と最も多く、次いで「市役所(高齢福祉課)」が39.2%、「地域包括支援センター」が37.1%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「かかりつけ医」が50.9%と最も多く、次いで「市役所(高齢福祉課)」が39.4%、「地域包括支援センター」が36.9%となっています。

要支援者等では「地域包括支援センター」が57.7%と最も多く、次いで「かかりつけ医」が38.5%、「ケアマネジャー」が30.8%となっています。

10 塩竈市の介護事業について

問 10-Q1 あなたご自身が、今後、介護が必要になった場合(要支援から要介護になった場合も含む)、どのようにしたいとお考えですか (〇は1つ)

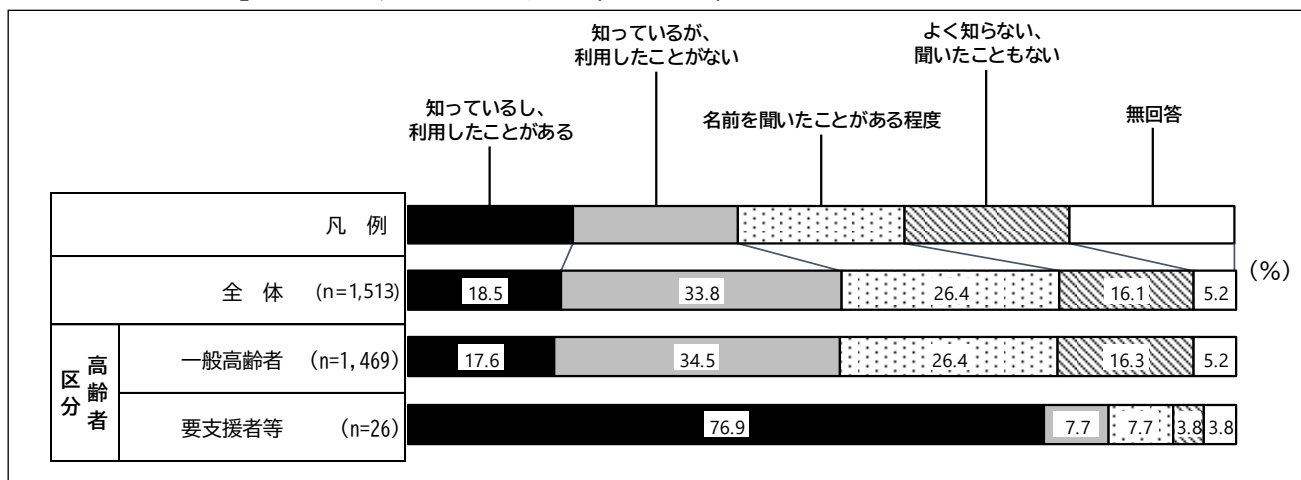


今後介護が必要となった場合どうしたいかについて、全体では「自宅で、訪問介護やデイサービスなどの在宅サービスを利用しながら生活したい」が38.2%と最も多く、次いで「わからない」が21.5%、「介護サービスの付いている住まいや有料老人ホーム、グループホームなどの施設に入所したい」が12.6%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「自宅で、訪問介護やデイサービスなどの在宅サービスを利用しながら生活したい」が38.3%と最も多く、次いで「わからない」が21.8%、「介護サービスの付いている住まいや有料老人ホーム、グループホームなどの施設に入所したい」が12.5%となっています。

要支援者等では「自宅で、訪問介護やデイサービスなどの在宅サービスを利用しながら生活したい」が42.3%と最も多く、次いで「自宅で、家族や親族の世話などをを受けて生活したい」が15.4%、「介護サービスの付いている住まいや有料老人ホーム、グループホームなどの施設に入所したい」、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい」が11.5%となっています。

問10-Q2 塩竈市には、高齢者の生活に関する総合相談や介護予防の支援を行う拠点として「地域包括支援センター」が5か所設置されています。あなたは、「地域包括支援センター」について知っていますか（〇は1つ）



「地域包括支援センター」の認知度について、全体では「知っているが、利用したことがない」が33.8%と最も多く、次いで「名前を聞いたことがある程度」が26.4%、「知っているし、利用したことがある」が18.5%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「知っているが、利用したことがない」が34.5%と最も多く、次いで「名前を聞いたことがある程度」が26.4%、「知っているし、利用したことがある」が17.6%となっています。

要支援者等では「知っているし、利用したことがある」が76.9%と最も多く、次いで「知っているが、利用したことがない」、「名前を聞いたことがある程度」が7.7%、「よく知らない、聞いたこともない」が3.8%となっています。

問 10-Q3 塩竈市の行っている次のサービスの中で、あなた（あて名のご本人）が、今後サービスを必要とする場合、利用したいと思うものをお答えください（〇はいくつでも）

		n	週1～2回の配食サービスの助成	救急搬送時、迅速な対応ができるよう にする救急医療情報キット配布	見守りサービスの設置費や月額料金の 助成	在宅で介護する家族への紙おむつな どの給付サービス	養護老人ホームなどへの短期宿泊	リフト付タクシーチケットの給付 サービス	災害時における避難支援を迅速かつ 円滑に受けるための避難行動要支援 者台帳登録	発見するSOSネットワークサービ ス	認知症の高齢者が行方不明時、早 期に身元を判明させるQRコード シール	地域の集会所などを会場とした通 いの場（サークルや教室など）	グループでの外出支援を行ういき いきグループの運行	無回答
全 体		1,513	42.9	36.4	30.8	27.8	27.7	24.6	23.4	19.7	15.5	14.2	13.0	16.1
高 齢 者 区 分	一般高齢者	1,469	43.0	36.4	30.8	27.8	28.0	24.6	23.3	19.9	15.7	14.2	13.0	16.1
	要支援者等	26	34.6	34.6	34.6	23.1	11.5	15.4	23.1	11.5	3.8	15.4	7.7	26.9

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

今後利用したいと思うサービスについて、全体では「週1～2回の配食サービスの助成」が42.9%と最も多く、次いで「救急搬送時、迅速な対応ができるようにする救急医療情報キット配布」が36.4%、「見守りサービスの設置費や月額料金の助成」が30.8%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「週1～2回の配食サービスの助成」が43.0%と最も多く、次いで「救急搬送時、迅速な対応ができるようにする救急医療情報キット配布」が36.4%、「見守りサービスの設置費や月額料金の助成」が30.8%となっています。

要支援者等では「週1～2回の配食サービスの助成」、「救急搬送時、迅速な対応ができるようにする救急医療情報キット配布」、「見守りサービスの設置費や月額料金の助成」が34.6%と最も多く、次いで「在宅で介護する家族への紙おむつなどの給付サービス」、「災害時における避難支援を迅速かつ円滑に受けるための避難行動要支援者台帳登録」が23.1%、「リフト付タクシーチケットの給付サービス」、「地域の集会所などを会場とした通いの場（サークルや教室など）」が15.4%となっています。

問10-Q4 市では、独自に次の事業を行っております。特に継続した方がよいと思う事業はどれですか。（〇は3つまで）

		n	在宅で介護する家族への紙おむつなどの給付サービス	リフト付タクシーチケットの給付サービス	週1～2回の配食サービスの助成	見守りサービスの契約にかかる設置費や月額料金の助成	1年以上、介護保険サービスを利用しないで、常に在宅介護をする方を対象に支給する家族介護慰労金支給事業	長寿祝金や敬老金の支給	見守りシステムを設置した、自立生活可能な高齢者用の専用住宅であるシルバークラウド住宅	特になし	無回答
全体		1,513	42.5	34.0	31.2	29.8	21.8	18.4	15.3	10.2	11.4
高齢者区分	一般高齢者	1,469	42.8	34.1	31.3	29.7	21.8	18.2	15.3	10.1	11.5
	要支援者等	26	30.8	30.8	15.4	34.6	26.9	30.8	7.7	7.7	11.5

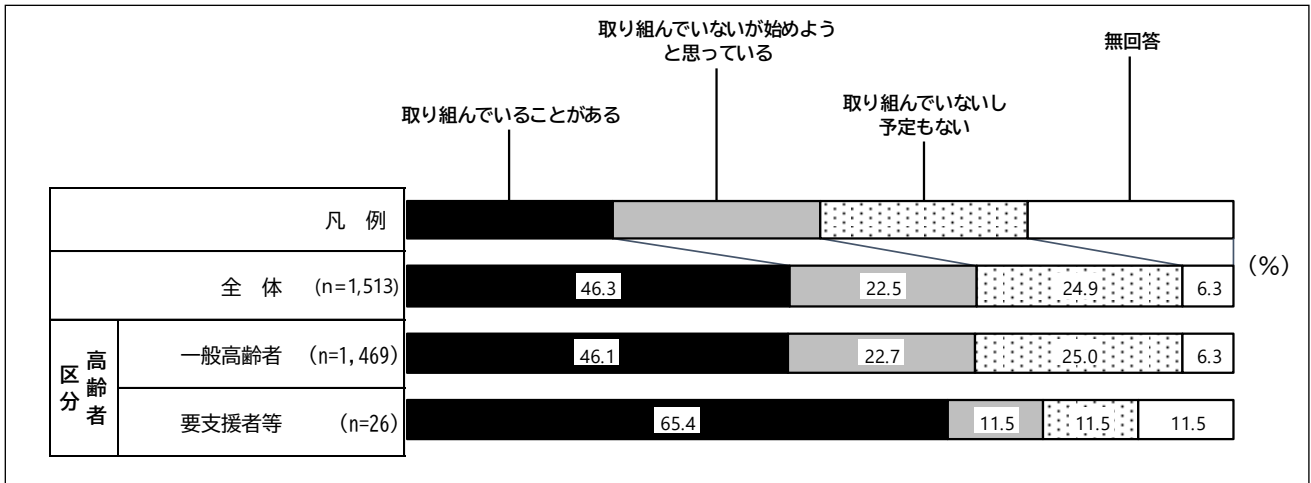
特に継続した方がよいと思う市の事業について、全体では「在宅で介護する家族への紙おむつなどの給付サービス」が42.5%と最も多く、次いで「リフト付タクシーチケットの給付サービス」が34.0%、「週1～2回の配食サービスの助成」が31.2%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「在宅で介護する家族への紙おむつなどの給付サービス」が42.8%と最も多く、次いで「リフト付タクシーチケットの給付サービス」が34.1%、「週1～2回の配食サービスの助成」が31.3%となっています。

要支援者等では「見守りサービスの契約にかかる設置費や月額料金の助成」が34.6%と最も多く、次いで「在宅で介護する家族への紙おむつなどの給付サービス」、「リフト付タクシーチケットの給付サービス」、「長寿祝金や敬老金の支給」が30.8%、「1年以上、介護保険サービスを利用しないで、常に在宅介護をする方を対象に支給する家族介護慰労金支給事業」が26.9%となっています。

11 介護予防について

問 11-Q1 あなたは、普段から介護予防のためにご自身の健康維持・増進を意識し取り組んでいることがありますか。(〇は1つ)



介護予防のために普段から意識して取り組んでいるかについて、全体では「取り組んでいることがある」が46.3%と最も多く、次いで「取り組んでいないし予定もない」が24.9%、「取り組んでいないが始めようと思っている」が22.5%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「取り組んでいることがある」が46.1%、次いで「取り組んでいないし予定もない」が25.0%、「取り組んでいないが始めようと思っている」が22.7%となっています。

要支援者等では「取り組んでいることがある」が65.4%、次いで「取り組んでいないが始めようと思っている」、「取り組んでいないし予定もない」が11.5%となっています。

問11-Q2 問11-Q1で「1. 取組んでいることがある」と回答した方に伺います
 取り組むこととなった主なきっかけはなんですか。（〇はいくつでも）

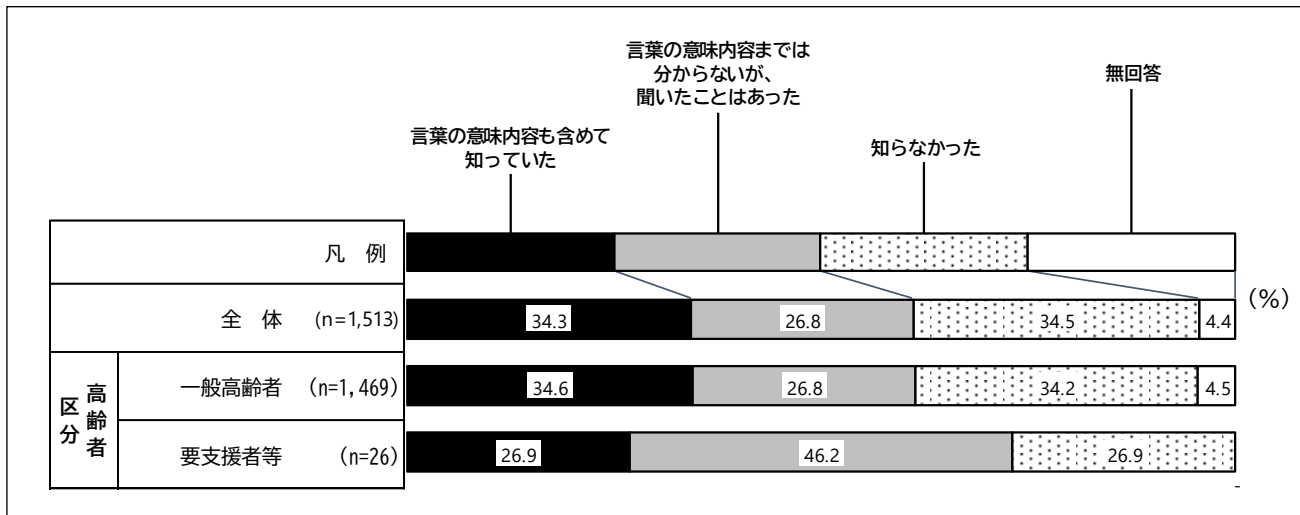
		n	に以前からの習慣で、自発的に	新聞やテレビ、インターネットなどの情報から	医師等の専門家からの指導や助言	家族のアドバイスや一言	友人・知人からのアドバイス	検査の結果が気になって	市の広報紙や回覧板等の情報から	具体的に症状が現れたので	隣近所の人からのアドバイス	その他	無回答
全体		701	43.8	40.4	34.0	25.2	21.1	20.5	16.1	8.7	4.9	3.0	0.1
高齢者区分	一般高齢者	677	44.2	40.9	33.7	25.0	21.4	21.1	16.5	8.7	4.9	3.1	0.1
	要支援者等	17	29.4	11.8	52.9	35.3	17.6	5.9	5.9	5.9	5.9	-	-

介護予防に取り組むきっかけについて、全体では「以前からの習慣で、自発的に」が43.8%と最も多く、次いで「新聞やテレビ、インターネットなどの情報から」が40.4%、「医師等の専門家からの指導や助言」が34.0%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「以前からの習慣で、自発的に」が44.2%と最も多く、次いで「新聞やテレビ、インターネットなどの情報から」が40.9%、「医師等の専門家からの指導や助言」が33.7%となっています。

要支援者等では「医師等の専門家からの指導や助言」が52.9%と最も多く、次いで「家族のアドバイスや一言」が35.3%、「以前からの習慣で、自発的に」が29.4%となっています。

問 11-Q3 あなたは、フレイルという言葉を知っていましたか（○は1つ）



フレイルという言葉の認知度について、全体では「知らなかった」が34.5%と最も多く、次いで「言葉の意味内容も含めて知っていた」が34.3%、「言葉の意味内容までは分からないが、聞いたことはあった」が26.8%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「言葉の意味内容も含めて知っていた」が34.6%と最も多く、次いで「知らなかった」が34.2%、「言葉の意味内容までは分からないが、聞いたことはあった」が26.8%となっています。

要支援者等では「言葉の意味内容までは分からないが、聞いたことはあった」が46.2%と最も多く、次いで「言葉の意味内容も含めて知っていた」、「知らなかった」が26.9%となっています。

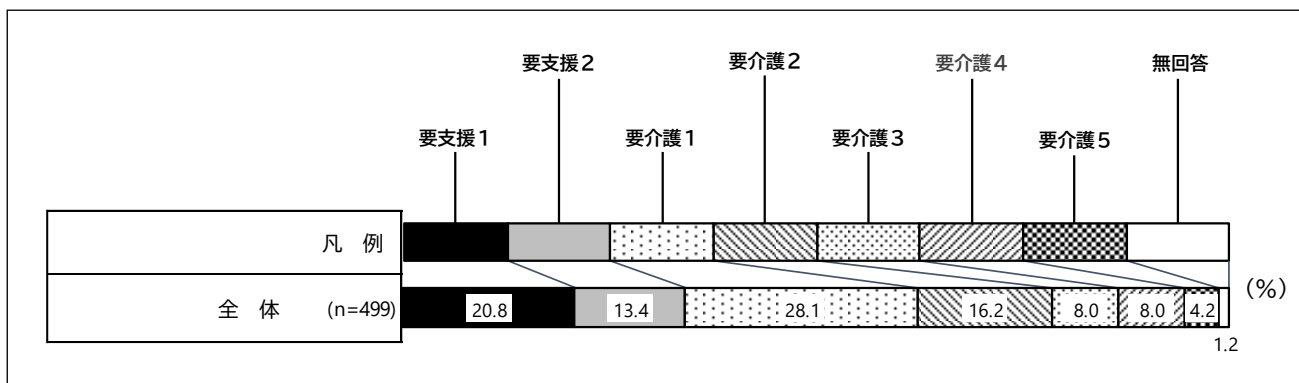
第3章

在宅介護実態調査結果

第3章 在宅介護実態調査結果

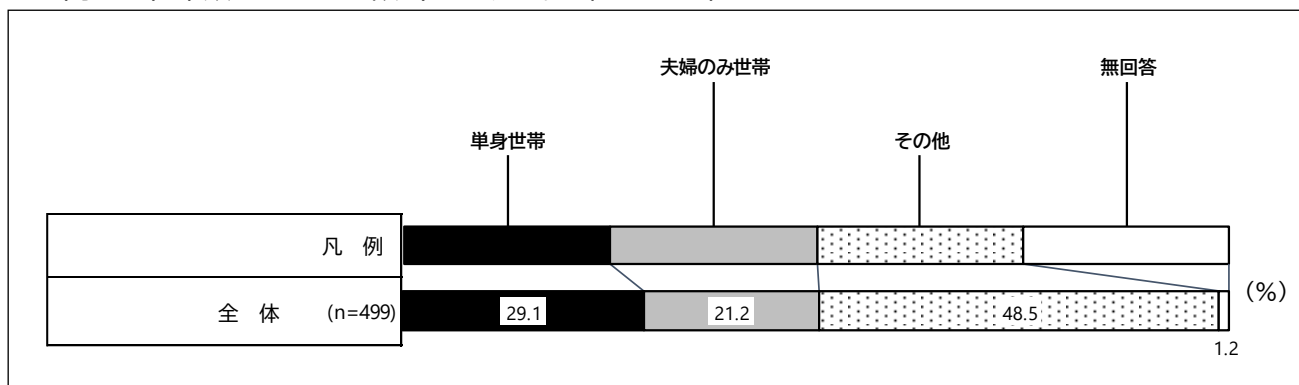
1 ご本人（要介護者）の状況について

要介護者の介護度



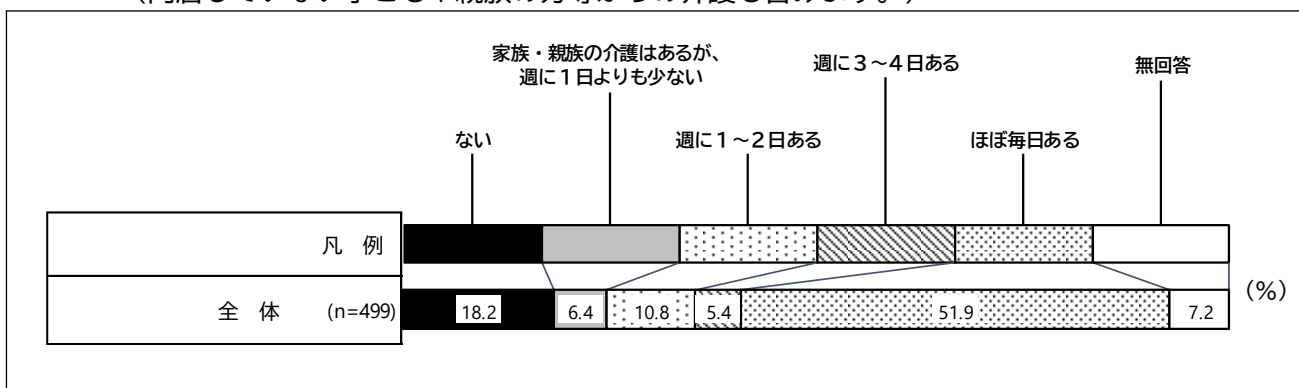
要介護者の介護度について、「要介護1」が28.1%と最も多く、次いで「要支援1」が20.8%、「要介護2」が16.2%となっています。

問1 世帯類型はどれに該当しますか。（○は1つ）



世帯類型について、「単身世帯」が29.1%と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が21.2%となっています。

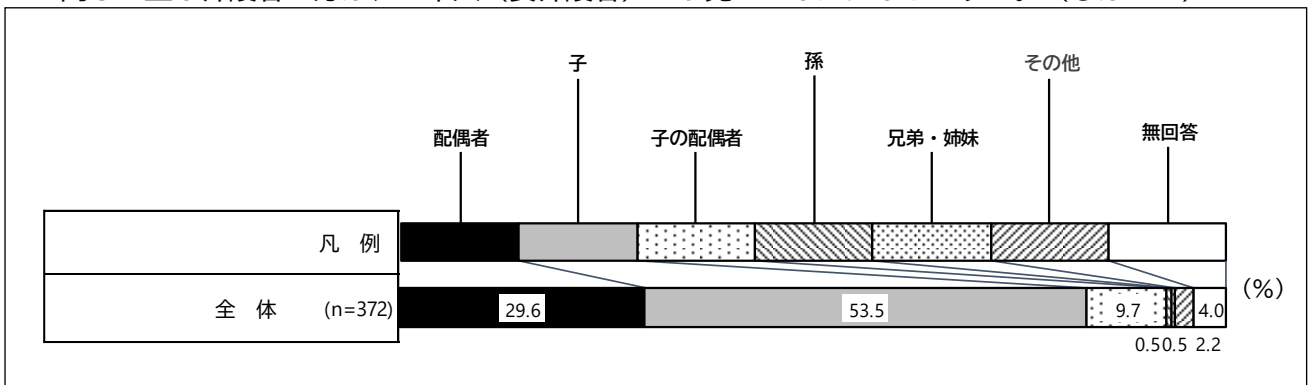
問2 家族や親族の方から介護してもらう日は、週にどのくらいありますか。（○は1つ） （同居していない子どもや親族の方等からの介護も含まれます。）



家族や親族から介護してもらう頻度について、「ほぼ毎日ある」が51.9%と最も多く、次いで「ない」が18.2%、「週に1~2日ある」が10.8%となっています。

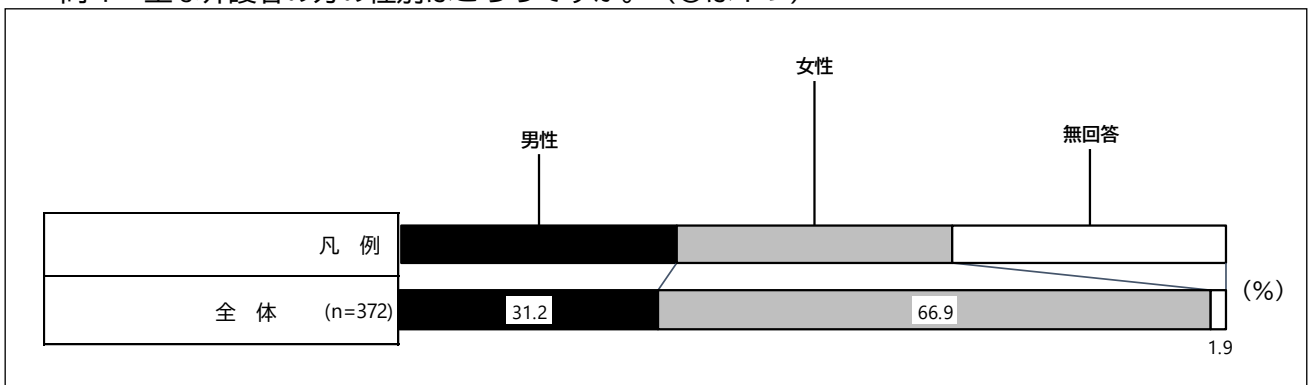
2 主な介護者等の状況（属性等）について

問3 主な介護者の方は、ご本人（要介護者）から見てどなたになりますか。（〇は1つ）



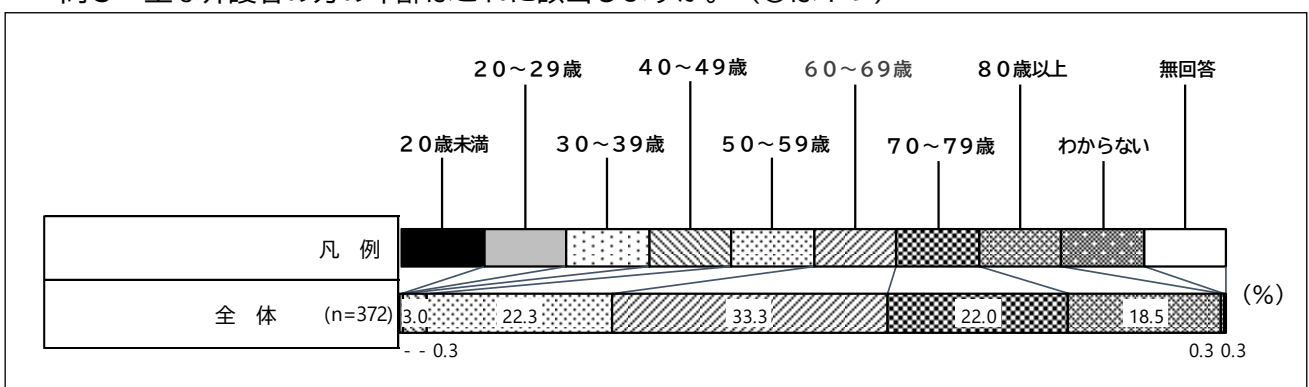
要介護者からみた主な介護者について、「子」が53.5%と最も多く、次いで「配偶者」が29.6%、「子の配偶者」が9.7%となっています。

問4 主な介護者の方の性別はどちらですか。（〇は1つ）



主な介護者の方の性別について、「女性」が66.9%、「男性」が31.2%となっています。

問5 主な介護者の方の年齢はどれに該当しますか。（〇は1つ）



主な介護者の方の年齢について、「60~69歳」が33.3%と最も多く、次いで「50~59歳」が22.3%、「70~79歳」が22.0%となっています。

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等はどれですか。(〇はいくつでも)

		(%)										
	n	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	外出の付き添い、送迎等	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	食事の準備（調理等）	服薬	衣服の着脱	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	認知症状への対応	屋内での移乗・移動	入浴・洗身	食事の介助（食べる時）
全体	372	85.2	77.2	75.8	72.3	47.6	38.7	32.3	30.6	30.4	26.9	23.9
	n	日中の排泄	夜間の排泄	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	その他	わからない	無回答					
全体	372	23.7	22.0	15.6	5.9	-	1.1					

主な介護者の方が行っている介護等について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が85.2%と最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が77.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が75.8%となっています。

問7 ご家族や親族の方で、ご本人（要介護者）の介護のために、過去1年の間に仕事を辞めた方・転職された方はありますか。(〇はいくつでも) (現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。)

		(%)						
	n	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職・除く）	主な介護者以外の家族・親族が転職した	わからない	無回答
全体	372	63.7	7.8	3.2	0.8	-	3.2	22.0

介護を理由に家族・親族が離職した方（介護離職者）について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が63.7%と最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が7.8%、「主な介護者が転職した」が3.2%となっています。

3 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて

問8 現在、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、何を利用していますか。

(〇はいくつでも)

	n	移送サービス (介護・福祉 タクシー等)	掃除・洗濯	外出同行(通院、 買い物など)	配食	ゴミ出し	買い物(宅配は 含まない)	調理	見守り、声かけ	サロンなどの 定期的な通い の場	その他	利用していない	無回答
全体	499	12.4	9.0	7.8	6.8	6.2	5.4	3.6	3.0	2.6	7.4	54.7	10.4

介護保険サービス以外の支援・サービスについて、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が12.4%と最も多く、次いで「掃除・洗濯」が9.0%、「外出同行(通院、買い物など)」が7.8%となっています。

問9 在宅生活を今後も続けていくためには、どの支援・サービス(現在利用中を含む)が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

	n	移送サービス (介護・福祉 タクシー等)	外出同行(通院、 買い物など)	掃除・洗濯	買い物(宅配は 含まない)	ゴミ出し	見守り、声かけ	配食	調理	定期的な通いの場 (サークルや 教室など)	その他	特にな い	無回答
全体	499	39.5	35.1	24.8	22.0	21.4	21.4	19.4	17.2	13.2	28.1	18.2	7.0

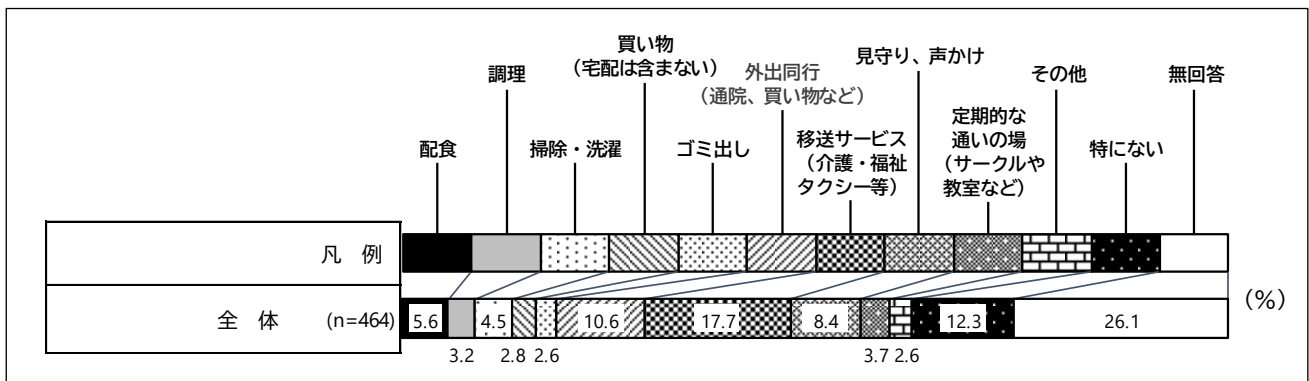
在宅生活を続けていくために必要な支援・サービスについて、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が39.5%と最も多く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が35.1%、「掃除・洗濯」が24.8%となっています。

問9-1 問9で「10. その他」と回答した方に伺います。
 どのようなサービスですか。(〇は3つまで)

		(%)										
	n	行政や民間サービスの手続き代行	庭の手入れ	訪問理美容	除雪	薬の管理	金銭管理	機器等の修理	布団干し	ゴミの分別	生活の相談	電球交換
全体	140	29.3	28.6	26.4	25.0	17.9	12.9	11.4	11.4	10.0	9.3	7.9
	n	花や木の水やり	ペットの散歩	その他	無回答							
全体	140	6.4	-	11.4	1.4							

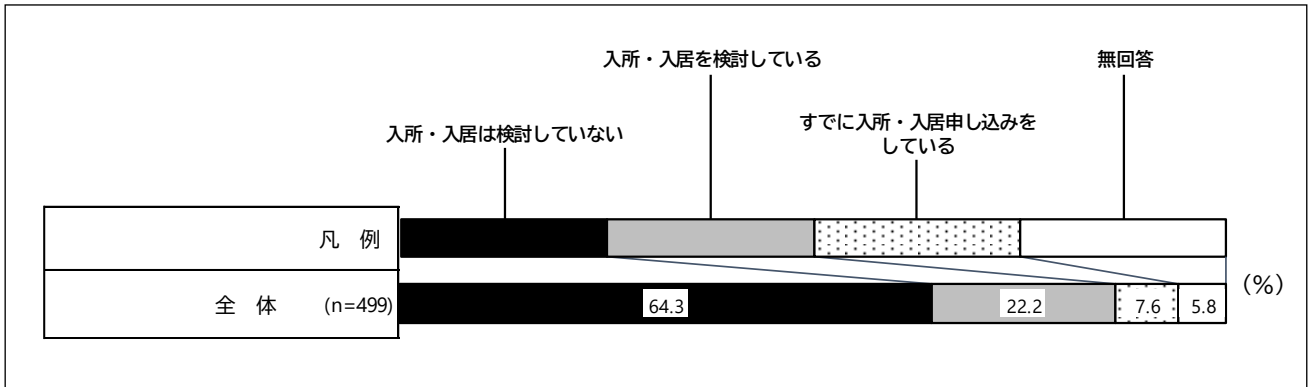
在宅生活を続けていくために必要な支援・サービスの「その他」の内訳について、「行政や民間サービスの手続き代行」が29.3%と最も多く、次いで「庭の手入れ」が28.6%、「訪問理美容」が26.4%となっています。

問9-2 問9で回答いただいた支援・サービスのうち、最も必要だと思うものを1つだけ教えてください。(〇は1つ)



在宅生活を続けていくために最も必要な支援・サービスについて、「移送サービス (介護・福祉タクシー等)」が17.7%と最も多く、次いで「外出同行 (通院、買い物など)」が10.6%、「見守り、声かけ」が8.4%となっています。

問 10 現時点において、施設等への入所・入居を検討されていますか。(○は1つ)



施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が64.3%と最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が22.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が7.6%となっています。

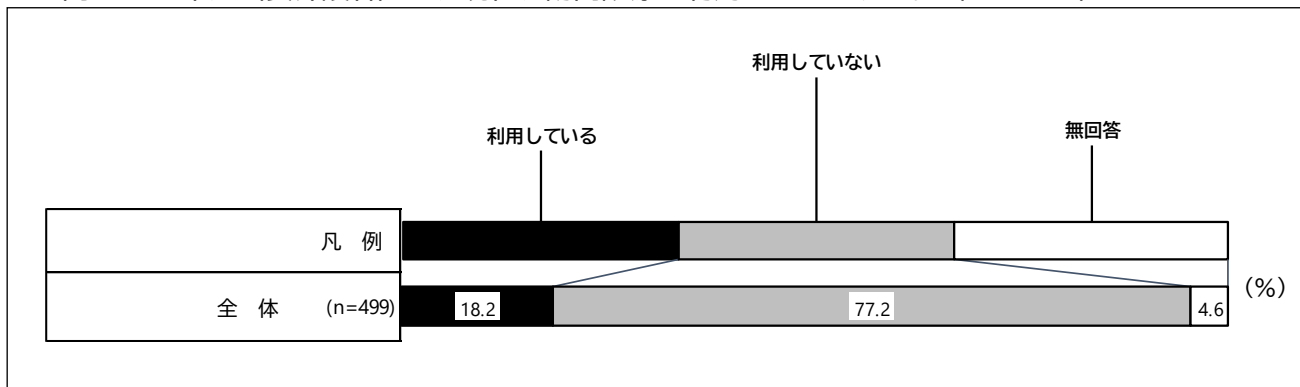
問 11 ご本人(要介護者)が、現在抱えている傷病名を教えてください。(○はいくつでも)

	n	認知症	眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)	筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	糖尿病	心疾患(心臓病)	脳血管疾患(脳卒中)	変形性関節疾患	呼吸器疾患	悪性新生物(がん)	腎疾患(透析)	パーキンソン病
全体	499	31.3	24.0	23.6	21.0	19.6	16.0	12.4	8.6	6.2	3.6	3.4

	n	膠原病(関節リウマチ含む)	難病(パーキンソン病を除く)	その他	なし	わからない	無回答
全体	499	2.8	1.4	22.0	3.0	1.6	3.4

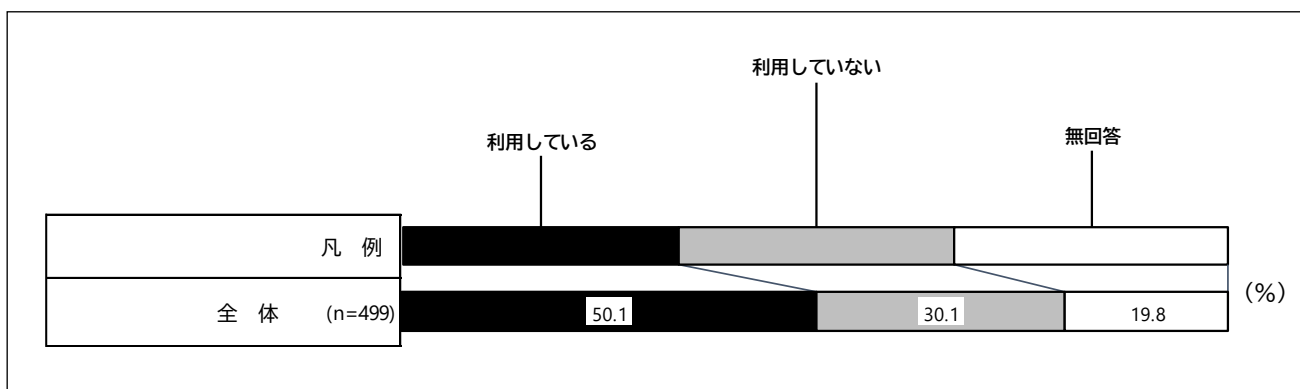
要介護者が現在抱えている傷病について、「認知症」が31.3%と最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」が24.0%、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が23.6%となっています。

問12 ご本人（要介護者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（○は1つ）



訪問診療の利用状況について、「利用していない」が77.2%、「利用している」が18.2%となっています。

問13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（○は1つ）



住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況について、「利用している」が50.1%、「利用していない」が30.1%となっています。

問13-1 介護保険サービスを「利用していない」方にお伺いします。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

	n	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	家族が介護をするため必要ない	本人（要介護者）にサービス利用の希望がない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	利用料を支払うのが難しい	サービスを受けたいが手続きが分からない	利用したいサービスがない	以前、利用していたサービスに不満があった	その他	無回答
全体	150	44.0	33.3	21.3	10.0	8.0	5.3	2.7	1.3	8.7	11.3

介護保険サービスを利用していない理由について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が44.0%と最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が33.3%、「本人（要介護者）にサービス利用の希望がない」が21.3%となっています。

問 14 市では、次のサービスを行っています。ご本人（要介護者）が、利用したいと思うサービスをお答えください。（〇はいくつでも）

	n	救急搬送時、救急隊員がいち早く情報を確認し、迅速な対応ができるようにする救急医療情報キット配布	養護老人ホームなどへの短期宿泊	在宅で介護する家族への紙おむつなどの給付サービス	災害時における避難支援を迅速かつ円滑に受けるための避難行動要支援者台帳登録	週1～2回の配食サービスの助成	リフト付タクシーチケットの給付サービス	見守りサービスの設置費や月額料金の助成	認知症の高齢者が行方不明時、早期発見するSOSネットワークサービス	認知症の高齢者が保護された際、早期に身元を判明させるQRコードシール	認知症の高齢者が保護された際、早期に身元を判明させるQRコード	グループでの外出支援を行ういきいきグループの運行	地域の集会所などを会場とした通いの場	無回答
全体	499	24.6	18.6	17.6	16.8	14.2	13.0	8.8	6.0	4.4	4.0	3.8	44.9	

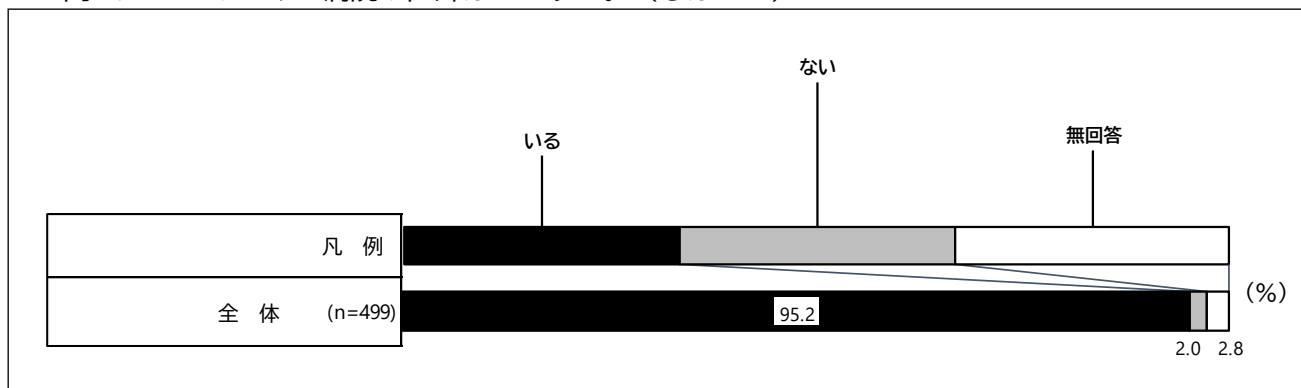
今後利用したいと思うサービスについて、「救急搬送時、救急隊員がいち早く情報を確認し、迅速な対応ができるようにする救急医療情報キット配布」が24.6%と最も多く、次いで「養護老人ホームなどへの短期宿泊」が18.6%、「在宅で介護する家族への紙おむつなどの給付サービス」が17.6%となっています。

問 15 市では、独自に次の事業を行っております。特に継続した方がよいと思う事業はどれですか。（〇は3つまで）

	n	在宅で介護する家族への紙おむつなどの給付サービス	長寿祝金や敬老金の支給	リフト付タクシーチケットの給付サービス	週1～2回の配食サービスの助成	見守りサービスの契約にかかる設置費や月額料金の助成	1年以上、介護保険サービスを利用しない方で、常に在宅介護をする方を対象に支給する家族介護慰労金支給事業	見守りシステムを設置した、自立生活可能な高齢者の専用住宅であるシルバーハウジング住宅	特になし	無回答
全体	499	39.5	30.5	28.1	20.6	15.2	14.0	10.0	12.6	14.2

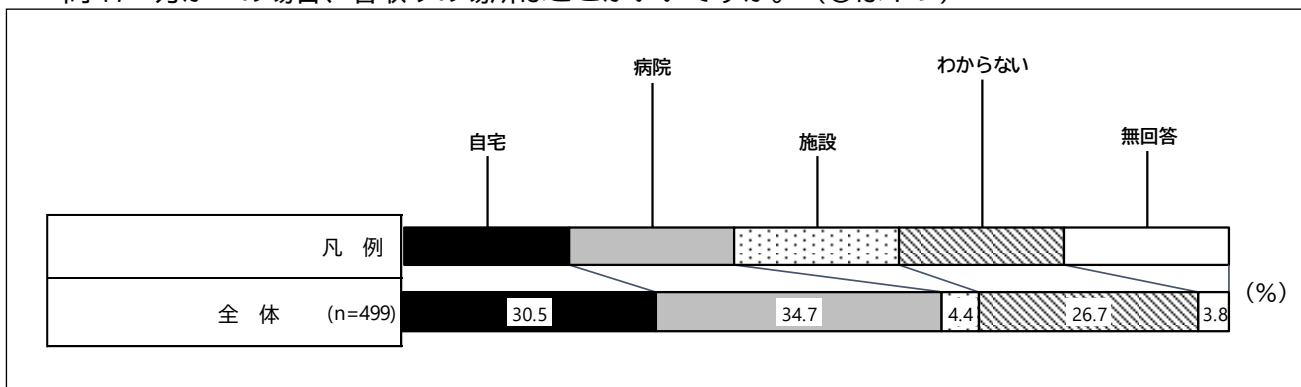
特に継続した方がよいと思う市の事業について、「在宅で介護する家族への紙おむつなどの給付サービス」が39.5%と最も多く、次いで「長寿祝金や敬老金の支給」が30.5%、「リフト付タクシーチケットの給付サービス」が28.1%となっています。

問16 かかりつけの病院や医師はいますか。(〇は1つ)



かかりつけの病院や医師の有無について、「いる」が95.2%、「ない」が2.0%となっています。

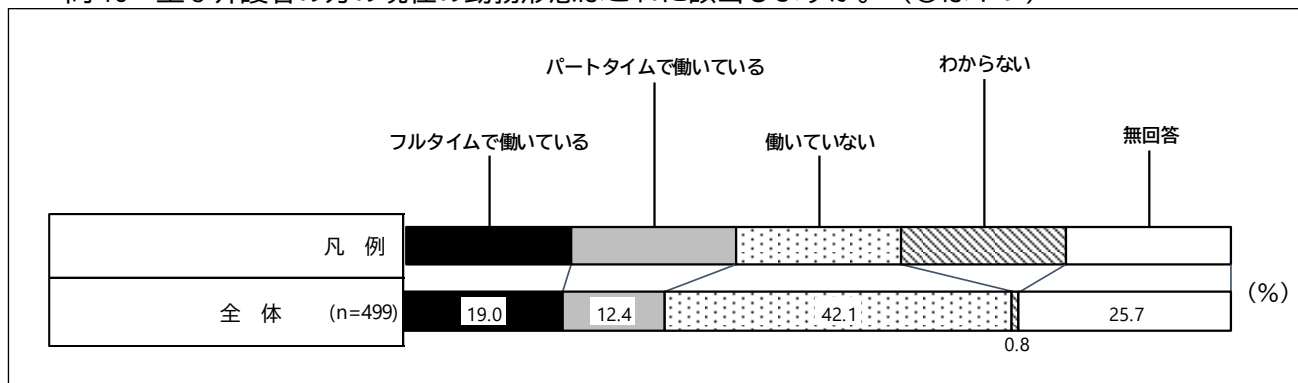
問17 万が一の場合、看取りの場所はどこがいいですか。(〇は1つ)



万が一の場合の看取りの場所について、「病院」が34.7%と最も多く、次いで「自宅」が30.5%、「わからない」が26.7%となっています。

4 主な介護者の就労状況について

問 18 主な介護者の方の現在の勤務形態はどれに該当しますか。(○は1つ)



主な介護者の方の現在の就労状況について、「働いていない」が42.1%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が19.0%、「パートタイムで働いている」が12.4%となっています。

問 18-1 問 18 で「1. フルタイムで働いている」または「2. パートタイムで働いている」(フルタイムまたはパートタイムで働いている)と回答した方にお伺いします。
 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(○はいくつでも)

	n	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
調整していない								
特に調整していない								
わからない								
無回答								
介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている	157	33.1						
介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている			28.7					
介護のために、2~4以外の調整をしながら、働いている				14.6				
介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている					6.4			
特に調整していない						30.6		
わからない							1.3	
無回答								5.7
全体	157	33.1	28.7	14.6	6.4	30.6	1.3	5.7

介護による働き方の調整について、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が33.1%と最も多く、次いで「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が28.7%、「介護のために、2~4以外の調整をしながら、働いている」が14.6%となっています。

問 18-2 問 18 で「1. フルタイムで働いている」または「2. パートタイムで働いている」（フルタイムまたはパートタイムで働いている）と回答した方にお伺いします。

仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援はどれですか。

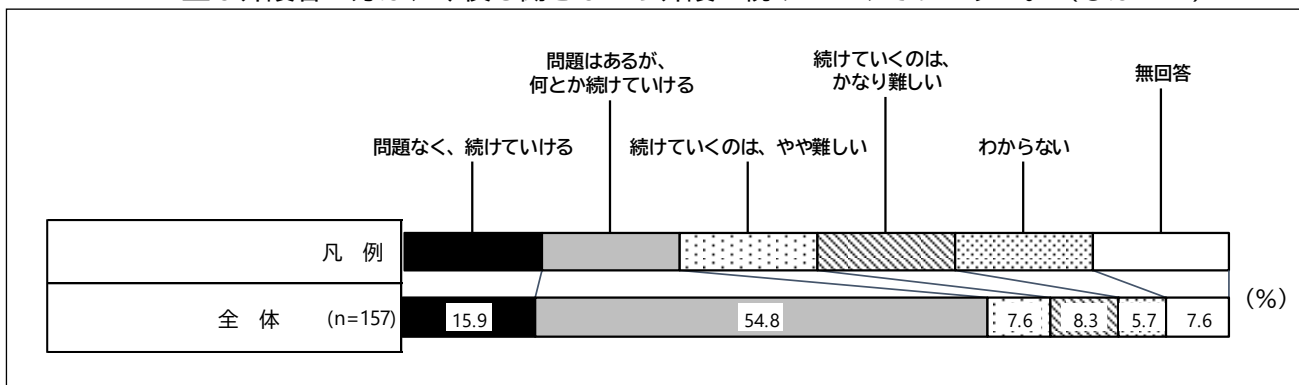
（○は3つまで）

	n	介護休業・介護休暇等の制度の充実	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	制度を利用しやすい職場づくり	介護をしながらの経済的な支援	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	その他	特になし	わからない	無回答
全体	157	27.4	25.5	21.0	17.2	12.1	10.8	8.3	7.6	5.7	16.6	4.5	9.6

仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援について、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が27.4%と最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が25.5%、「制度を利用しやすい職場づくり」が21.0%となっています。

問 18-3 問 18 で「1. フルタイムで働いている」または「2. パートタイムで働いている」（フルタイムまたはパートタイムで働いている）と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（○は1つ）



今後の介護と仕事の両立について、「問題はあるが、何とか続けていける」が54.8%と最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が15.9%、「続けていくのは、かなり難しい」が8.3%となっています。

5 介護生活を続ける際の不安や困りごと

問 19 (在宅生活を送る要介護者を介護している) 現在の生活を今後も続けていくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等はどれですか。(現在行っているかどうかは問いません。)(○は3つまで)

		(%)											
	n	夜間の排泄	認知症状への対応	入浴・洗身	外出の付き添い、送迎等	日中の排泄	食事の準備(調理等)	屋内の移乗・移動	濯、買物等	その他の家事(掃除、洗濯)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	服薬	食事の介助(食べる時)
全体	499	25.9	23.8	20.0	19.8	16.6	10.0	8.4	8.4	8.2	7.2	5.4	
	n	等身だしなみ(洗顔・歯磨き)	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	衣服の着脱	その他	不安に感じていることは、特になし	わからない	無回答					
全体	499	3.8	3.6	3.4	3.8	5.2	1.8	27.5					

主な介護者が不安に感じる介護内容について、「夜間の排泄」が25.9%と最も多く、次いで「認知症状への対応」が23.8%、「入浴・洗身」が20.0%となっています。

問20 介護する上で、あなた自身のことで困ったことや、悩んでいることはありますか。

(〇はいくつでも)

		(%)																	
	n	自分の心と体の健康	介護疲れやストレス	自分の代わりに介護者がいない	自分亡き後の不安	自分自身の時間がとれない	自分の将来が不安	介護と仕事の両立	介護と仕事の両立	介護と仕事の両立	介護と仕事の両立	介護と仕事の両立	介護と仕事の両立	介護と仕事の両立	介護と仕事の両立	介護と仕事の両立	介護と仕事の両立	介護と仕事の両立	介護と仕事の両立
全体	499	44.7	40.1	33.3	26.3	23.6	21.4	17.6	11.8	6.2	4.2	3.8							
	n	困ったこと、悩んでいること	無回答																
全体	499	7.0	25.3																

現在、介護する上での困りごとや悩みについて、「自分の心と体の健康」が44.7%と最も多く、次いで「介護疲れやストレス」が40.1%、「自分の代わりに介護者がいない」が33.3%となっています。

問 21 介護する上で、お世話をしている方のことで困ったことや、悩んでいることはありますか。
(〇はいくつでも)

	n	化 お世話が 必要な 方の状態 悪化	認 知症の 人との 接し方	て お世 話が 必要 なこ とに つ い	や お世 話を して いる 方 の 性 格	来 お世 話が 必要 な 方 自 身 の 将	性 別 が 異 な る 相 手 の お 世 話	困 つ て い る こ と は 特 に な い や 悩 ん で い	(%) 無 回 答
全 体	499	24.4	19.4	19.2	18.8	17.4	5.0	13.2	33.5

介護する上で、お世話をしている方のことでの困りごとや悩みについて、「お世話が必要な方の状態悪化」が24.4%と最も多く、次いで「認知症の人との接し方」が19.4%、「お世話が必要なことについて本人の自覚がない」が19.2%となっています。

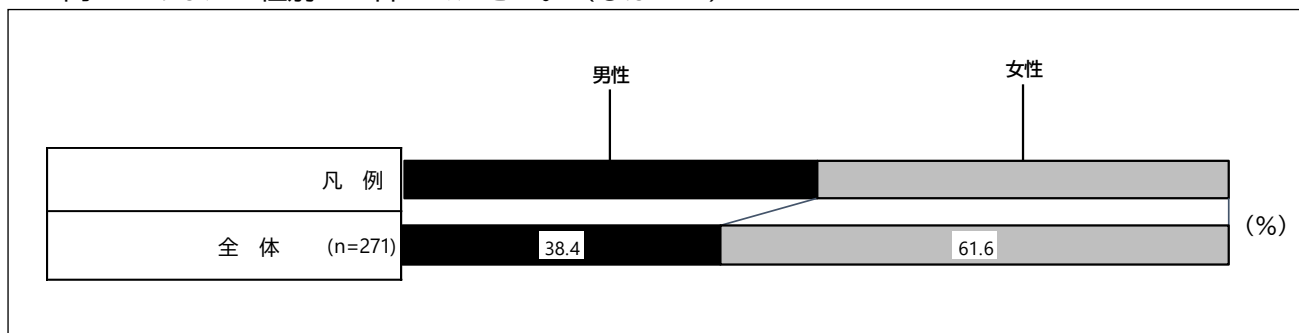
第4章

若年者調査結果

第4章 若年者調査結果

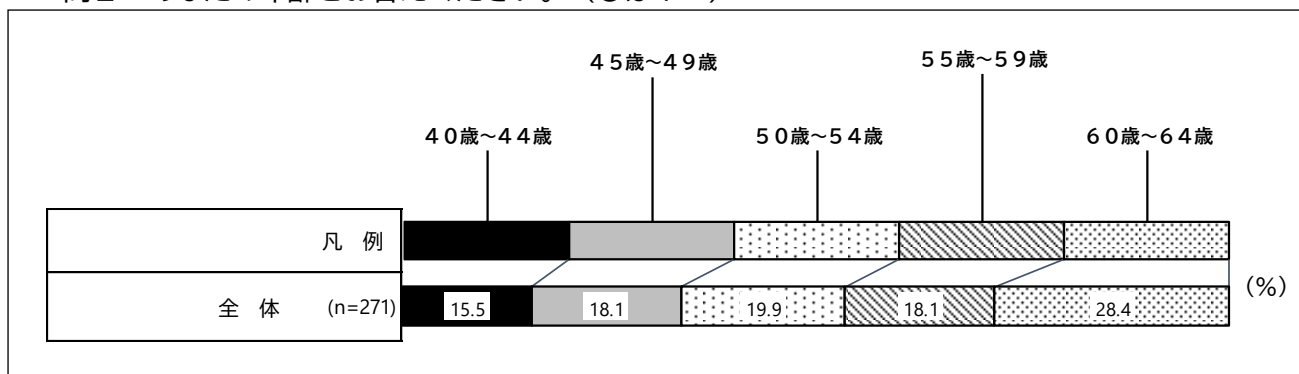
1 あなたご自身について

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)



回答者の性別について、「女性」が61.6%、「男性」が38.4%となっています。

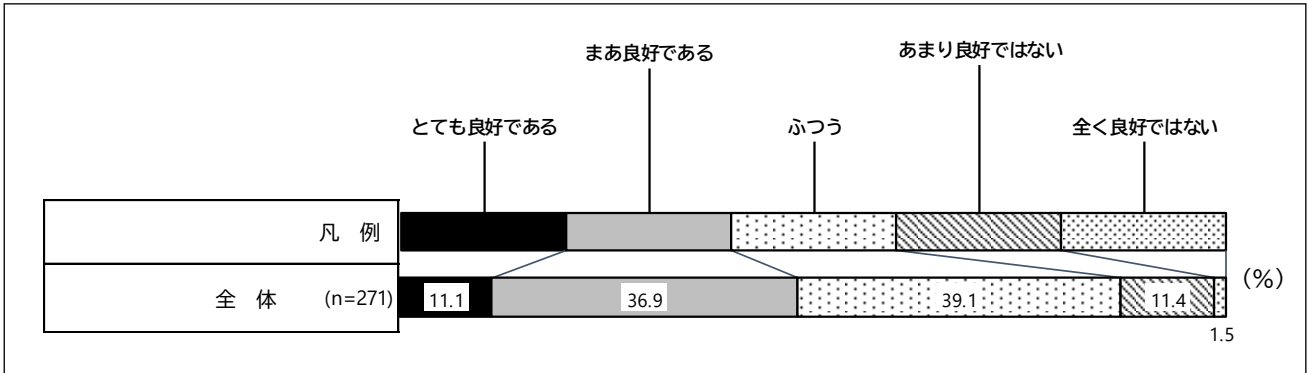
問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)



回答者の年齢について、「60歳~64歳」が28.4%と最も多く、次いで「50歳~54歳」が19.9%、「45歳~49歳」、「55歳~59歳」が18.1%となっています。

2 健康の状況について

問3 あなたの健康の状態はいかがですか。(○は1つ)



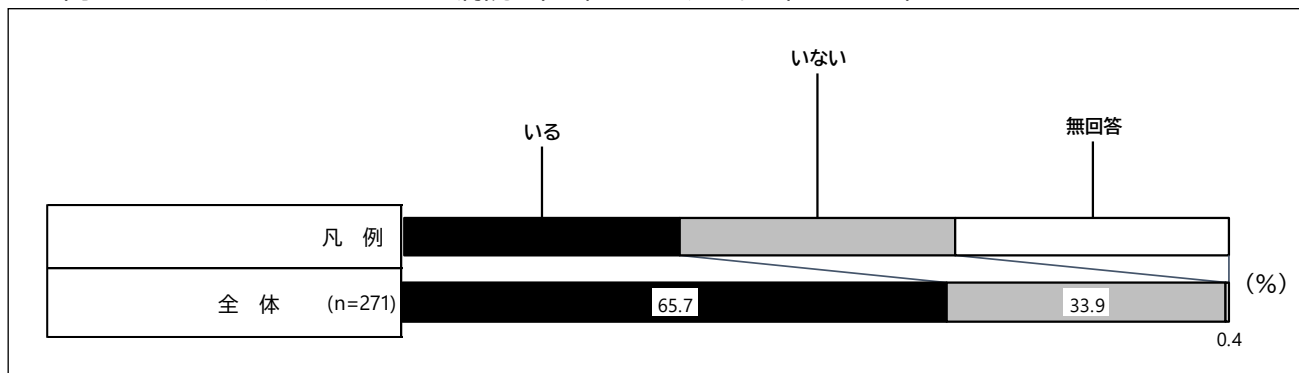
回答者の健康状態について、「ふつう」が39.1%と最も多く、次いで「まあ良好である」が36.9%、「あまり良好ではない」が11.4%となっています。

問4 あなたが、健康のために気をつけていることはありますか。(○はいくつでも)

		(%)										
	n	年に1回程度、健診を受けている	食事や栄養に気を付けている	歯科健診や歯磨きなどを心がけている	十分な睡眠や休息をとっている	適度な運動を心がけている	家族や友人とのふれあいを大切にしている	仕事や趣味などで生きがいを持っている	規則正しいリズムで生活している	禁酒やお酒を飲みすぎないよう心がけている	禁煙・節煙を心がけている	特になし
全体	271	74.5	46.9	43.2	36.5	34.3	33.6	30.6	28.8	25.5	24.0	4.1
	n	その他	無回答									
全体	271	0.4	0.4									

健康のために気をつけていることについて、「年に1回程度、健診を受けている」が74.5%と最も多く、次いで「食事や栄養に気を付けている」が46.9%、「歯科健診や歯磨きなどを心がけている」が43.2%となっています。

問5 あなたは、かかりつけの病院や医師がいますか。(○は1つ)



かかりつけの病院や医師の有無について、「いる」が65.7%、「いない」が33.9%となっています。

問6 あなたは、治療中の生活習慣病はありますか。(○はいくつでも)

	n	高血圧	脂質異常症(中性脂肪、コレステロール過多)	糖尿病	肥満	心疾患	心臓病	脳血管疾患(脳梗塞、脳出血)	どれもなし	その他	無回答
全体	271	18.1	16.2	5.5	4.1	1.5	0.7	0.7	57.9	10.0	3.7

治療中の生活習慣病について、「高血圧」が18.1%と最も多く、次いで「脂質異常症(中性脂肪、コレステロール過多)」が16.2%、「糖尿病」が5.5%となっています。

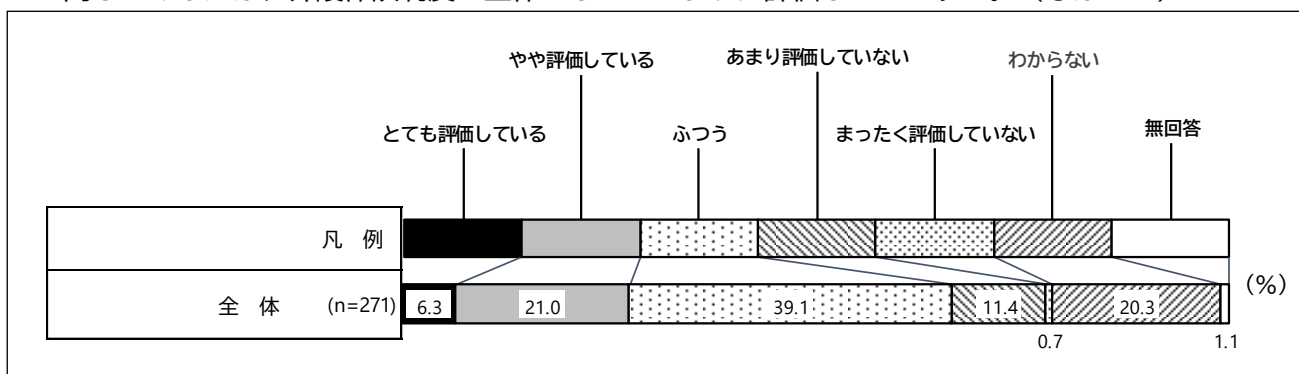
3 介護保険制度について

問7 介護保険制度やサービスには、次のようなものがあります。あなたが、知っているものはどれですか。（〇はいくつでも）

	n	介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支える制度である	要介護度ごとに、利用できるサービスや、利用金額に上限がある	サービスには、施設などに入所するものと、自宅でサービスを利用するものがある	サービスには、施設などに入所するもの以上と判定されなければならない	介護保険によるサービスを受けるためには要介護認定を受けて、要支援1以上と判定されなければならない	サービスの利用には、1割から3割の自己負担が必要である	第1号被保険者（65歳以上）の保険料の納入は、年金から天引きされるか、納付書または口座振替で納める	介護保険加入者は第1号被保険者（65歳以上）と第2号被保険者（40歳～64歳）である	40歳から64歳までの方は、特定の病気により介護が必要となった場合のみサービスを受けられる	介護保険料は、市全体における介護サービスの利用状況に応じて決まる	65歳以上の方は簡易なチェックリストで必要だと判断されれば、認定を受けずにある程度サービスを利用できる	介護保険料を滞納すると、滞納期間別にペナルティの措置がある	知っていることはない
全体	271	76.0	56.8	56.8	54.6	41.0	35.1	30.3	18.1	11.4	8.5	5.2	11.4	

介護保険制度やサービスの周知状況について、「介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支える制度である」が76.0%と最も多く、次いで「要介護度ごとに、利用できるサービスや、利用金額に上限がある」、「サービスには、施設などに入所するものと、自宅でサービスを利用するものがある」が56.8%、「介護保険によるサービスを受けるためには要介護認定を受けて、要支援1以上と判定されなければならない」が54.6%となっています。

問8 あなたは、介護保険制度を全体としてどのように評価していますか。（〇は1つ）



介護保険制度への評価について、「ふつう」が39.1%と最も多く、次いで「やや評価している」が21.0%、「わからない」が20.3%となっています。

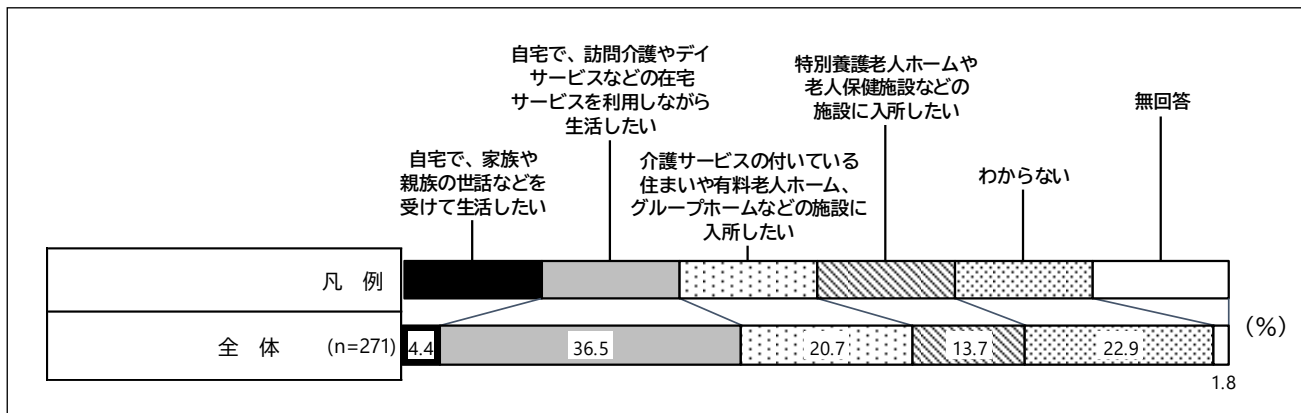
問9 介護保険制度の内容などを、皆さんによく知っていただくためには、どのような方法がよいと思いますか。(〇は2つまで)

	n	広報紙などで説明する	インターネットで検索できるようにする	介護保険のニュースやパンフレットなどを作る	個別の説明で対応する	地区懇談会などを開催して説明する	シンポジウムなどイベントを開催する	その他	無回答
全体	271	46.5	41.0	38.7	15.1	8.1	6.6	2.6	2.2

介護保険制度の周知方法について、「広報紙などで説明する」が46.5%と最も多く、次いで「インターネットで検索できるようにする」が41.0%、「介護保険のニュースやパンフレットなどを作る」が38.7%となっています。

4 今後の介護希望について

問 10 あなたご自身が、今後、介護が必要になった場合、どのようにしたいとお考えですか。
(○は1つ)



介護が必要になった場合の考え方について、「自宅で、訪問介護やデイサービスなどの在宅サービスを利用しながら生活したい」が36.5%と最も多く、次いで「介護サービスの付いている住まいや有料老人ホーム、グループホームなどの施設に入所したい」が20.7%、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい」が13.7%となっています。

問 11 あなたの老後について、どんなことに不安を感じますか。(○はいくつでも)

	n	介護を必要とする状態になること	病気・健康について	老後の生活費の蓄えがないこと	様々な手続きができなくなる	老後の生活準備が全くないこと	孤独であること	住宅が老後の生活に適さない	犯罪の被害にあうこと	人間関係のこと	家族が老後に関心がないこと	不安は感じるが具体的にはわからない	(%)
全体	271	71.6	66.4	49.8	30.6	22.1	13.3	12.5	11.4	8.5	1.5	5.2	
	n	不安を感じたことはない	その他	無回答									
全体	271	1.8	1.8	0.4									

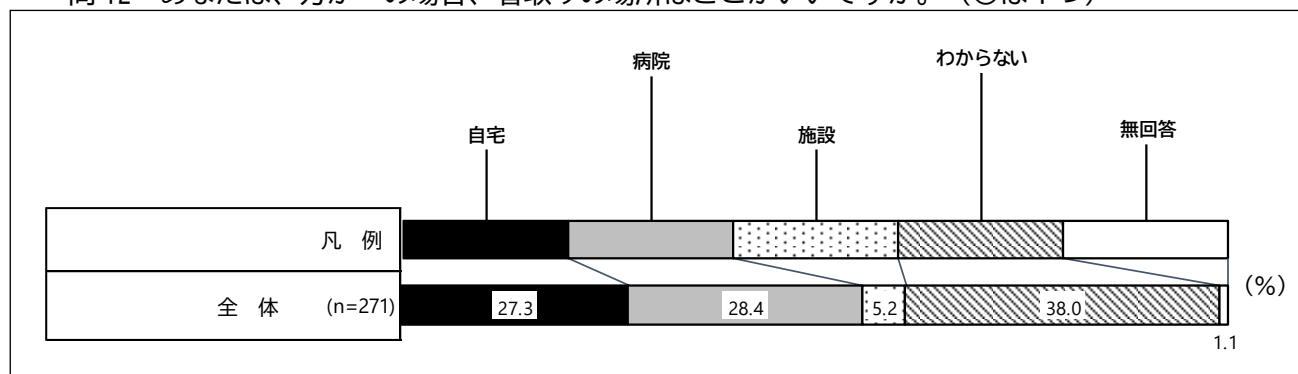
老後に感じる不安について、「介護を必要とする状態になること」が71.6%と最も多く、次いで「病気・健康について」が66.4%、「老後の生活費の蓄えがないこと」が49.8%となっています。

問11-1 問11で、「1. 介護を必要とする状態になること」と回答した方に伺います。
あなた自身の介護について、どんなことに不安を感じますか。（〇はいくつでも）

	n	と寝たきりや認知症になること	家族等に負担をかけること	と施設入所を希望した場合、入所できるかわからないこと	介護をしてくれる人がいないこと	かどんな介護サービスがあるかわからないこと	介護に対する知識や技術がないこと	介護を必要とする期間がわからないこと	家族が遠くにいること	その他
全体	194	89.7	70.1	46.4	30.4	21.6	21.1	19.1	4.6	1.5

介護を感じる不安について、「寝たきりや認知症になること」が89.7%と最も多く、次いで「家族等に負担をかけること」が70.1%、「施設入所を希望した場合、入所できるかわからないこと」が46.4%となっています。

問12 あなたは、万が一の場合、看取りの場所はどこがいいですか。（〇は1つ）



万が一の場合の看取りの場所について、「病院」28.4%と最も多く、次いで「自宅」が27.3%、「施設」が5.2%となっています。

5 介護生活を続ける際の不安や困りごとについて

問 13 あなたの親・配偶者・兄弟等が、もし介護が必要になった場合どのように介護したいと思いますか。（現在、介護が必要な場合も含む）（○はいくつでも）

	n	自宅、訪問介護やデイサービスなどの在宅サービスを生 活してもらいたい	介護サービス付きの住 まいや有料老人ホーム、 グループホームなどへ入 所してもらいたい	特別養護老人ホームや老 人保健施設などの施設に 入所してもらいたい	自宅で、家族や親族の世 話などを受けたい	わからない	無回答
全 体	271	52.8	33.6	32.1	11.1	10.7	1.1

親族（親・配偶者・兄弟等）に介護が必要になった場合の考え方について、「自宅で、訪問介護やデイサービスなどの在宅サービスを利用しながら生活してもらいたい」が52.8%と最も多く、次いで「介護サービス付きの住まいや有料老人ホーム、グループホームなどへ入所してもらいたい」が33.6%、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所してもらいたい」が32.1%となっています。

問 14 あなたの親・配偶者・兄弟等の老後について、どんなことに不安を感じますか。（○はいくつでも）

	n	介護を必要とする状態になること	病気・健康について	老後の生活費の蓄えがないこと	様々な手続きができなくなる	老後の生活準備が全くないこと	住宅が老後の生活に適さない	犯罪の被害にあうこと	親族の人間関係のこと	老後の希望を知らないこと	孤独であること	不安を感じるが具体的にはわからない
全 体	271	75.3	60.9	33.6	21.0	15.5	13.3	12.2	10.0	9.2	8.1	4.8

	n	不安を感じたことはない	その他	無回答
全 体	271	2.6	1.8	0.7

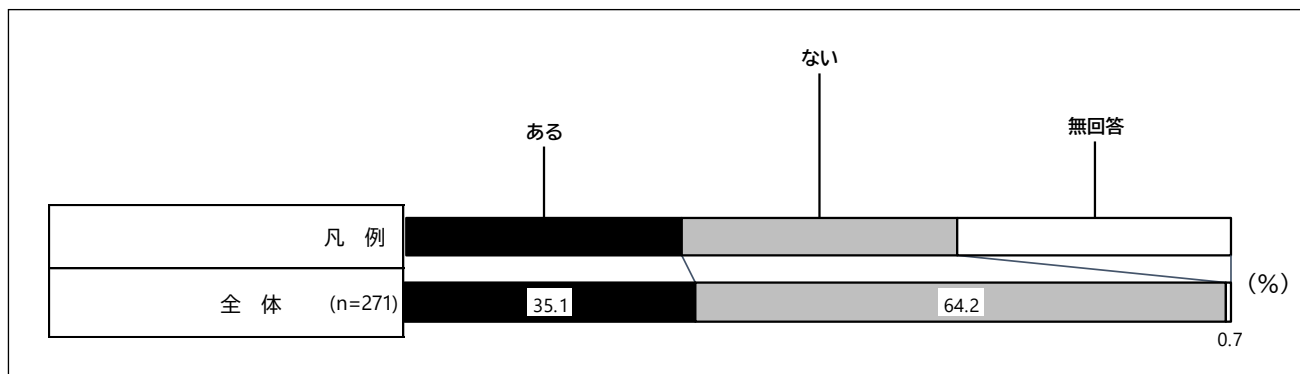
親族の老後に感じる不安について、「介護を必要とする状態になること」が75.3%と最も多く、次いで「病気・健康について」が60.9%、「老後の生活費の蓄えがないこと」が33.6%となっています。

問 14-1 問 14 で、「1. 介護を必要とする状態になること」と回答した方に伺います。
 具体的に、どんなことに不安を感じますか。（〇はいくつでも）

		(%)											
	n	と寝たきりや認知症になること	と入所できるかわからないこと	施設入所を希望した場合、入所できるかわからないこと	介護のために就労を継続できなくなること	かどんな介護サービスがあるかわからないこと	介護に対する知識や技術がないこと	誰が介護をするか話し合いがないこと	介護を必要とする期間がわからないこと	他の親族による介護の協力がいないこと	何かあっても、すぐにかかけられないこと	介護のために通うこと	誰も介護する人がいないこと
全 体	204	89.2	51.5	35.3	34.8	31.9	26.0	22.5	21.1	20.1	18.1	15.7	
	n	親族の介護の希望を知らないこと	介護について考えていないこと	その他									
全 体	204	14.2	10.8	2.5									

親族の介護に感じる不安について、「寝たきりや認知症になること」が89.2%と最も多く、次いで「施設入所を希望した場合、入所できるかわからないこと」が51.5%、「介護のために就労を継続できなくなること」が35.3%となっています。

問 15 あなたは今までに高齢者の方を介護したことがありますか。(〇は1つ)



高齢者への介護経験について、「ない」が64.2%、「ある」が35.1%となっています。

問 15-1 問 15で、「1. ある」と回答した方に伺います。

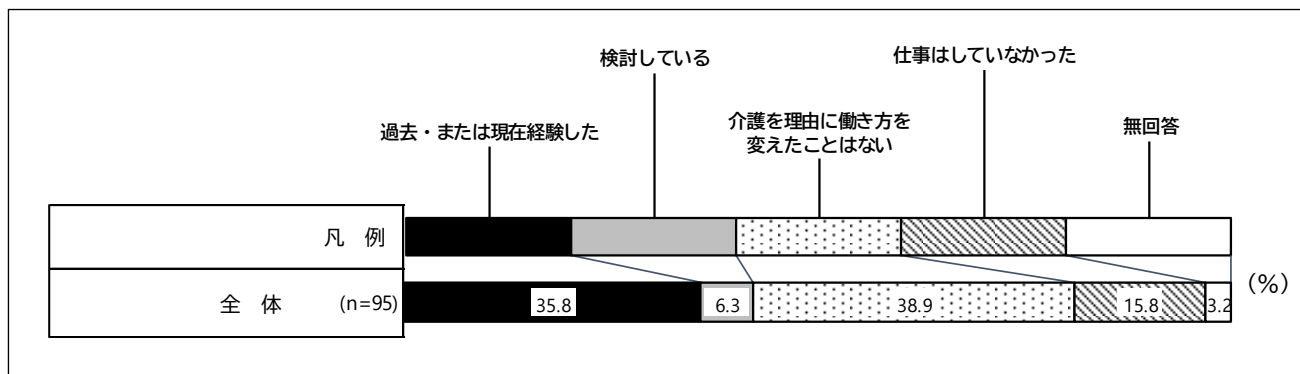
介護をして、主に苦勞した(している)点は次のうちどれですか。(〇は3つまで)

	n	排せつの介助	認知症の症状への対応	移動の介助	入浴の介助	介護保険や福祉サービス等の手続	食事の介助	寝がえり(床ずれの防止)	特に苦勞は感じない	その他
全体	95	47.4	45.3	42.1	36.8	36.8	29.5	10.5	3.2	6.3

介護をして苦勞した点について、「排せつの介助」が47.4%と最も多く、次いで「認知症の症状への対応」45.3%、「移動の介助」が42.1%となっています。

問 15-2 問 15で、「1. ある」と回答した方に伺います。

介護を理由に退職・転職・休職・休暇（介護休暇含む）の利用・在宅勤務・部署異動・就労時間の変更等を経験したことがありますか。（○は1つ）



介護を理由に働き方を変えた経験について、「介護を理由に働き方を変えたことはない」が38.9%と最も多く、次いで「過去・または現在経験した」が35.8%となっています。

問 15-3 問 15-2で、「1. 過去・または現在経験した」または「2. 検討している。」と回答した方に伺います。

介護を理由に働き方を変えた行動は、次のうちどれですか。（○はいくつでも）

	n	就労時間の変更	休暇（介護休暇を含む）	退職	休職	転職	在宅勤務	部署の異動	その他
全体	40	45.0	40.0	25.0	25.0	7.5	2.5	2.5	2.5

介護を理由に働き方を変えた行動について、「就労時間の変更」が45.0%と最も多く、次いで「休暇（介護休暇を含む）」が40.0%、「退職」、「休職」が25.0%となっています。

6 介護保険制度や高齢者福祉施策について

問 16 今後、高齢者が地域で安心していきいきと生活するために、特に充実すべきだと思うものは何ですか。（〇は3つまで）

	n	いろいろな相談事について、身近で対応してくれる相談体制を整備する	外出の際の移動手段・送迎サービスの充実	介護保険のサービスを充実する	高齢者向けの住宅など、安心して地域で生活できる住まいを整備する	教養・趣味の講座などを充実し、生きがいづくりを支援する	健康診査や健康教室などを充実し、健康づくりを支援する	ボランティアなどの地域福祉活動を推進する	高齢者の就労の機会を増やす	できる限り介護が必要な状態にならないようにするために、介護保険以外の福祉サービスを充実する	安心して外出できるように、道路などのバリアフリー化を進める	介護予防の取組
全体	271	45.4	38.4	31.7	25.1	23.6	22.5	16.6	14.8	14.4	9.6	8.5
	n	その他	無回答									
全体	271	2.6	2.2									

高齢者が地域で安心して生活するために充実させることについて、「いろいろな相談事について、身近で対応してくれる相談体制を整備する」が45.4%と最も多く、次いで「外出の際の移動手段・送迎サービスの充実」が38.4%、「介護保険のサービスを充実する」が31.7%となっています。

問 16-1 問 16 で、「1. ボランティアなどの地域福祉活動を推進する」と回答した方に伺います。

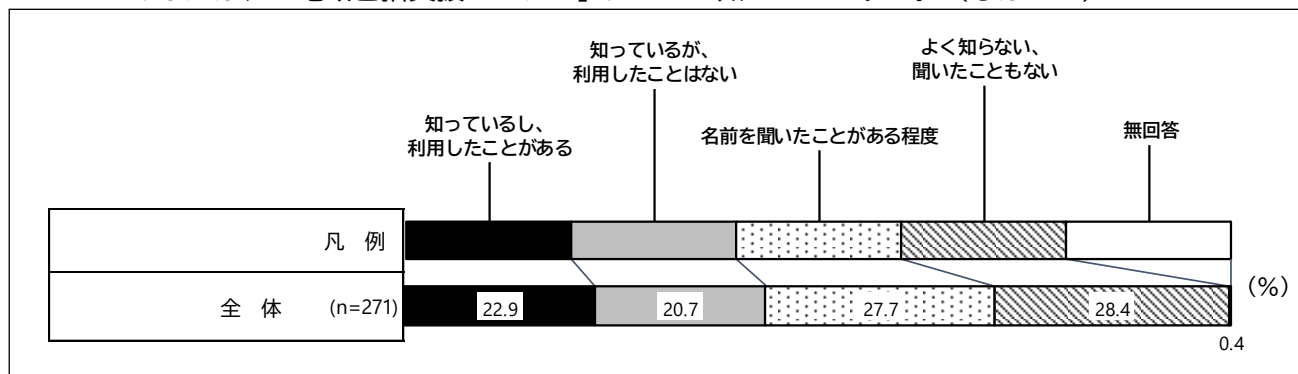
あなたはボランティア活動を推進するために、今後どのようなことが重要だと考えますか。（〇は2つまで）

	n	活動に関する様々な情報を提供する	活動する団体に対して経済的な支援を行う	活動する個人に対して経済的な支援を行う	活動に対する社会的評価を高める	養成・研修の機会を充実させる	活動を結びつける団体と受入れ団体を	保険加入を推進し、事故などへの対応を整備する	特になし	その他
全 体	45	51.1	35.6	31.1	26.7	20.0	6.7	2.2	4.4	4.4

ボランティア活動を推進するために、今後重要なことについて、「活動に関する様々な情報を提供する」が51.1%と最も多く、次いで「活動する団体に対して経済的な支援を行う」が35.6%、「活動する個人に対して経済的な支援を行う」が31.1%となっています。

問 17 塩竈市には、高齢者の生活に関する総合相談や介護予防の支援を行う拠点として「地域包括支援センター」が5か所設置されています。

あなたは、「地域包括支援センター」について知っていますか。（〇は1つ）



「地域包括支援センター」の認知度について、「よく知らない、聞いたこともない」が28.4%と最も多く、次いで「名前を聞いたことがある程度」が27.7%、「知っているし、利用したことがある」が22.9%となっています。

問 18 市では、独自に次の事業を行っております。特に継続した方がよいと思う事業はどれですか。（〇は3つまで）

											(%)
	n	在宅で介護する家族への紙おむつなどの給付サービス	週1～2回の配食サービスの助成	リフト付タクシーチケットの給付サービス	見守りシステムを設置した、自立生活可能な高齢者用の専用住宅	見守りサービスの契約にかかる設置費や月額料金の助成	1年以上、介護保険サービスを利用しないで、常に在宅介護をする方を対象に支給する家族介護慰労金支給事業	長寿祝金や敬老金の支給	特になし	無回答	
全体	271	49.4	39.1	38.4	36.2	35.8	29.5	12.2	6.3	1.5	

特に継続した方が良いと思う市の事業について、「在宅で介護する家族への紙おむつなどの給付サービス」が49.4%と最も多く、次いで「週1～2回の配食サービスの助成」が39.1%、「リフト付タクシーチケットの給付サービス」が38.4%となっています。

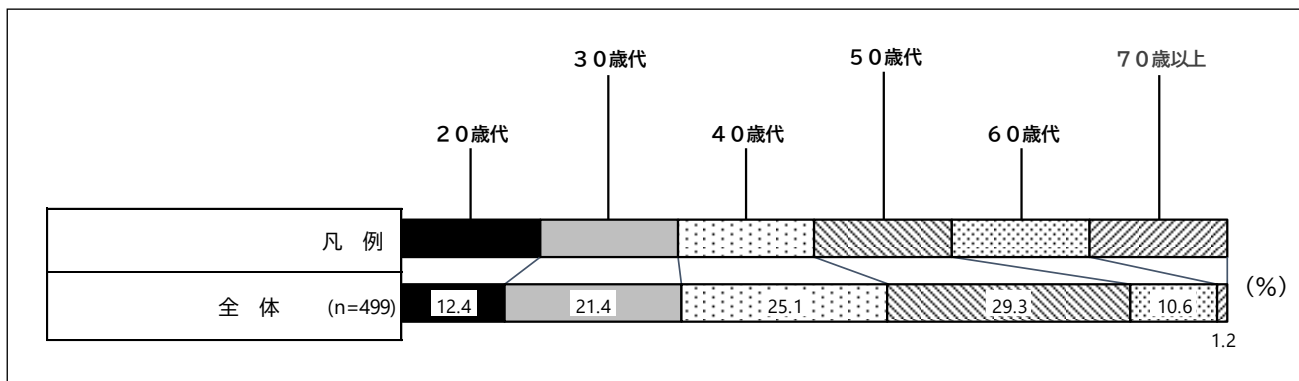
第5章

介護サービス事業所実態調査

第5章 介護サービス事業所実態調査

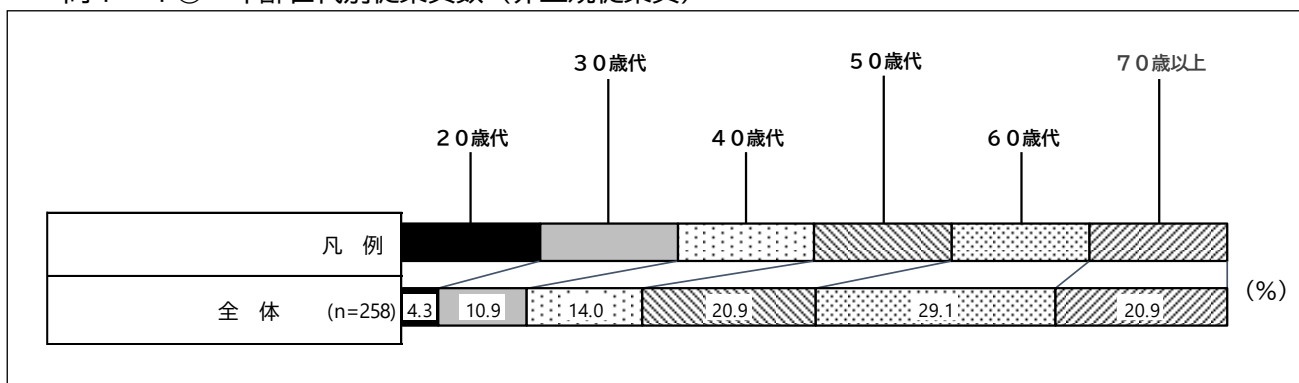
1 事業所の概要について

問1-1① 年齢世代別従業員数（正規従業員）



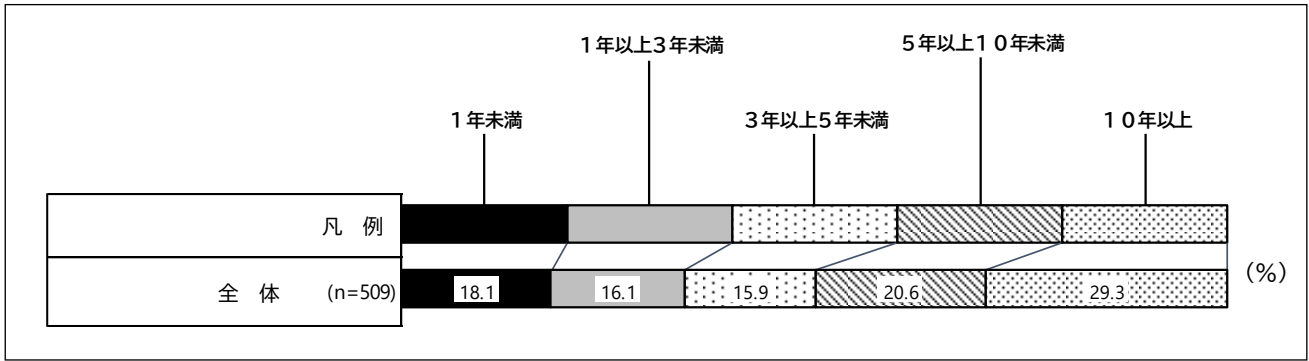
正規従業員の年齢世代別従業員数について、「50歳代」が29.3%と最も多く、次いで「40歳代」が25.1%、「30歳代」が21.4%となっています。

問1-1② 年齢世代別従業員数（非正規従業員）



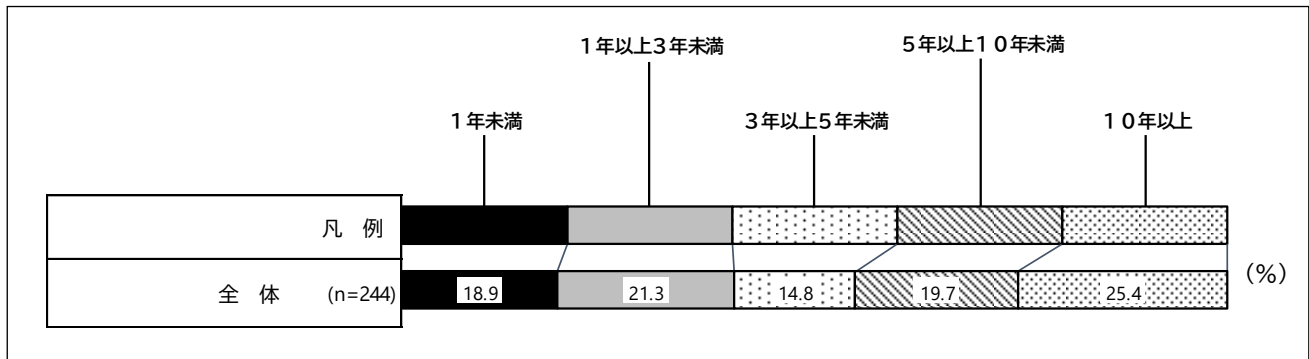
非正規従業員の年齢世代別従業員数について、「60歳代」が29.1%と最も多く、次いで「50歳代」、「70歳以上」が20.9%、「40歳代」が14.0%となっています。

問1-2① 勤続年数別従業員数（正規従業員）



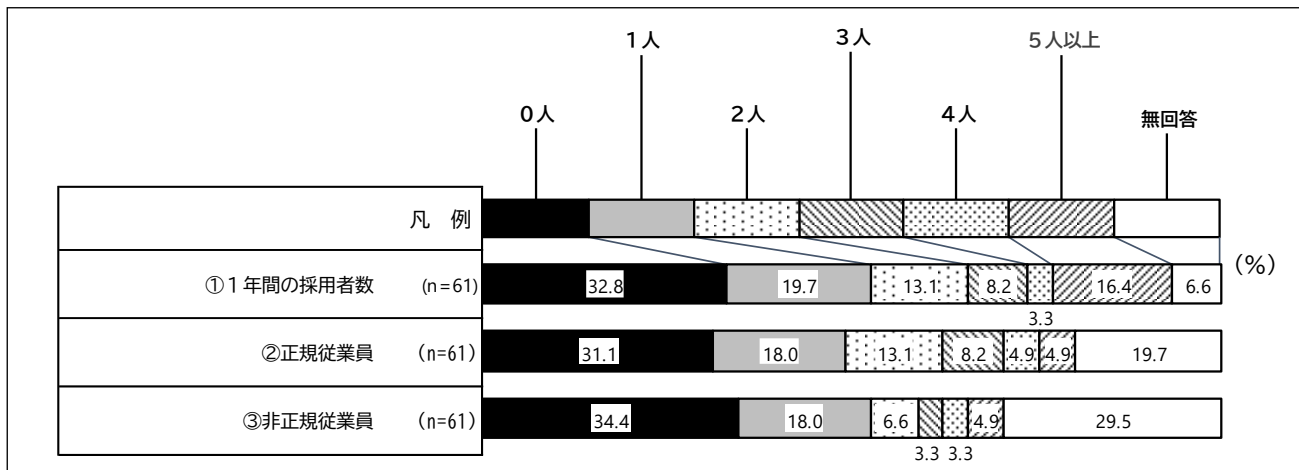
正規従業員の勤続年数別従業員数について、「10年以上」が29.3%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」が20.6%、「1年未満」が18.1%となっています。

問1-2② 勤続年数別従業員数（非正規従業員）



非正規従業員の勤続年数別従業員数について、「10年以上」が25.4%と最も多く、次いで「1年以上3年未満」が21.3%、「5年以上10年未満」が19.7%となっています。

問1-3①・②・③ 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの1年間の採用者数

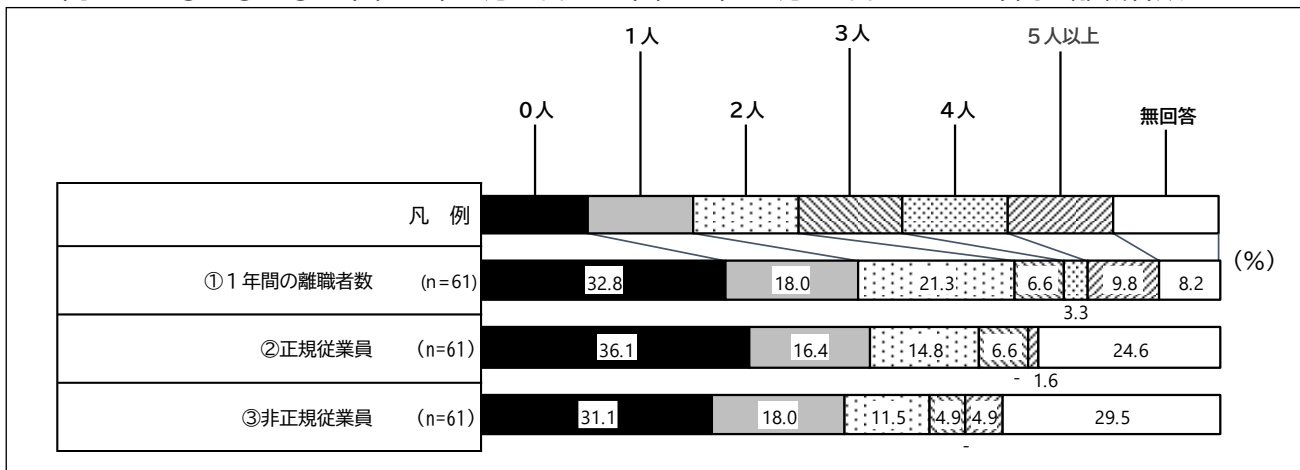


令和7年1月1日から令和7年12月31日までの1年間の採用者数について、全体では「0人」が32.8%と最も多く、次いで「1人」が19.7%、「5人以上」が16.4%となっています。

正規従業員では「0人」が31.1%と最も多く、次いで「1人」が18.0%、「2人」が13.1%となっています。

非正規従業員では「0人」が34.4%と最も多く、次いで「1人」が18.0%、「2人」が6.6%となっています。

問1-4①・②・③ 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの1年間の離職者数

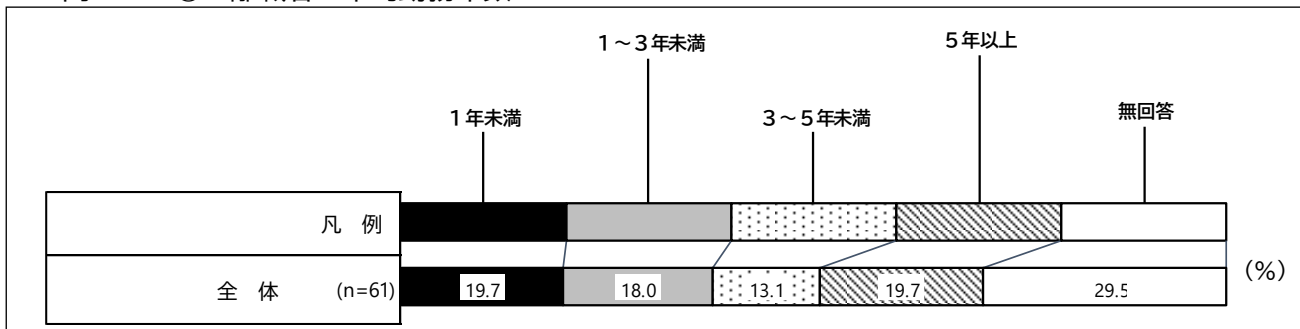


令和7年1月1日から令和7年12月31日までの1年間の離職者数について、全体では「0人」が32.8%と最も多く、次いで「2人」が21.3%、「1人」が18.0%となっています。

正規従業員では「0人」が36.1%と最も多く、次いで「1人」が16.4%、「2人」が14.8%となっています。

非正規従業員では「0人」が31.1%と最も多く、次いで「1人」が18.0%、「2人」が11.5%となっています。

問1-4④ 離職者の平均勤務年数



離職者の平均勤務年数について、「1年未満」、「5年以上」が19.7%と最も多く、次いで「1～3年未満」が18.0%、「3～5年未満」が13.1%となっています。

問2 貴事業所が提供するサービス（予防を含む）についてお答えください。

（あてはまるものすべてに○）

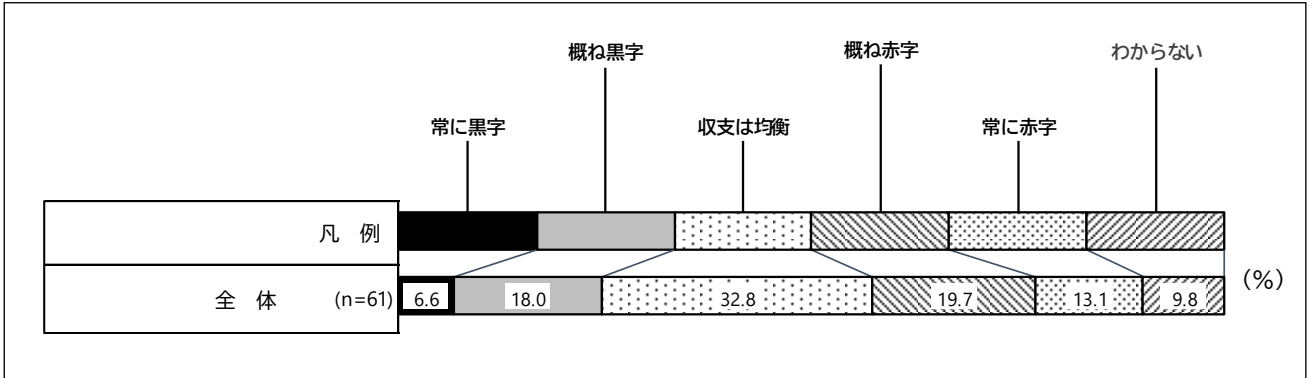
														(%)
	n	居宅介護支援	訪問介護	訪問看護	通所介護	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	訪問型サービス（総合事業）	地域密着型通所介護	通所型サービス（総合事業）	訪問リハビリテーション	短期入所生活介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	居宅療養管理指導
全体	61	37.7	31.1	9.8	9.8	9.8	8.2	6.6	6.6	4.9	4.9	3.3	3.3	1.6
	n	通所リハビリテーション	短期入所療養介護	特定施設入居者生活介護	福祉用具・特定福祉用具	小規模多機能型居宅介護	介護老人保健施設	訪問入浴介護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	地域密着型特定施設入居者生活介護	介護老人福祉施設	介護医療院（介護療養型医療施設）	その他
全体	61	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	-	-	-	-	-	-	6.6

提供しているサービスについて、「居宅介護支援」が37.7%と最も多く、次いで「訪問介護」が31.1%、「訪問看護」、「通所介護」、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」が9.8%となっています。

2 運営状況について

問3 貴事業所の現在の経営状況をどのように認識していますか。(あてはまるもの1つに○)

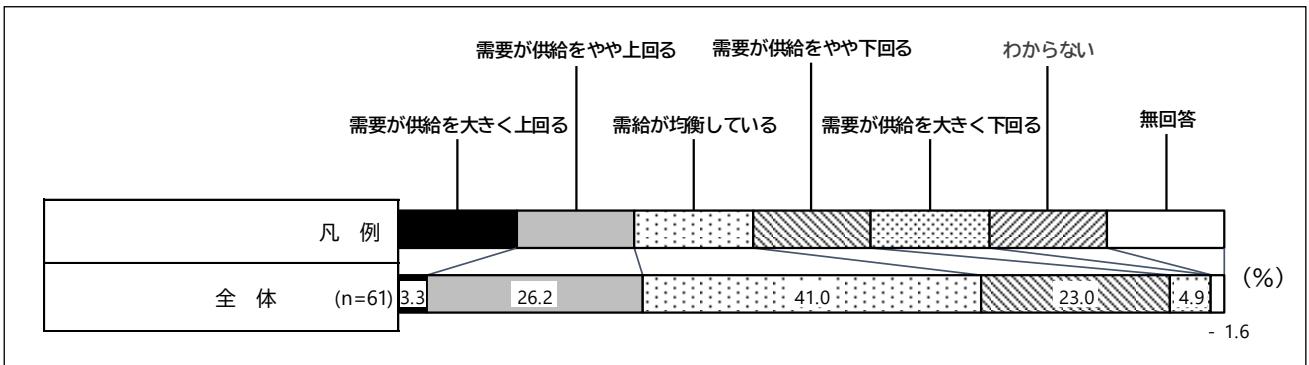
※おおよその感覚でお答えいただいて構いません。



現在の経営状況について、「収支は均衡」が32.8%と最も多く、次いで「概ね赤字」が19.7%、「概ね黒字」が18.0%となっています。

問4 貴事業所が受けられる利用者の数【供給】に対して、貴事業所の利用を希望する人の数【需要】は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

※おおよその感覚でお答えいただいて構いません。



事業所が受けられる利用者数に対する利用希望者数（需給バランス）について、「需給が均衡している」が41.0%と最も多く、次いで「需要が供給をやや上回る」が26.2%、「需要が供給をやや下回る」が23.0%となっています。

問5 貴事業所の円滑な運営を進めていくうえで、支障となっていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

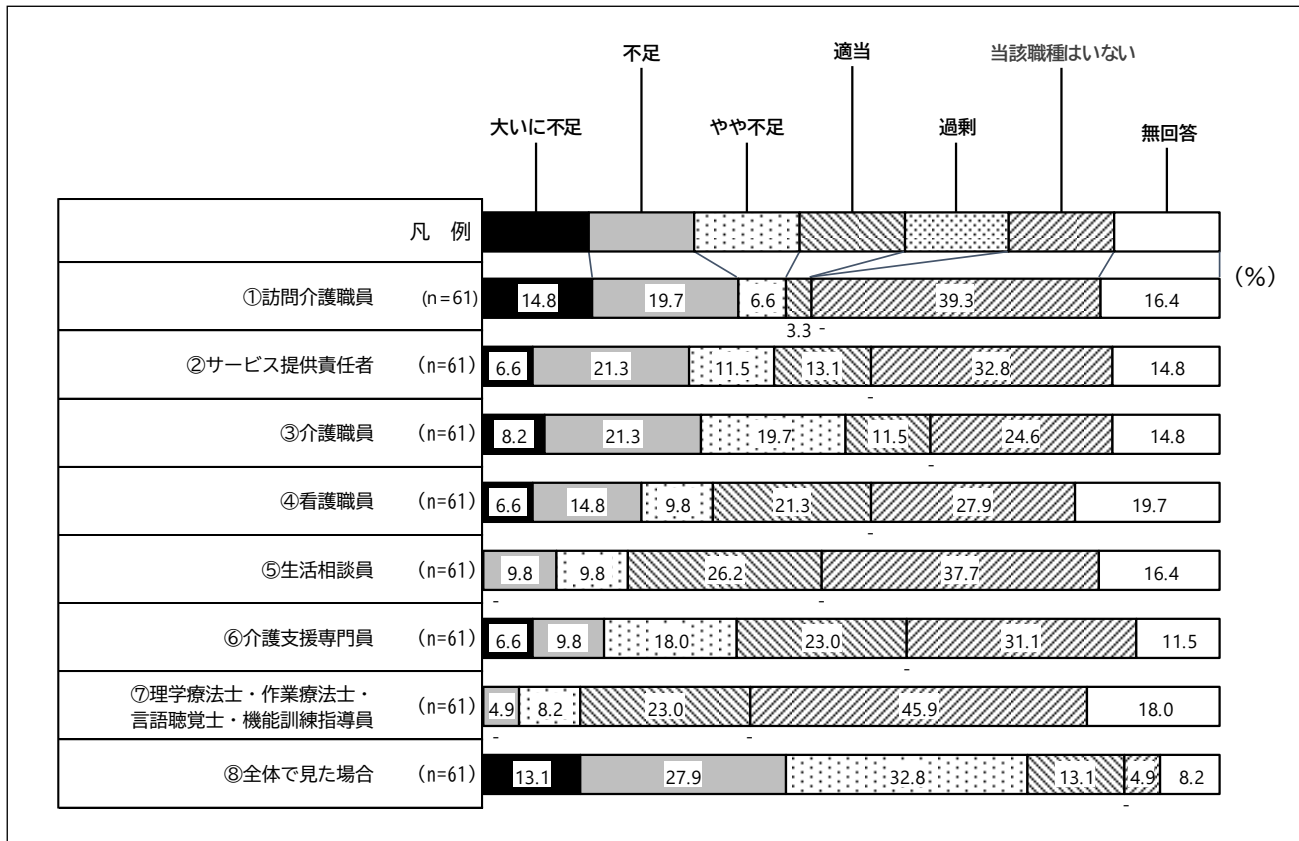
		(%)										
	n	事務作業量が多い	専門職の確保が難しい	介護報酬が少なく、採算がとれない	利用者の確保が難しい	人材育成が難しい	職員の資質向上を図ることが難しい	経営経費、活動資金が不足している	職員が定着しにくい	職員の仕事への意欲を維持することが難しい	利用者や家族の制度への理解不足	医療機関と連携を図ることが難しい
全体	61	59.0	52.5	45.9	42.6	34.4	31.1	29.5	24.6	18.0	9.8	9.8
	n	市役所等が難しい	利用者に対する情報提供が難しい	特になし	その他							
全体	61	1.6	-	3.3	3.3							

事業所の円滑な運営の支障になっていることについて、「事務作業量が多い」が59.0%と最も多く、次いで「専門職の確保が難しい」が52.5%、「介護報酬が少なく、採算がとれない」が45.9%となっています。

3 介護人材の定着・離職等について

問6 職種ごとの従業員の過不足について、どのように感じていますか。

また、『⑧全体で見た場合』で、「大いに不足」「不足」「やや不足」のいずれかに○をつけた事業者は、問7でその理由についてもお答えください。



職種ごとの従業員の過不足状況について、「大いに不足」と「不足」と「やや不足」を合わせた『不足』は「③介護職員」が49.2%と最も多く、次いで「①訪問介護職員」が41.1%、「②サービス提供責任者」が39.4%となっています。

問7 【問6の『⑧全体で見た場合』で、「大いに不足」「不足」「やや不足」のいずれかに○をつけた事業者に伺います。】

不足している理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	n	採用が困難である（募集しても応募がない、または少ない）	離職率が高い（定着率が低い）	経営（収支）状況が厳しく、雇用できない	その他
全体	45	93.3	28.9	22.2	2.2

従業員が不足している理由について、「採用が困難である（募集しても応募がない、または少ない）」が93.3%と最も多く、「離職率が高い（定着率が低い）」が28.9%、「経営（収支）状況が厳しく、雇用できない」が22.2%となっています。

問8 人材の確保が難しいと感じていますか。またその理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

	n	他業種に比べ賃金水準が低い	多くの業界が人手不足であり介護業界は特に厳しい	仕事がつい(肉体的・精神的)というイメージがある	介護業界のマイナスイメージがある	同業他社との人材獲得競争が厳しい	夜間勤務が敬遠されている	雇用が不安定というイメージがある	感じない	その他	無回答
全体	61	75.4	65.6	57.4	57.4	32.8	16.4	11.5	4.9	6.6	1.6

人員確保が難しい理由について、「他業種に比べ賃金水準が低い」が75.4%と最も多く、次いで「多くの業界が人手不足であり介護業界は特に厳しい」が65.6%、「仕事がつい(肉体的・精神的)というイメージがある」、「介護業界のマイナスイメージがある」が57.4%となっています。

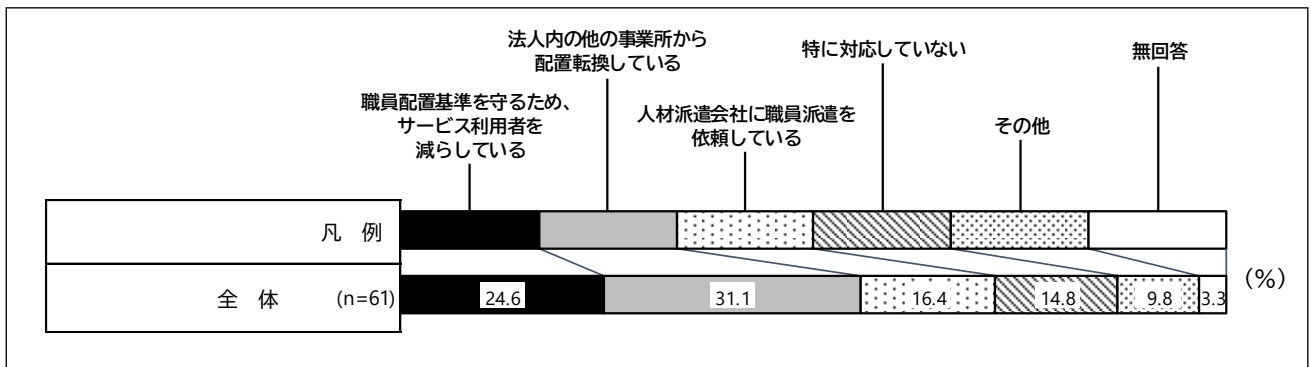
問9 離職者について、主な離職理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	n	収入の問題(賃金に対する不満)	精神的な不調	身体的な不調	職場の人間関係	労働時間・休日・勤務体制の問題	従業員自身の高齢	家族・親族の介護や看護	他職種への転職	キャリアアップのための転職	法人・事業所の理念や運営との不一致	独立や他事業所への移籍
全体	61	41.0	36.1	32.8	31.1	26.2	24.6	24.6	19.7	18.0	11.5	6.6

	n	従業員自身の結婚、出産	従業員自身の育児	合 人員整理など事業者側の都合	その他	無回答
全体	61	4.9	4.9	3.3	3.3	6.6

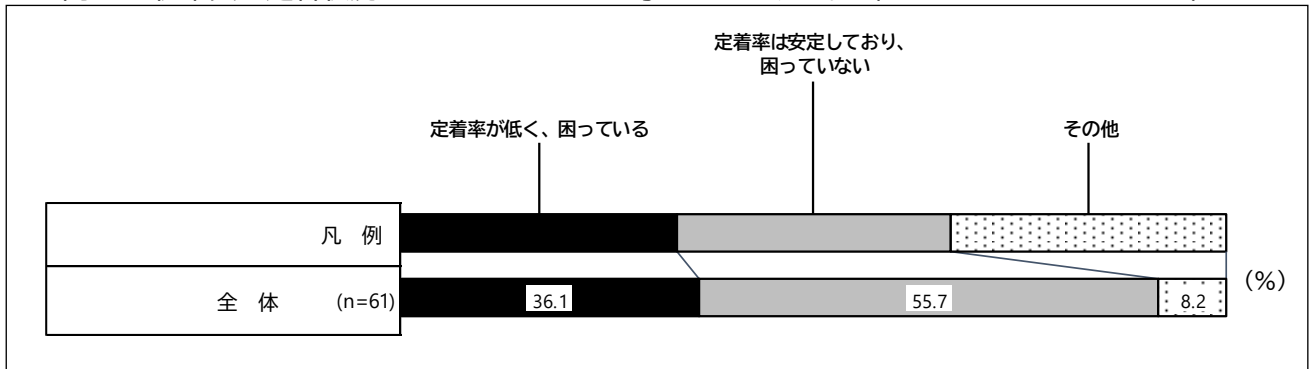
従業員の主な離職理由について、「収入の問題(賃金に対する不満)」が41.0%と最も多く、次いで「精神的な不調」が36.1%、「身体的な不調」が32.8%となっています。

問10 従業員が不足し、充足しない場合、どのように対応していますか。
 (あてはまるものすべてに○)



従業員が不足し、充足しない場合の対応について、「法人内の他の事業所から配置転換している」が31.1%と最も多く、次いで「職員配置基準を守るため、サービス利用者を減らしている」が24.6%、「人材派遣会社に職員派遣を依頼している」が16.4%となっています。

問11 従業員の定着状況についてどのように考えていますか。(あてはまるもの1つに○)



従業員の定着状況への考えについて、「定着率は安定しており、困っていない」が55.7%と最も多く、次いで「定着率が低く、困っている」が36.1%となっています。

問 12 従業員の離職防止や定着促進を図るために、どのような取り組みを行っていますか。また、その取り組みのなかで、効果があったと思われるものに○を記入してください。

◆「問 12-① 離職防止、定着促進の取り組み」（あてはまるものすべてに○）

		(%)										
	n	の休暇の取 りやすい 職場環境 の充実を 図っている	の職場内 コミュニ ケーション の円滑化 を図って いる	に本人の 希望に 応じた 勤務体 制にする 等労働 条件の 改善に 取り組 んでいる	業務改善 や効率 化など 働き方 の改善 を進め ている	の非正規 職員の 割合を 減らす ための 施策を 図って いる	社内研修 、外部 研修な ど能力 向上の 機会を 設けて いる	資格取 得への 支援を 推進し ている	賃金・休 日など の労働 条件を 改善し ている	出産、 子育て 、家族 等への 支援な どの制 度を充 実させ ている	キャリア アップ に必要 なスキル の習得 を支援 している	不満や 悩みな どの相 談窓口 を設け ている
全 体	61	68.9	65.6	60.7	47.5	44.3	44.3	41.0	39.3	32.8	31.1	31.1
	n	能力等 を評価 している 、配置 や処遇 に反映 している	内勤・外 勤など の交流 を促進 している	福利厚 生の充 実させ ている	健康管 理など の充実 を図っ ている	導入に よるた り、ICT 等の特 長を活 かして いる	その他					
全 体	61	29.5	26.2	21.3	6.6	-						

離職防止、定着促進の取り組みについて、「休暇の取りやすい職場環境の充実を図っている」が68.9%と最も多く、次いで「職場内コミュニケーションの円滑化を図っている」が65.6%、「本人の希望に応じた勤務体制にする等労働条件の改善に取り組んでいる」が60.7%となっています。

◆「問12-② 効果があった取り組み」（上位3つまでに○）

		(%)											
	n	の休暇の取りやすい職場環境の充実を図っている	に本人の希望に応じた勤務体制にする等労働条件の改善に取り組んでいる	の職場内コミュニケーションの円滑化を図っている	賃金・休日などの労働条件を改善している	支援などの制度を充実させている	出産、子育て、家族等への力開発の機会を設けている	社内研修、外部研修など能力向上の機会を設けている	業務改善や効率化など働きやすい職場づくりを行っている	介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場づくりを行っている	不満や悩みなどの相談窓口を設けている	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	資格取得への支援を推進している
全体	61	41.0	36.1	29.5	19.7	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	6.6	6.6	
	n	内福厚生を充実させ、職場などの交流や職員の健康管理に努めている	能力等を評価し、配置や処遇に反映している	キャリアに応じた給与体系を整備している	特に取り組みは行っていない	その他	無回答						
全体	61	6.6	4.9	3.3	6.6	4.9	1.6						

効果があった取り組みについて、「休暇の取りやすい職場環境の充実を図っている」が41.0%と最も多く、次いで「本人の希望に応じた勤務体制にする等労働条件の改善に取り組んでいる」が36.1%、「職場内コミュニケーションの円滑化を図っている」が29.5%となっています。

問13 介護人材不足に対し、行政（国・県・市）に望むことは何ですか。

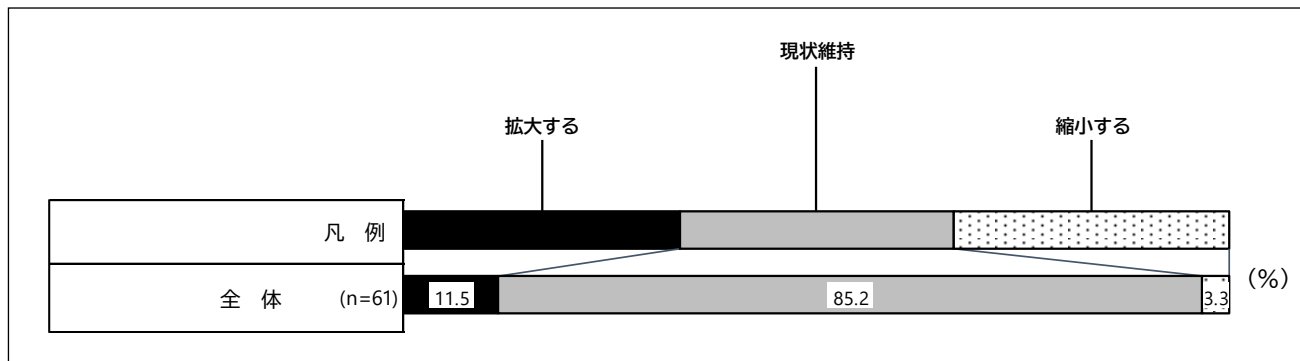
（あてはまるものすべてに○）

		(%)										
	n	賃金水準の向上支援	介護業界のイメージアップや就職促進の取り組み	勤務条件の改善支援	求職者と事業所のマッチング支援	職員研修メニューの充実（資質の向上）	ロボット等の介護機器の導入支援	外国人介護人材の受け入れ支援	その他	特になし	無回答	
全体	61	88.5	45.9	42.6	37.7	19.7	19.7	11.5	6.6	4.9	1.6	

介護人材不足に対し、行政（国・県・市）に望むことについて、「賃金水準の向上支援」が88.5%と最も多く、次いで「介護業界のイメージアップや就職促進の取り組み」が45.9%、「勤務条件の改善支援」が42.6%となっています。

4 今後の事業所運営等について

問 14 貴事業所の今後の事業展開の方向性（事業規模や人員など）をどのように考えていますか。
（あてはまるもの1つに○）



今後の事業展開の方向性について、「現状維持」が85.2%と最も多く、次いで「拡大する」が11.5%、「縮小する」が3.3%となっています。

問 15 【問 14 で、「1. 拡大する」と回答した事業者に伺います。】

提供サービスを増やす意向がある場合、そのサービスの内容についてご記入ください。

サービスの種類	開始（予定）年月日	定員数
居宅介護支援	無回答	9名
訪問介護	令和10年4月	60名
居宅介護支援事業所の大規模化	無回答	無回答
訪問介護	令和8年5月	46名
居宅介護支援事業所の人員拡大	無回答	2名
グループホーム	無回答	18名


第6章

資料編

資料編

1 アンケート調査票

(1) 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査



※本アンケートはパソコンやスマートフォンなどからもご回答いただけます。こちらの二次元コードを読み取りいただくか、下記URLにて回答画面を開き、左のWEBIDを入力したうえで、ご回答ください。
<https://logoform.jp/form/yL3H/1309914>

《第10期》介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

調査協力のお願い

皆様は、日頃から介護保険行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

塩崎市では高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定し、「いつまでも自分らしく安心して暮らせるまち」を基本理念に掲げて、さまざまな施策に取り組んでいます。その計画の見直しを令和8年度に予定しており、このたび地域の課題や高齢者の皆様の要望（二一ズ）等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。

この調査は、塩崎市にお住まいの要介護認定を受けていない65歳以上の方の中から無作為に抽出した2,480名の方を対象としています。

なお、ご記入いただいた内容は、大切な個人情報であるという認識にたち、個人情報の保護に関する法律等に基づき適正に取り扱うとともに、前述の目的のみに使用します。大変お忙しいとは存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

令和7年12月

ご記入にあたってのお願い

- この調査の対象となる方は、市内にお住まいで、令和7年11月1日現在65歳以上で要介護1～5以外の方です。
- ご回答にあたっては表紙に記載の「あて名のご本人」についてお答えいただけますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
- ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は数字を記入ください。
- この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
 介護…介護保険サービスを受けている場合、または認定を受けていない場合においても常時ご家族などの援助を受けている状態
 介護…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒に入れ、**12月26日(金)まで**郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

塩崎市 福祉子ども未来部 高齢福祉課

〒985-0052 塩崎市本町1番1号 市番館庁舎1階 電話：022-364-1204

● 調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

- あて名のご本人が記入
- ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄）
- その他

調査対象者（あて名のご本人）についてお伺いします。以下、あなた=あて名のご本人として回答してください。

問1 あなたのご家族や生活状況について

Q1 家族構成をお教えください（○は1つ）

1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	4. 息子・娘との2世帯
5. その他（ ）	

Q2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（○は1つ）

1. 介護・介助は必要ない⇒[Q3△]
 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない⇒[Q2-1△]
 3. 現在、何らかの介護を受けている⇒[Q2-1、Q2-2△]
 （介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

Q2-1 Q2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方に伺います。介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（○はいくつでも）

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	2. 心臓病	
3. がん（悪性新生物）	4. 呼吸器の病気（肺炎・喘息等）	
5. 関節の病気（リウマチ等）	6. 認知症（アルツハイマー病等）	
7. パーキンソン病	8. 糖尿病	9. 腎疾患（透析）
10. 視覚・聴覚障害	11. 骨折・転倒	12. 腎臓損傷
13. 高齢による衰弱	14. その他（ ）	15. 不明

Q2-2 Q2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方に伺います。主にどなたの介護・介助を受けていますか（○はいくつでも）

1. 配偶者・妻	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他（ ）	

Q3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（○は1つ）

1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

Q4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（○は1つ）

1. 持家（一戸建て）	2. 持家（集合住宅）
3. 公営賃貸住宅	4. 民間賃貸住宅（一戸建て）
5. 民間賃貸住宅（集合住宅）	6. 借家
7. その他（ ）	

問2 からだを動かすことについて

Q1 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか（○は1つ）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

Q2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（○は1つ）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

Q3 15分位続けて歩いていますか（○は1つ）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

Q4 過去1年間に転んだ経験がありますか（○は1つ）

1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない
----------	---------	-------

Q5 転倒に対する不安は大きいですか（○は1つ）

1. とても不安である	2. やや不安である	3. あまり不安でない	4. 不安でない
-------------	------------	-------------	----------

Q6 週に1回以上は外出していますか（○は1つ）

1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2～4回	4. 週5回以上
--------------	--------	----------	----------

Q7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（○は1つ）

1. とても減っている	2. 減っている	3. あまり減っていない	4. 減っていない
-------------	----------	--------------	-----------

Q8 外出を控えていますか（○は1つ）

1. はい⇒[Q8-1△]	2. いいえ⇒[Q9△]
---------------	--------------

Q8-1 Q8で「1. はい」(外出を控えている)と回答した方に伺います。外出を控えている理由は、次のどれですか（○はいくつでも）

1. 病気	2. 障害（脳卒中の後遺症など）
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配(失禁など)
5. 耳の障害（聞こえの問題など）	6. 目の障害
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない	10. その他（ ）

Q9 外出する際の移動手段は何ですか（○はいくつでも）

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自動車（自分で運転）	5. 自動車(人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす
10. 電動車いす(カート)	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー
13. その他（ ）		

問3 食べることにについて

Q1 身長・体重（数字を記入）

1. 身長 _____ cm	2. 体重 _____ kg
----------------	----------------

Q2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（○は1つ）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q3 お茶や汁物等でむせることがありますか（○は1つ）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q4 口の渇きが気になりますか（○は1つ）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（○は1つ）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください（○は1つ）（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

Q6-1 噛み合わせは良いですか（○は1つ）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q6-2 Q6で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方に伺います。毎日入れ歯の手入れをしていますか（○は1つ）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（○は1つ）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q8 どなたかと食事をとる機会がありますか（○は1つ）

1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

問4 毎日の生活について

- Q1 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- Q2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- Q3 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- Q4 バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○は1つ)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- Q5 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つ)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- Q6 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- Q7 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つ)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- Q8 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は1つ)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- Q9 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- Q10 新聞を読んでいますか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- Q11 本や雑誌を読んでいますか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- Q12 健康についての記事や番組に関心がありますか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- Q13 友人の家を訪ねていますか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- Q14 家族や友人の相談にのっていますか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ

- Q15 病人を見舞うことができますか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- Q16 若い人に自分から話しかけることがありますか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- Q17 趣味はありますか (○は1つ)
1. 趣味あり → (具体的に)
2. 思いつかない
- Q18 生きがいはありますか (○は1つ)
1. 生きがいあり → (具体的に)
2. 思いつかない

問5 地域での活動について

Q1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※① - ⑧ それぞれに回答してください (それぞれ○は1つ)

	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加したことがない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤健康体操・サロンなどの通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

- Q2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (○は1つ)
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している
- Q3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営 (お世話役) として参加してみたいと思いますか (○は1つ)
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問6 就労について

- Q1 現在のあなたの就労状態はどれですか (○はいくつでも)
1. 働に就いたことがない 2. 引退した 3. 常勤 (フルタイム)
4. 非常勤 (パート・アルバイト等) 5. 自営業 6. 求職中
7. その他
- Q1-1 Q1で「2. 引退した」と回答した方に伺います
あなたはいつ引退しましたか (○は1つ)
1. 昭和 年 2. 平成 年 3. 令和 年

問7 たすけあいについて

- Q1 あなたの心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてくれる人 (○はいくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他 () 8. そのような人はいない
- Q2 反対に、あなたが心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてあげる人 (○はいくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他 () 8. そのような人はいない
- Q3 あなたが病気が数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (○はいくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他 () 8. そのような人はいない
- Q4 反対に、あなたが看病や世話をしてくれる人 (○はいくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他 () 8. そのような人はいない
- Q5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (○はいくつでも)
1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員
3. クアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師
5. 地域包括支援センター・役所・役場 6. その他 ()
7. そのような人はいない

- Q6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○は1つ)
1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない
- Q7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか (○は1つ)
同じ人には何回会っても1人と数えることとします
1. 0人 (いない) 2. 1~2人 3. 3~5人
4. 6~9人 5. 10人以上
- Q8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (○はいくつでも)
1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人
7. その他 () 8. いない

問8 健康について

- Q1 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)
1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない
- Q2 あなたは、現在の程度幸せですか (○は1つ)
('とても不幸' を0点、'とても幸せ' を10点として、ご記入ください)
とても不幸 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 とても幸せ
- Q3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- Q4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しい感じがよくありましたか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- Q5 お酒は飲みますか (○は1つ)
1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない
- Q6 タバコは吸っていますか (○は1つ)
1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

Q7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (〇はいくつでも)

- 1. ない 2. 高血圧
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病
5. 糖尿病 6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) 8. 腎臓・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
11. 外傷 (転倒・骨折等) 12. がん (悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気 14. うつ病
15. 認知症 (アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病
17. 目の病気 18. 耳の病気
19. その他 ()

Q8 かかりつけの病院や医師はいますか。(〇は1つ)

- 1. ある 2. ない

Q9 万が一の場合、看取りの場所はどこがいいですか。(〇は1つ)

- 1. 自宅 2. 病院
3. 施設 4. わからない

問9 認知症について

Q1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (〇は1つ)

- 1. はい 2. いいえ

Q2 認知症に関する相談窓口を知っていますか (〇は1つ)

- 1. はい 2. いいえ

Q3 あなたが認知症について知りたい項目は何ですか (〇はいくつでも)

- 1. 認知症に関する相談先 2. 認知症の診断や治療の受診先
3. 認知症の治療に関する情報 4. 認知症の症状に関する情報
5. 認知症の予防に効果的な方法 6. 認知症の兆候を早期に見出す方法
7. 認知症の人の介護の仕方 8. 認知症の人や家族を支える地域の活動
9. その他 () 10. 特にない

Q4 あなたは、認知症に関する情報を何らかん入手していますか。(〇はいくつでも)

- 1. テレビ、ラジオ、新聞等 2. 認知症に関する書籍
3. 友人・知人 4. 市の啓発パンフレットや広報
5. 医療機関 (医師、看護師) 6. 市役所 (高齢福祉課)
7. 地域包括支援センター 8. ケアマネジャー
9. 民生委員・児童委員 10. インターネットやLINEなどのSNS
11. その他 () 12. 特にない

Q5 あなたは、あなた自身やご家族が認知症について心配になった時、どこに相談しますか (〇はいくつでも)

- 1. 市役所 (高齢福祉課) 2. 地域包括支援センター
3. かかりつけ医 4. 認知症疾患医療センター
5. 民生委員・児童委員 6. ケアマネジャー
7. 知人・友人 8. 認知症カフェ
9. 家族の集い (オレンジリングメイト) 10. その他 ()

※認知症とは、色々な原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態 (およそ6か月以上継続) を指します。

問10 塩竈市の介護事業について

Q1 あなたご自身が、今後、介護が必要になった場合 (要支援から要介護になった場合も含む)、どのようにしたいとお考えですか。(〇は1つ)

- 1. 自宅で、家族や親族の世話などを受けて生活したい
2. 自宅で、訪問介護やデイサービスなどの在宅サービスを利用しながら生活したい
3. 介護サービスの付いている住まいや有料老人ホーム、グループホームなどの施設に入所したい
4. 特別介護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい
5. わからない

※有料老人ホーム……下記以外の施設。入浴や排泄、食事の介護や提供、その他生活上の便宜を供与する施設
※グループホーム……認知症の状態にある高齢者などが、食事、入浴、排せつなどの日常生活上の支援を受けながら共同生活する住居
※特別介護老人ホーム……薄たきりや認知症などで常に介護を必要とし、自宅で生活が難しい高齢者を介護する施設
※老人保健施設……症状が安定し、家庭に暮らすことができるように、看護、介護、機能訓練を通じて日常生活での自立をお手伝いする入所施設

Q2 塩竈市には、高齢者の生活に関する総合相談や介護予防の支援を行う拠点として「地域包括支援センター」が5か所設置されています。あなたは、「地域包括支援センター」について知っていますか (〇は1つ)

- 1. 知っているし、利用したことがある 2. 知っているが、利用したことがない
3. 名前を聞いたことがある程度 4. よく知らない、聞いたこともない

※ 地域包括支援センターは、高齢者やご家族の負担からのおまごまご相談に応じています。なお、各地域包括支援センターの連絡先等については下記のとおりです。
▶西部地域地域包括支援センター (塩竈市清水沢一丁目12番2号 電話 022-367-0414)
▶南部・東部地域地域包括支援センター (塩竈市東玉川町5番5号 電話 022-290-7185)
▶北部1地域地域包括支援センター (塩竈市北浜四丁目6番52号 電話 022-361-3922)
▶北部2地域地域包括支援センター (塩竈市東塚304番地6 電話 022-362-1911)
▶瀬戸地域地域包括支援センター (塩竈市瀬戸々島字河岸50 瀬戸諸島開発総合センター内 電話 022-361-2931)

Q3 塩竈市で行っている次のサービスの中で、あなた (あて名ご本人) が、今後サービスを必要とする場合、利用したいと思うものを答えてください (〇はいくつでも) ※サービスによっては、利用条件があり、料金の一部または全部の自己負担が生じます。

- 1. 週1~2回の配食サービスの助成
2. 見守りサービスの設置費や月額料金 (3か月分) の助成
3. 地域の集会所などを会場とした通いの場 (サークルや教室など)
4. 介護老人ホームなどへの短期宿泊
5. 在宅で介護する家族への紙おむつなどの給付サービス (要介護3以上対象)
6. リフト付タクシーチケットの給付サービス (要介護3以上対象)
7. 認知症の高齢者が行方不明時、早期発見するSOSネットワークサービス
8. 認知症の高齢者が保護された際、早期に身元を判明させるQRコードシール (※)
9. グループでの外出支援を行ういきいきシルバー等の運行
10. 災害時における避難支援を迅速かつ円滑に受けるための避難行動要支援者台帳登録
11. 救急搬送時、救急隊員がいち早く情報を確認し、迅速な対応ができるようにする救急医療情報キット配布

※QRコードは (株) テンソーエープの登録商標です。

Q4 市では、独自に次の事業を行っており、特に継続した方がよいと思う事業はどれですか。(〇は3つまで)

- 1. 在宅で介護する家族への紙おむつなどの給付サービス (要介護3以上対象。課税世帯月額1,500円上限、非課税世帯月額3,000円上限)
2. 長寿祝金や敬老金の支給 (100歳:5万円 88歳:5千円)
3. リフト付タクシーチケットの給付サービス (要介護3以上対象。1か月3枚 (820円×3枚) の利用券)
4. 見守りサービスの契約にかかる設置費や月額料金 (3か月分) の助成 (設置費の助成限度額15,000円、月額料金の助成限度額3,000円/月)
5. 週1~2回の配食サービスの助成
6. 生活援助員の配置とセンサー等による見守りシステムを設置した、自立生活可能な高齢者用の専用住宅であるシルバーハウジング住宅
7. 65歳以上で、要介護4・5の認定を受けているにもかかわらず、1年以上、介護保険サービスを利用しないで、常に在宅介護をする方を対象に支給する家族介護型介護給付金 (支給額:10万円)
8. 特にない

事業の詳細は、令和6年4月に全戸配布した「介護保険高齢者支援ガイドブック」に記載されています。

問11 介護予防について

Q1 あなたは、普段から介護予防のためにご自身の健康維持・増進を意識し取り組んでいることがありますか。(〇は1つ)

- 1. 取り組んでいることがある (Q2へ) 2. 取り組んでいないが始めようと思っている
3. 取り組んでいないし予定もない

Q2 Q1で「1. 取り組んでいることがある」と回答した方に伺います。取り組むこととなった主なきっかけはなんですか。(〇はいくつでも)

- 1. 家族のアドバイスや一言 2. 友人・知人からのアドバイスや一言
3. 隣近所の人からのアドバイスや一言 4. 市の広報紙や回覧板等の情報から
5. 医師等の専門家からの指導や助言 6. 具体的に症状が現れたので
7. 検査の結果が気になって 8. 新聞、テレビ、インターネットなどの情報から
9. 以前からの習慣で、自発的に 10. その他 ()

Q3 あなたは、フレイルという言葉を知っていましたか (〇は1つ)

- 1. 言葉の意味内容もきめて知っていた
2. 言葉の意味内容までは分からないが、聞いたことはあった
3. 知らなかった

※フレイルとは、加齢により体や心のたつき、社会的つながりなどが弱くなった状態をいいます。そのまま放置すると要介護状態になる可能性があります。「早め気づいて改善」をすれば、フレイルの進行を防ぎ、健康状態に戻ることができます。

問12 自由意見

◎ 介護サービス等について、ご意見やご希望などがありましたら、ご自由にお書きください。


Empty box for free comments.

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
12月26日(金)までに郵便ポストへご投函ください。

(2) 在宅介護実態調査

※本アンケートはパソコンやスマートフォンなどからもご回答いただけます。こちらの二次元コードを読み取っていただくか、下記URLにて回答画面を開き、左のWEB 回答用 ID)を入力したうえで、ご回答ください。

https://logoform.jp/form/yL3H/1309917



＜第10期＞在宅介護実態調査

調査協力のお願い

皆様は、日頃から介護保険行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

塩竈市は、「いつまでも 自分らしく 安心して 暮らせるまち」を基本理念に据えて、さまざまな施策に取り組んでおり、令和8年度には高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画策定を予定しています。

このため、塩竈市にお住まいで、令和7年11月1日現在65歳以上の要介護・要支援認定者（以下「要介護者」という。）及びその介護者を対象とするアンケートを実施することとなりました。

本調査で得られた情報は、高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画策定及び効果評価の目的にのみ使用します。また、当該情報は個人情報の保護に関する法律等に則り塩竈市で慎重かつ適正に管理します。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

令和7年12月

ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒に入れ、**12月26日（金）までに** 郵便ポストへご投函ください。

＜この調査に関するお問い合わせ先＞

塩竈市 福祉子ども未来部 高齢福祉課
〒985-0052 塩竈市本町1番1号 各番部庁舎1階
電話：022-364-1204

1

2

ご記入にあたってのお願い

- この調査は、要介護者ご本人及び主な介護者の方についてお答えいただくアンケートです。各設問には、**令和7年12月**の状況でご回答ください。
- 回答は、選択肢に○を付けていただく場合と、記述していただく場合があります。回答は、設問ごとに示している指示に従ってください。
- 選択された回答によっては、次に進む設問が異なる場合があります。特にことわりのない場合は次の設問に、ことわり書きや矢印がある場合は指示に従い、次へお進みください。

◆ **回答記入例**

問4 主な介護者の方の性別はどちらですか。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

◆ **個人情報（要介護認定データ）の利用について**

ご回答いただいた内容は、塩竈市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の立案と施策検討の基礎資料としてのみ利用いたします。その際に、要介護認定データ（認定調査や認定結果のデータ）を活用させていただくことがございます。本人の許可なく、目的以外の使用はいたしません。また、当該情報は個人情報の保護に関する法律等に則り塩竈市で慎重かつ適正に管理します。

本調査票のご返送をもちまして、ご同意いただいたものとさせていただきますのでご了承ください。

※ここから調査票の回答をお願いします。

調査票（A） 調査対象者本人について伺います。

※調査対象者ご本人のことについて、ご本人または代理の方がご回答・ご記入をお願いします。
【選択する問題は該当する選択肢の番号を○（まる）で読み、記入問題は記入欄に入ります。】

問A 現在、この調査票に回答されているのはどなたですか。(○はいくつでも)

1. あて名のご本人（要介護者）	2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族	4. 担当ケアマネジャー
5. その他（ ）	

I ご本人（要介護者）の状況について

問1 世帯類型はどれに該当しますか。(○は1つ)

1. 単身世帯	2. 夫婦のみ世帯	3. その他（ ）
---------	-----------	-----------

問2 家族や親族の方から介護してもらう日は、週にどのくらいありますか。(○は1つ)
(同居していない子どもや親族の方等からの介護も含みます。)

1. ない⇒ 問8へ	} 問3～7へ
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない	
3. 週に1～2日ある	
4. 週に3～4日ある	
5. ほぼ毎日ある	

II 主な介護者等の状況（属性等）について

問3 主な介護者の方は、ご本人（要介護者）から見てどなたになりますか。(○は1つ)

1. 配偶者	2. 子	3. 子の配偶者
4. 孫	5. 兄弟・姉妹	6. その他（ ）

問4 主な介護者の方の性別はどちらですか。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問5 主な介護者の方の年齢はどれに該当しますか。(○は1つ)

1. 20歳未満	2. 20～29歳	3. 30～39歳
4. 40～49歳	5. 50～59歳	6. 60～69歳
7. 70～79歳	8. 80歳以上	9. わからない

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等はどれですか。(○はいくつでも)

【身体介護】

1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助（食べる時）	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ（洗髪・歯磨き等）	6. 衣服の着脱
7. 屋内での移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬	10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	

【生活援助】

12. 食事の準備（調理等）
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）
14. 金銭管理や生活面に必要な手続き

【その他】

15. その他（ ）
16. わからない

問7 ご家族や親族の方で、ご本人（要介護者）の介護のために、過去1年の間に仕事を辞めた方・転職された方はいますか。(○はいくつでも)
(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。)

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※自営業や農林水産業の仕事を辞めた・転職した場合も含まれます。

III 支援・サービス・訪問診療の利用状況・ニーズについて

問8 現在、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、何をご利用していますか。(○はいくつでも)

1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）	5. ゴミ出し	6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉バス等）	8. 見守り、声かけ	9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他（ ）	11. 利用していない	

3

4

問9 在宅生活を今後も続けていくためには、どの支援・サービス※(現在利用中を含む)が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)	5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院、買い物など)
7. 移送サービス(介護・福祉社等)	8. 見守り、声かけ	9. 定期的な通いの場(サークルや教室など)
10. その他 ⇒「問9-1」	11. 特になし	

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含まれます。

問9-1 問9で「10. その他」と回答した方に伺います。どのようなサービスですか。(〇は3つまで)

1. ペットの散歩	2. 行政や民間サービスの手続き代行	3. 金銭管理
4. 訪問理美容	5. 薬の管理	6. ゴミの分別
7. 機器等の修理	8. 庭の手入れ	9. 市団干し
10. 花や木の水やり	11. 生活の相談	12. 除雪
13. 電球交換	14. その他()	

問9-2 問9で回答いただいた支援・サービスのうち、最も必要だと思うものを1つだけ教えてください。(〇は1つ)

1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)	5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院、買い物など)
7. 移送サービス(介護・福祉社等)	8. 見守り、声かけ	9. 定期的な通いの場(サークルや教室など)
10. その他	11. 特になし	

問10 現時点において、施設等※への入所・入居を検討されていますか。(〇は1つ)

1. 入所・入居を検討していない	2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている	

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(〇は1つ)

1. 利用している⇒「問14へ」	2. 利用していない⇒「問13-1へ」
------------------	---------------------

問13-1 介護保険サービスを「利用していない」方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人(要介護者)にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを利用したいが手続きや利用方法が分からない
9. その他()

問14 市では、次のサービスを行っています。ご本人(要介護者)が、利用したいと思うサービスをお答えください。(〇はいくつでも)

※サービスによっては、利用条件があり、料金の一部または全部の自己負担が生じます。

1. 週1~2回の配食サービスの助成
2. 見守りサービスの設置費や月額料金(3か月分)の助成
3. 地域の集会所などを会場とした通いの場(サークルや教室など)
4. 介護老人ホームなどへの短期宿泊
5. 在宅で介護する家族への紙おむつなどの給付サービス(要介護3以上対象)
6. リフト付タクシーチケットの給付サービス(要介護3以上対象)
7. 認知症の高齢者が行方不明時、早期発見するSOSネットワークサービス
8. 認知症の高齢者が保護された際、早期に身元を判明させるQRコードシール(※)
9. グループでの外出支援を行ういきいきシルバー号の運行
10. 災害時における避難支援を迅速かつ円滑に受けるための避難行動要支援者台帳登録
11. 救急搬送時、救急隊員がいち早く情報を確認し、迅速な対応ができるようにする救急医療情報キット配布

※QRコードは(株)デンソーエープの登録商標です。

問15 市では、独自に次の事業を行っております。特に継続した方がよいと思う事業はどれですか。(〇は3つまで)

1. 在宅で介護する家族への紙おむつなどの給付サービス(要介護3以上対象、課税世帯月額1,500円上限、非課税世帯月額3,000円上限)
2. 長寿祝金や敬老金の支給(100歳：5万円 88歳：5千円)
3. リフト付タクシーチケットの給付サービス(要介護3以上対象、1か月3枚(820円×3枚)の利用券)
4. 見守りサービスの契約にかかる設置費や月額料金(3か月分)の助成(設置費の助成限度額15,000円、月額料金の助成限度額3,000円/月)
5. 週1~2回の配食サービスの助成
6. 生活援助員の配置とセンサー等による見守りシステムを設置した、自立生活可能な高齢者用の専用住宅であるシルバーハウジング住宅
7. 65歳以上で、要介護4・5の認定を受けているにもかかわらず、1年以上、介護保険サービスを利用しないで、常に在宅介護をする方を対象に支給する家族介護型助成金支給事業(支給額：10万円)
8. 特になし

事業の詳細は、令和6年4月に全戸配布しました「介護保険高齢者支援ガイドブック」に記載されています。

問16 かかりつけの病院や医師はいますか。(〇は1つ)

1. いる	2. ない
-------	-------

問17 万が一の場合、看取りの場所はどこがいいですか。(〇は1つ)

1. 自宅	2. 病院
3. 施設	4. わからない

ご本人への調査は以上です。ご協力ありがとうございます。

主な介護者(ご本人を主に介護している方)がいる場合は、『調査票(B)』(次のページ)へおすすすみてください。

調査票（B） 主な介護者(介護している方)について伺います。

※ここからは、「主な介護者」の方がご回答ください。「主な介護者」の方のご回答が難しい場合は、ご本人（要介護者）が記入されるか、無回答で結構です。

IV 主な介護者の就労状況について

問 18 主な介護者の方の現在の勤務形態はどれに該当しますか。(〇は1つ)

- 1. フルタイムで働いている
- 2. パートタイムで働いている
- 3. 働いていない
- 4. わからない

問 18-1 1～3へ

問 18-2 3～4へ

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問 18-1 問 18 で「1. フルタイムで働いている」または「2. パートタイムで働いている」(フルタイムまたはパートタイムで働いている)と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。

(〇はいくつでも)

- 1. 特に調整していない
- 2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、選出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
- 3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
- 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
- 6. わからない

問 18-2 問 18 で「1. フルタイムで働いている」または「2. パートタイムで働いている」(フルタイムまたはパートタイムで働いている)と回答した方にお伺いします。仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援はどれですか。(〇は3つまで)

- 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 3. 制度を利用しやすい職場づくり
- 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
- 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
- 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 8. 介護をしている従業員への経済的な支援
- 9. その他()
- 10. 特になし
- 11. わからない

問 18-3 問 18 で「1. フルタイムで働いている」または「2. パートタイムで働いている」(フルタイムまたはパートタイムで働いている)と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(〇は1つ)

- 1. 問題なく、続けていける
- 2. 問題はあるが、何とか続けていける
- 3. 続けていくのは、やや難しい
- 4. 続けていくのは、かなり難しい
- 5. わからない

V 介護生活が続ける際の不安や困りごと

問 19 (在宅生活を送る要介護者を介護している)現在の生活を今後も続けていくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等はどれですか。(〇は3つまで)(現在行っているかどうかは問いません。)

- 【**身体介護**】
- 1. 日中の排泄
 - 2. 夜間の排泄
 - 3. 食事の介助(食べるとき)
 - 4. 入浴・洗身
 - 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
 - 6. 衣服の着脱
 - 7. 屋内での移乗・移動
 - 8. 外出の付き添い、送迎等
 - 9. 服薬
 - 10. 認知症への対応
 - 11. 医療面での対応(経営栄養、ストーマ等)
- 【**生活援助**】
- 12. 食事の準備(調理等)
 - 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
 - 14. 金銭管理や生活面に必要な手続き
- 【**その他**】
- 15. その他()
 - 16. 不安に感じていることは、特になし
 - 17. わからない

問 20 介護する上で、あなた自身のことで困ったことや、悩んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

- 1. 自分の心と体の健康
- 2. 介護疲れやストレス
- 3. 介護と仕事の両立
- 4. 世間体に対するストレス
- 5. 自分の将来が不安
- 6. 自分亡き後の不安
- 7. 自分の代わりに介護者がいない
- 8. 介護保険サービスを利用しても、自分の負担が軽くない
- 9. 社会参加ができない
- 10. 自分自身の時間がとれない
- 11. 相談する人がいない
- 12. 困っていることや悩んでいることは特になし

問 21 介護する上で、お世話をしている方のことで困ったことや、悩んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

- 1. 認知症の人の接し方
- 2. お世話をしている方の性格や言動
- 3. お世話が必要なことについて本人の自覚がない
- 4. お世話が必要な方の状態悪化
- 5. お世話が必要な方自身の将来
- 6. 性別が異なる相手のお世話
- 7. 困っていることや悩んでいることは特になし

◎ 介護サービス等について、ご意見やご希望などがありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
12月26日(金)までに郵便ポストへご投函ください。

(3) 若年者調査

※本アンケートはパソコンやスマートフォンなどからもご回答いただけます。こちらの二次元コードを読み取ってください。下記URLにて調査票を閲覧し、左の「WEB 回答用 ID」を入力したうえで、ご回答ください。

<https://logoform.jp/form/yL3H/1309921>

《第10期》若年者調査

調査協力をお願い

皆様には、日頃から介護保険行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

塩崎市では高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定し、「いつまでも自分らしく安心して暮らせるまち」を基本理念に据えて、さまざまな施策に取り組んでいます。その計画の見直しを令和8年度に予定しており、このたび市民の皆様から健康づくりや福祉・介護に関して、ご意見を伺うことにいたしました。

この調査は、令和7年11月1日現在、塩崎市にお住まいの40歳から64歳の方から無作為に抽出した650名の方を対象としています。

本調査で得られた情報は、高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画策定及び効果評価の目的のみに使用します。また、当該情報は個人情報に関する法律等に関り塩崎市で慎重かつ適正に管理します。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

令和7年12月

ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒に入れ、
12月26日（金）までに 郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

塩崎市 福祉子ども未来部 高齢福祉課
 〒985-0052 塩崎市本町1番1号 若番館庁舎1階
 電話：022-364-1204

ご記入にあたってのお願い

- この調査の対象となる方は、市内にお住まいで、令和7年11月1日現在40歳から64歳の方です。
- 回答は、選択肢に○を付けていただく場合と、記述していただく場合があります。回答は、設問ごとに示している指示に従ってください。
- 選択された回答によっては、次に進む設問が異なる場合があります。特にことわりのない場合は次の設問に、ことわり書きや矢印がある場合は、指示に従い、次へお進みください。

I あなたご自身についてお伺いします

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

1. 40歳～44歳	2. 45歳～49歳	3. 50歳～54歳
4. 55歳～59歳	5. 60歳～64歳	

II 健康の状況についてお伺いします

問3 あなたの健康の状況はいかがですか。(○は1つ)

1. とても良好である	2. まあ良好である	3. ふつう
4. あまり良好ではない	5. 全く良好ではない	

問4 あなたが、健康のために気をつけていることはありますか。(○はいくつでも)

1. 年に1回程度、健診を受けている	2. 食事や栄養に気を付けている
3. 適度な運動を心がけている	4. 十分な睡眠や休息をとっている
5. 歯科健診や歯磨きなどを心がけている	6. 禁煙・節煙を心がけている
7. 禁酒やお酒を飲みすぎないよう心がけている	8. 規則正しいリズムで生活している
9. 家族や友人とのふれあいを大切にしている	10. 仕事や趣味などで生きがいを持っている
11. 特になし	12. その他 ()

1

問5 あなたは、かかりつけの病院や医師がいますか。(○は1つ)

1. いる	2. いない
-------	--------

問6 あなたは、治療中の生活習慣病はありますか。(○はいくつでも)

1. 糖尿病	2. 脳質異常症(中性脂肪、コレステロール値多)
3. 心臓病	4. 肥満
5. 高血圧	6. 心疾患
7. 脳血管疾患(脳梗塞、脳出血)	8. どれもなし
9. その他 ()	

III 介護保険制度についてお伺いします

問7 介護保険制度やサービスには、次のようなものがあります。あなたが、知っているものはどれですか。(○はいくつでも)

1. 介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支える制度である
2. 介護保険加入者は第1号被保険者(65歳以上)と第2号被保険者(40歳～64歳)である
3. 第1号被保険者(65歳以上)の保険料の納入は、年金から天引きされるが、納付書または口座振替で納める
4. 介護保険によるサービスを受けるためには要介護認定を受けて、要支援1以上と判定されなければならない
5. 65歳以上の方は簡易なチェックリストで必要だと判断されれば、認定を受けずにある程度サービスを利用できる(※介護予防・日常生活支援総合事業という)
6. 要介護度ごとに、利用できるサービスや、利用金額に上限がある
7. 40歳から64歳までの方は、特定の病状により介護が必要となった場合のみサービスを受けられる
8. サービスの利用には、1割から3割の自己負担が必要である
9. サービスには、施設などに入所するものと、自宅でサービスを利用するものがある
10. 介護保険料は、市全体における介護サービスの利用状況に応じて決まる
11. 介護保険料を滞納すると、滞納期間別にペナルティの措置がある
12. 知っていることはない

問8 あなたは、介護保険制度を全体としてどのように評価していますか。(○は1つ)

1. とても評価している	2. やや評価している	3. ふつう
4. あまり評価していない	5. まったく評価していない	6. わからない

問9 介護保険制度の内容などを、皆さんによく知っていただくためには、どのような方法がよいと思いますか。(○は2つまで)

1. 広報紙などで説明する
2. 介護保険のニュースやパンフレットなどを作る
3. 地区懇談会などを開催して説明する
4. シンポジウムなどイベントを開催する
5. インターネットで検索できるようにする
6. 個別の説明で対応する
7. その他 ()

IV あなたの今後の介護希望についてお伺いします

問10 あなたご自身が、今後、介護が必要になった場合、どのようにしたいとお考えですか。(○は1つ)

1. 自宅で、家族や親族の世話をうけて生活したい
2. 自宅で、訪問介護やデイサービスなどの在宅サービスを利用しながら生活したい
3. 介護サービスの付いている住まいや有料老人ホーム、グループホームなどの施設に入所したい
4. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい
5. わからない

※有料老人ホーム………下記以外の施設。入浴や排泄、食事の介護や提供、その他生活上の便宜を供与する施設

※グループホーム………認知症の状態にある高齢者などが、食事、入浴、排せつなどの日常生活上の支援を受けながら共同生活をする住居

※特別養護老人ホーム………寝たきりや認知症などで常に介護を必要とし、自宅で生活が難しい高齢者を介護する施設

※老人保健施設………症状が安定し、家庭に居ることができるよう、看護、介護、機能訓練を通じて日常生活での自立をお手伝いする入所施設

2

3

問11 あなたの老後について、どんなことに不安を感じますか。(〇はいくつでも)

1. 介護を必要とする状態になること	2. 病気・健康について
3. 老後の生活費の蓄えがないこと	4. 様々な手続きができなくなること
5. 住宅が老後の生活に適さない(例：手すりが無い)	6. 人間関係のこと
7. 犯罪の被害にあうこと(例：詐欺)	8. 孤独であること
9. 老後の生活準備が全くないこと	10. 家族が老後に関心がないこと
11. 不安を感じるが具体的にはわからない	12. 不安を感じたことはない
13. その他()	

問11-1 問11で、「1. 介護を必要とする状態になること」と回答した方に伺います。あなた自身の介護について、どんなことに不安を感じますか。(〇はいくつでも)

1. 寝たきりや認知症になること	2. 介護をしてくれる人がいないこと
3. 介護に対する知識や技術がないこと	4. どんな介護サービスがあるかわからないこと
5. 施設入所を希望した場合、入所できるかわからないこと	6. 介護を必要とする期間がわからないこと
7. 家族等に負担をかけること	8. 家族が遠くにいること
9. その他()	

問12 あなたは、万が一の場合、看取りの場所はどこがいいですか。(〇は1つ)

1. 自宅	2. 病院	3. 施設	4. わからない
-------	-------	-------	----------

V 介護生活が続ける際の不安や困りごとについてお伺いします

問13 あなたの親・配偶者・兄弟等が、もし介護が必要になった場合のように介護したいと思いませんか。(現在、介護が必要な場合も含む)(〇はいくつでも)

1. 自宅で、家族や親族の世話をうけて生活してもらいたい
2. 自宅で、訪問介護やデイサービスなどの在宅サービスを利用しながら生活してもらいたい
3. 介護サービス付きの住まいや有料老人ホーム、グループホームなどへ入所してもらいたい
4. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所してもらいたい
5. わからない

問14 あなたの親・配偶者・兄弟等の老後について、どんなことに不安を感じますか。(〇はいくつでも)

1. 介護を必要とする状態になること	2. 病気・健康について
3. 老後の生活費の蓄えがないこと	4. 様々な手続きができなくなること
5. 住宅が老後の生活に適さない(例：手すりが無い)	6. 親族の人間関係のこと
7. 犯罪の被害にあうこと(例：詐欺)	8. 孤独であること
9. 老後の生活準備が全くないこと	10. 老後の希望を知らないこと
11. 不安を感じるが具体的にはわからない	12. 不安を感じたことはない
13. その他()	

問14-1 問14で、「1. 介護を必要とする状態になること」と回答した方に伺います。具体的に、どんなことに不安を感じますか。(〇はいくつでも)

1. 寝たきりや認知症になること
2. 誰か介護をするか話し合いがないこと
3. 他の親族による介護の協力が無いこと
4. 誰も介護する人がいないこと
5. 介護に対する知識や技術がないこと
6. どんな介護サービスがあるかわからないこと
7. 施設入所を希望した場合、入所できるかわからないこと
8. 介護を必要とする期間がわからないこと
9. 介護について考えていないこと
10. 親族の介護の希望を知らないこと
11. 介護のために通うこと
12. 何かあっても、すぐにかげつけられないこと
13. 介護のために就労を継続できなくなること
14. その他()

問15 あなたは今までに高齢者の方を介護したことがありますか。(〇は1つ)

1. ある	2. ない ⇒ 問16へ
-------	--------------

問15-1 問15で、「1. ある」と回答した方に伺います。介護をして、主に苦労した(している)点は次のうちどれですか。(〇は3つまで)

1. 入浴の介助	2. 排せつの介助
3. 寝がえり(床ずれの防止)	4. 移動の介助
5. 食事の介助	6. 認知症の症状への対応
7. 介護保険や福祉サービス等の手続き	8. 特に苦労は感じない
9. その他()	

問15-2 問15で、「1. ある」と回答した方に伺います。介護を理由に退職・転職・休職(介護休暇含む)の利用・在宅勤務・部署異動・就労時間の変更等を経験したことがありますか。(〇は1つ)

1. 過去・または現在経験した	2. 検討している
3. 介護を理由に働き方を変えたことはない	4. 仕事はしていない

問15-3 問15-2で、「1. 過去・または現在経験した」または「2. 検討している」と回答した方に伺います。介護を理由に働き方を変えた行動は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1. 退職	2. 転職
3. 休職	4. 休暇(介護休暇を含む)
5. 在宅勤務	6. 部署の異動
7. 就労時間の変更	8. その他()

VI 介護保険制度や高齢者福祉施策についてお伺いします

問16 今後、高齢者が地域で安心していきいきと生活するために、特に充実すべきだと思うものは何ですか。(〇は3つまで)

1. ボランティアなどの地域福祉活動を推進する
2. 教養・趣味の講座などを充実し、生きがいづくりを支援する
3. 健康診査や健康教室などを充実し、健康づくりを支援する
4. いろいろな相談事について、身近に対応してくれる相談体制を整備する
5. 介護保険のサービスを充実する
6. できる限り介護が必要な状態にならないようにするために、介護保険以外の福祉サービスを充実する
7. 安心して外出できるように、道路などのバリアフリー化を進める
8. 高齢者向けの住宅など、安心して地域で生活できる住まいを整備する
9. 高齢者の就労の機会を増やす
10. 外出の際の移動手段・送迎サービスの充実
11. 介護予防の取組
12. その他()

問16-1 問16で、「1. ボランティアなどの地域福祉活動を推進する」と回答した方に伺います。あなたはボランティア活動を推進するために、今後どのようなことが重要だと考えますか。(〇は2つまで)

1. 活動に関する様々な情報を提供する
2. 活動に対する社会的評価を高める
3. 養成・研修の機会を充実させる
4. 活動する団体に対して経済的な支援を行う
5. 活動する団体と受入れ団体を結びつける人の養成を行う
6. 保険加入を推進し、事故などへの対応を整備する
7. 活動する個人に対して経済的な支援を行う
8. 特になし
9. その他()

※高齢者が障がい者などが生活する上で助けとなっている障害者(バリア)を取り除いて、住みやすい生活環境をつくることをいいます

問17 塩崎市には、高齢者の生活に関する総合相談や介護予防の支援を行う拠点として「地域包括支援センター」が5か所設置されています。あなたは、「地域包括支援センター」について知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っているし、利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない
3. 名前を聞いたことがある程度 4. よく知らない、聞いたこともない

※ 地域包括支援センターは、高齢者やご家族の皆様のさまざまなご相談に応じています。なお、各地域包括支援センターの連絡先等については下記のとおりです。

- ▶ 西部地域包括支援センター (塩崎市清水沢一丁目12番2号) 電話 022-367-0414
- ▶ 南部・東部地域包括支援センター (塩崎市玉川町3番9号) 電話 022-290-7185
- ▶ 北部1地区地域包括支援センター (塩崎市北浜四丁目6番52号) 電話 022-361-3822
- ▶ 北部2地区地域包括支援センター (塩崎市桑原304番地4) 電話 022-362-1911
- ▶ 瀬戸地区地域包括支援センター (塩崎市浦野々島字河岸50 瀬戸諸島開発総合センター内) 電話 022-361-2931

問18 市では、独自に次の事業を行っております。特に継続した方がよいと思う事業はどれですか。(〇は3つまで)

1. 在宅で介護する家族への紙おむつなどの給付サービス
(要介護3以上対象。課税世帯月額1,500円上限、非課税世帯月額3,000円上限)
2. 長寿祝金や敬老金の支給
(100歳：5万円 88歳：5千円)
3. リフト付タクシーチケットの給付サービス
(要介護3以上対象。1か月3枚(820円×3枚)の利用券)
4. 見守りサービスの契約にかかる設置費や月額料金(3か月分)の助成
(設置費の助成限度額15,000円、月額料金の助成限度額3,000円/月)
5. 週1～2回の配食サービスの助成
6. 生活援助員の配置とセンサー等による見守りシステムを設置した、自立生活可能な高齢者の専用住宅であるシルバーハウジング住宅
7. 65歳以上で、要介護4・5の認定を受けているにもかかわらず、1年以上、介護保険サービスを利用しないで、常に在宅介護をする方を対象に支給する家族介護型労金支給事業
(支給額：10万円)
8. 特にない

事業の詳細は、令和6年4月に全戸配布しました「介護保険高齢者支援ガイドブック」に記載されています。

◎ 最後に、介護サービス等についてご意見やご希望などがありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
12月26日(金)までに郵便ポストへご投函ください。

(4) 介護サービス事業所実態調査

※本アンケートはパソコンやスマートフォンなどからもご回答いただけます。こちらの二次元コードを読み取っていただくか、下記URLにて回答画面を開き、左の「WEB 回答用 ID」を入力したうえで、ご回答ください。

<https://logofarm.jp/form/yl3H/1309922>

**《第10期》塩竈市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画
介護サービス事業所実態調査**

＜調査の趣旨とご協力をお願い＞

日頃より塩竈市の高齢者保健福祉行政にご協力をいただきありがとうございます。本市では、令和9年度から令和11年度までを計画期間とする「塩竈市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定作業を進めています。このたび、計画策定の基礎資料とするため、市内で介護保険サービスを提供している介護サービス事業者の事業の状況や、働いている皆様様の状況、ご意見等をお聞かせいただきたいと思います。アンケート調査を実施することといたしました。

ご回答いただいた内容は、集計後、統計的に分析し、事業者ごとに公表することはありません。また、調査目的のみに使用します。

つきましては、業務ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和7年12月

ご記入にあたってのお願い

1. この調査票は事業者の方がご記入ください。
2. 原則、令和7年12月1日の状況で記入してください。
3. 質問によっては、○をつける選択肢を「1つに○」、「あてはまるものすべてに○」などとしている場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合には、お手数ですが所定の欄に具体的な内容をご記入ください。
4. ご回答いただいた調査票は、**12月26日(金)までに**同封の返信用封筒(切手不要)に入れて郵便ポストにご投函ください。

【本調査に関する問い合わせ先】

塩竈市 福祉子ども未来部 高齢福祉課 電話：022-364-1204

〒985-0052 塩竈市本町1番1号 香澤庁舎1階

I 貴事業所の概要についてお伺いします

問1 貴事業所の従業員の人数と内訳についてお答えください。(令和7年12月1日時点)

1. 貴事業所の従業員の数

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
①正規	人	人	人	人	人	人
②非正規	人	人	人	人	人	人

2. 勤務年数ごとの正規・非正規職員の従業員数

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
①正規	人	人	人	人	人
②非正規	人	人	人	人	人

3. 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの1年間の採用者数

①1年間の採用者数	人	②正規職員	人	③非正規職員	人
-----------	---	-------	---	--------	---

4. 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの1年間の離職者数

①1年間の離職者数	人	②正規職員	人	③非正規職員	人
④離職者の平均の勤務年数		年 (記載例：2.5年 小数第2位を四捨五入)			

問2 貴事業所が提供するサービス(予防を含む)についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 訪問介護 3. 訪問看護 5. 居宅療養管理指導 7. 通所リハビリテーション 9. 短期入所療養介護 11. 居宅介護支援 13. 地域密着型通所介護 15. 夜間対応型訪問介護 17. 小規模多機能型居宅介護 19. 地域密着型特定施設入居者生活介護 21. 介護老人福祉施設 23. 介護医療院(介護療養型医療施設) 25. 通所型サービス(総合事業) 26. その他() 	<ol style="list-style-type: none"> 2. 訪問入浴介護 4. 訪問リハビリテーション 6. 通所介護 8. 短期入所生活介護 10. 特定施設入居者生活介護 12. 福祉用具・特定福祉用具 14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 16. 認知症対応型通所介護(グループホーム) 18. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 20. 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 22. 介護老人保健施設 24. 訪問型サービス(総合事業)
--	--

II 運営状況についてお伺いします

問3 貴事業所の現在の経営状況をどのように認識していますか。(あてはまるもの1つに○)
※おおよその感覚でお答えいただいても構いません。

1. 常に黒字	2. 概ね黒字
3. 収支は均衡	4. 概ね赤字
5. 常に赤字	6. わからない

問4 貴事業所が受けられる利用者の数【供給(※1)】に対して、貴事業所の利用を希望する人の数【需要(※2)】は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)
※おおよその感覚でお答えいただいても構いません。

1. 需要が供給を大きく上回る	2. 需要が供給をやや上回る
3. 供給が均衡している	4. 需要が供給をやや下回る
5. 需要が供給を大きく下回る	6. わからない

※1 供給は、定員、ベッド数、人員体制等
※2 需要は、現在の利用者も含めてお考えください。

問5 貴事業所の円滑な運営を進めていくうえで、支障となっていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者の確保が難しい	2. 専門職の確保が難しい
3. 職員が定着しにくい	4. 人材育成が難しい
5. 職員の仕事への意欲を維持することが難しい	6. 職員の資質向上を図ることが難しい
7. 経営経費、活動資金が不足している	8. 介護報酬が少なく、採算がとれない
9. 利用者や家族の制度への理解不足	10. 利用者に対する情報提供が難しい
11. 事務作業量が多い	12. 市役所等の行政と連携を図ることが難しい
13. 医療機関と連携を図ることが難しい	14. 特になし
15. その他(具体的に：)	

III 介護人材の定着・離職等についてお伺いします

問6 職種ごとの従業員の過不足について、どのように感じていますか。また、『⑧全体で見た場合』で、「大いに不足」「不足」「やや不足」のいずれかに○をつけた事業者は、問7でその理由についてもお答えください。

	過不足の状況（職種ごとに○は1つ）					
	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない
①訪問介護職員	1	2	3	4	5	6
②サービス提供責任者	1	2	3	4	5	6
③介護職員	1	2	3	4	5	6
④看護職員	1	2	3	4	5	6
⑤生活相談員	1	2	3	4	5	6
⑥介護支援専門員	1	2	3	4	5	6
⑦理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・機能訓練指導員	1	2	3	4	5	6
⑧全体で見た場合	1	2	3	4	5	6

問7 【問6の『⑧全体で見た場合』で、「大いに不足」「不足」「やや不足」のいずれかに○をつけた事業者にはいます。】不足している理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 離職率が高い（定着率が低い）
2. 採用が困難である（募集しても応募がない、または少ない）
3. 経営（収支）状況が悪く、雇用できない
4. その他（具体的に：_____）

4

問8 人材の確保が難しいと感じていますか。またその理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 感じない
2. 他業種に比べ賃金水準が低い
3. 多くの業界が人手不足であり介護業界は特に厳しい
4. 同業他社との人材獲得競争が厳しい
5. 仕事がつらい（肉体的・精神的）というイメージがある
6. 雇用の不安定というイメージがある
7. 介護業界のマイナスイメージがある
8. 夜間勤務が敬遠されている
9. その他（具体的に：_____）

問9 離職者について、主な離職理由は何か。（あてはまるものすべてに○）

1. 収入の問題（賃金に対する不満）
2. 労働時間・休日・勤務体制の問題
3. 身体的な不調
4. 精神的な不調
5. 従業員自身の高齢
6. 家族・親族の介護や看護
7. 従業員自身の結婚、出産
8. 従業員自身の育児
9. 職場の人間関係
10. 法人・事業所の理念や運営との不一致
11. キャリアアップのための転職
12. 独立や他事業所への移籍
13. 他職種への転職
14. 人員整理など事業者側の都合
15. その他（具体的に：_____）

問10 従業員が不足し、先足しない場合、どのように対応していますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 職員配置基準を守るため、サービス利用者数を減らしている
2. 法人内の他の事業所から配置転換している
3. 人材派遣会社に職員派遣を依頼している
4. 特に対応していない
5. その他（具体的に：_____）

問11 従業員の定着状況についてどのように考えていますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 定着率が低く、困っている
2. 定着率は安定しており、困っていない
3. その他（_____）

5

問12 従業員の離職防止や定着促進を図るために、どのような取り組みを行っていますか。また、その取り組みのなかで、効果があったと思われるものに○を記入してください。

選択肢	①あてはまるもの（複数回答可）	②効果があったと思われるもの（1点3つまで）
賃金・休日などの労働条件を改善している	1	1
本人の希望に即した勤務体制にする等労働条件の改善に取り組んでいる	2	2
休日の取りやすい職場環境の充実を図っている	3	3
出産、子育て、家族等への支援などの制度を充実させている	4	4
能力等を評価し、配置や処遇に反映している	5	5
キャリアに応じた給与体系を整備している	6	6
非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	7	7
社内研修、外部研修など能力開発の機会を設けている	8	8
資格取得への支援を推進している	9	9
業務改善や効率化など働きやすい職場づくりを進めている	10	10
介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場づくりを行っている	11	11
不満や悩みなどの相談窓口を設けている	12	12
職場内コミュニケーションの円滑化を図っている	13	13
福利厚生を充実させ、職場内の交流や職員の健康管理などに努めている	14	14
特に取り組みは行っていない	15	15
その他（具体的に：_____）	16	16

問13 介護人材不足に対し、行政（国・県・市）に望むことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 特になし
2. 介護業界のイメージアップや就職促進の取り組み
3. 外国人介護人材の受け入れ支援
4. 職員研修メニューの充実（質・量の向上）
5. 賃金水準の向上支援
6. 勤務条件の改善支援
7. ロボット等の介護機器の導入支援
8. 求職者と事業所のマッチング支援
9. その他（具体的に：_____）

6

IV 今後の貴事業所の運営等についてお伺いします

問14 貴事業所の今後の事業展開の方向性（事業規模や人員など）をどのように考えていますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 拡大する
2. 現状維持
3. 縮小する

問15 【問14で、「1. 拡大する」と回答した事業者に伺います。】提供サービスを増やす意向がある場合、そのサービスの内容についてご記入ください。

サービスの種類	名称（_____）
	（_____）
	（_____）
開始（予定）年月	令和 ____年 ____月 ____日
定員数	定員： ____名

◎ 介護サービス事業者としてのお立場から、事業所の運営、介護保険制度、行政に期待する支援等について、ご意見やご希望等がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入漏れがないか、今一度お確かめください。
12月26日（金）までに郵便ポストへご投函ください。

7

塩竈市

塩竈市高齢者福祉計画及び 第10期介護保険事業計画策定に係る 調査結果報告書

発行日 令和8年3月
発行元 塩竈市 福祉子ども未来部 高齢福祉課
所在地 〒985-0052 宮城県塩竈市本町1番1号
連絡先 TEL：022-364-1204
FAX：022-366-7167